



調査主体：一般社団法人 日本補聴器工業会
後援：公益財団法人 テクノエイド協会
協力：EHIMA 欧州補聴器工業会

APAC Trak JapanTrak 2025 調査報告

1. はじめに
2. 市場概要
3. 補聴器所有者に関する分析
4. 補聴器非所有難聴者に関する分析
5. 付属データ



JapanTrak（ジャパントラック）の目的

JapanTrakは日本の難聴と補聴器に関する大規模調査であり、一般社団法人日本補聴器工業会が主体となり、公益財団法人テクノエイド協会の後援、そして**EHIMA**（欧州補聴器工業会）の協力を得て実施されている。

本調査では、難聴の自覚から行動に至る過程、補聴器の所有・装用状況・満足度などを体系的に可視化する。**2012年以降、2015年、2018年、2022年、2025年**と継続的に実施されていることから経年変化を把握できる。さらに、欧米諸国の調査（**EuroTrak**）と整合する指標も用いていることで国際比較も可能となり、日本が直面する課題を客観的に示すことができる。

これらにより、難聴と補聴器に関する正しい理解を社会に促すとともに、支援策の改善に向けた意思決定を支える基盤データとなることで、難聴者の**QOL**向上に貢献することを目的とする。





日本固有の調査結果 2025

- 聴覚関連のサービスや機関についての認知は依然として限定的だが、徐々に向上している。
 - 補聴器専門店や「認定補聴器専門店」「認定補聴器技能者」といった用語の認知はわずかに高まっており、**44%**が自分の補聴器が認定補聴器技能者によってフィッティングされたことを知っている。
 - 補聴器が消費税がかからないことを知っている人は**13%**（所有者では**44%**）にとどまり、公益財団法人テクノエイド協会を知っている人も少ない。
- 自己申告による難聴者のうち、難聴について耳鼻科医師に相談したのは**38%**（**2022年：32%**）にとどまり、多くは特に行動する必要はないと言われた。
 - 耳鼻科医師を受診する主な理由：聞こえにくさと家族からの勧め。
 - 耳鼻科医師を受診しない主な理由：難聴を困りごとと捉えておらず、加齢に伴う避けられないものと考えているため。
- 集音器と通販補聴器の利用状況：
 - 所有者の**19%**が通販・集音器を所有しており、主な理由は利便性と手軽さである。
 - 集音器／通販補聴器は主にオンラインで購入され、医療機器としての補聴器（通常、補聴器専門店で購入され、価格はおよそ**10万円～30万円程度**）よりもかなり安価である。
- **2018年以降**、補聴器の所有率はわずかではあるが着実に上昇しており、それに伴い満足度も高くなっている。他国と比べると満足度は依然として低いものの、認定補聴器技能者のフィッティングを受け、補聴器専門店で購入した医療機器としての補聴器の使用者では、満足度が明らかに高い。
- 片耳装用の人は、両耳装用と同じくらい効果があると考える傾向があるが、データはむしろ逆の結果を示している。

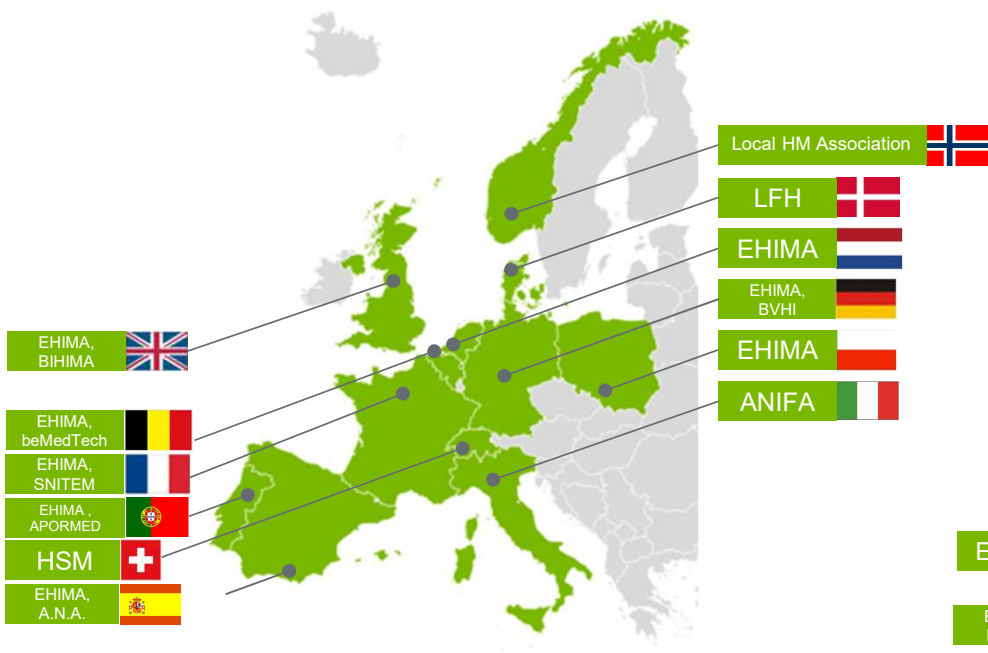




【要約】

1. はじめに

JapanTrak 2025はEuroTrak / APACTrak の一員である



・ ジャパントラック2025（JapanTrak 2025） はアノバム社（スイス・チューリッヒ市）が一般社団法人日本補聴器工業会の代理として設計、実施した。

・ ジャパントラック2025のサンプルサイズ:

- 代表サンプル(ステップ1) : **n=14,368 人**
- 難聴者(ステップ2) : **n=1,380 人**
 - 補聴器非所有難聴者: **n=932 人**
 - 補聴器所有難聴者: **n=448 人**





【要約】 2. 市場概要

- 自己申告による難聴者率
 - 全体：11%、18歳以上：12.6%
 - 聴力検査：50%が過去5年間に聴力検査を受けており、主に職場で実施された。
- 補聴器所有率（普及率）
 - 自己申告の難聴者のうち15.6%
 - 全人口の1.7%
 - 補聴器所有者の両耳装用率：50%
- 補聴器所有までの道のり
 - 難聴について耳鼻科医師あるいは、かかりつけの医師に相談した難聴者は43%。
 - 耳鼻科医師あるいは、かかりつけの医師からアドバイスがあった難聴者は16%（離脱割合：64%）。
 - かかりつけの医師への相談で、15%が耳鼻科医を紹介され、15%が補聴器販売店を紹介され、23%が補聴器を購入するよう勧められ、56%は特に行動する必要はないと言われた
 - 耳鼻科医師への相談で、20%が補聴器販売店を紹介され、24%が補聴器を購入するよう勧められ、64%は特に行動する必要はないと言われた。
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減
 - 補聴器は仕事に良い影響をもたらすと考えられている。
 - 補聴器を使用する就業者の3分の2が、補聴器によって長く働けると考えている。
 - 補聴器所有者はうつ病になるリスクが低い。
 - 補聴器所有者は夕方になっても疲れることが少ない。
 - 難聴者が補聴器装用をすると睡眠の質が改善するようである。





【要約】

3. 補聴器所有者に関する分析

- 補聴器の所有、利用及びアクセサリーについて
 - 補聴器所有者のうち13%が政府から何らかの補聴器購入の助成を受けている。
 - 現在所有されている補聴器の59%が2022年以降に購入されている。
 - 補聴器を買い替えるまでの使用期間の中央値は5年である。
 - 平均して1日7.3時間、補聴器を装用している。
 - RIC補聴器が最も多く購入されている。
 - 補聴器所有者の22%が補聴器のアプリを使用しており、72%が満足している。
- 聴取環境の重要性と補聴器の満足度について
 - 補聴器所有者の68%が補聴器は期待通り、あるいは期待以上に役に立っていると回答した。
 - 補聴器の全体的満足度は54%
 - 1日の使用時間が長ければ長いほど補聴器の満足度は高くなる。
 - 生活面において最も聞こえが重要と考えられている状況は、「電話での会話」と「家族との団らん」である。
- 補聴器から得られる良い影響
 - 補聴器所有者は、素晴らしく大きな効果がある報告している。特に「安心感」「ほとんどの聴取環境で会話が可能」「自分自身の気持ち」において顕著である。
 - 補聴器所有者の71%が装用して以来、街中でより自信をもって行動できるようになった。
 - 補聴器所有者の95%が、補聴器により何がしかは生活の質（QOL）が向上していると述べている。
 - 補聴器所有者の56%が、もっと早く補聴器を入手すべきだったと考えている。





【要約】

4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を所有/使用しない理由
 - 補聴器を持たない難聴者のうち、国の補聴器支給制度を知っている人は**10%**である。
 - 不快感や限定した効果が補聴器の使用を妨げている。
 - 補聴器を所有している人の**11%**は全く使用せず（**0時間**）、**21%**は1日1時間未満しか使用しない（**0-1時間**）。
- 社会からの拒絶感、購入の意向、購入のきっかけ
 - 補聴器所有者の**77%**が、補聴器のせいで人からからかわれたり、仲間外れにされたりすることはないと考えている。
補聴器非装用者の難聴者の方が、難聴をからかわれたり仲間外れにされたと考える人が多い。
 - 補聴器を入手する際に最も重要な要因は、難聴の悪化と耳鼻科医師の勧めである。





調査項目

1. はじめに

- ジャパントラック 2025 の調査関係者
- アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

2. 市場概要

- 難聴者率と補聴器所有率
- 聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所
- 補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合
 - * 認定補聴器専門店、認定補聴器技能者、テクノエイド協会の認知度
- 補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減：仕事上での優位性、うつ病、睡眠の質、併存疾患

3. 補聴器所有者に関する分析

- 補聴器の所有者、難聴の自覚から補聴器所有まで、補聴器の寿命（買い換え時期）及び使用状況について
 - ・ より早期に補聴器を使用すべきであったと考えた理由、公的助成について
 - ・ 補聴器を購入した販売店と、その販売店に対する顧客推奨率 (NPS : Net Promoter Score)
 - ・ 補聴器アプリ、テレコイルの認知度と使用状況
- 補聴器の満足度とその影響因子、および聴取環境の重要性
- 補聴器から得られる良い影響、安心・安全、生活の質 (QOL) の向上

4. 補聴器非所有難聴者に関する分析

- 補聴器を使わない理由
- 難聴が原因の社会的拒絶と、補聴器の受容との比較
- 購入の意向、購入に至る重要なきっかけ

5. 付属データ

- 人口動態：補聴器使用率と人口





1. はじめに





ジャパントラック 2025の調査関係者

調査関係者

- ・ ジャパントラックはユーロトラックの日本版である。
- ・ ジャパントラックプロジェクトの主体は一般社団法人日本補聴器工業会（日補工）であるが、公益財団法人テクノエイド協会の後援を得ている。
- ・ アノバム社（スイス・チューリッヒ市）がジャパントラックのコンセプトを開発し、アンケートを作成し、調査会社と共同で調査を実施した。最終的にアノバム社が結果の分析と資料の作成を行った。
- ・ 欧州補聴器工業会（EHIMA）は調査アンケートの実施とその内容を承認した。
- ・ アノバム社と日補工はユーロトラックの調査アンケート内容をジャパントラックに採用した。また、アンケートの内容と結果の日本語訳は日補工が担当した。

データの使用について

- ・ 日補工及び会員各社は調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を自社の今後の研究や出版物等に使用出来る。それ以外の者は日補工の承認を得なければならない。
- ・ 生データはアノバム社が所持することとする。但し、日補工又は会員各社が調査結果のデータ（表、グラフ、レポート）や調査の結論を使用する場合は、当該データの出所を以下の通り明記しなければならない。

“Source: Anovum – JapanTrak2025”

- ・ 日補工及び会員各社は生データを使ったさらなる分析をアノバム社に有料で依頼することができる。





アンケート回答者の募集方法及び難聴者の抽出

ステップ1：選別インタビュー

目的：難聴者率と補聴器所有率の調査

方法：

1. 全人口を反映する厳格な割り当てサンプルの抽出（年齢・性別のバランス、地域の分散）
2. 大規模な調査名簿から選出
3. 選別アンケート：自己申告による難聴の程度、補聴器使用状況と人口動態
4. 結果：人口調査に基づいたn=14,368人の代表サンプル

ステップ2：対象者インタビュー

目的：補聴器満足度と補聴器非所有者に対する詳細な調査

方法：

1. アンケートの主体：補聴器所有者と補聴器非所有難聴者
2. 選別インタビュー（ステップ1）の代表サンプルに基づき、重み付けによってバランスを調整
3. 結果サンプル：n=448人の補聴器所有者、n=932人の補聴器非所有難聴者





2. 市場概要



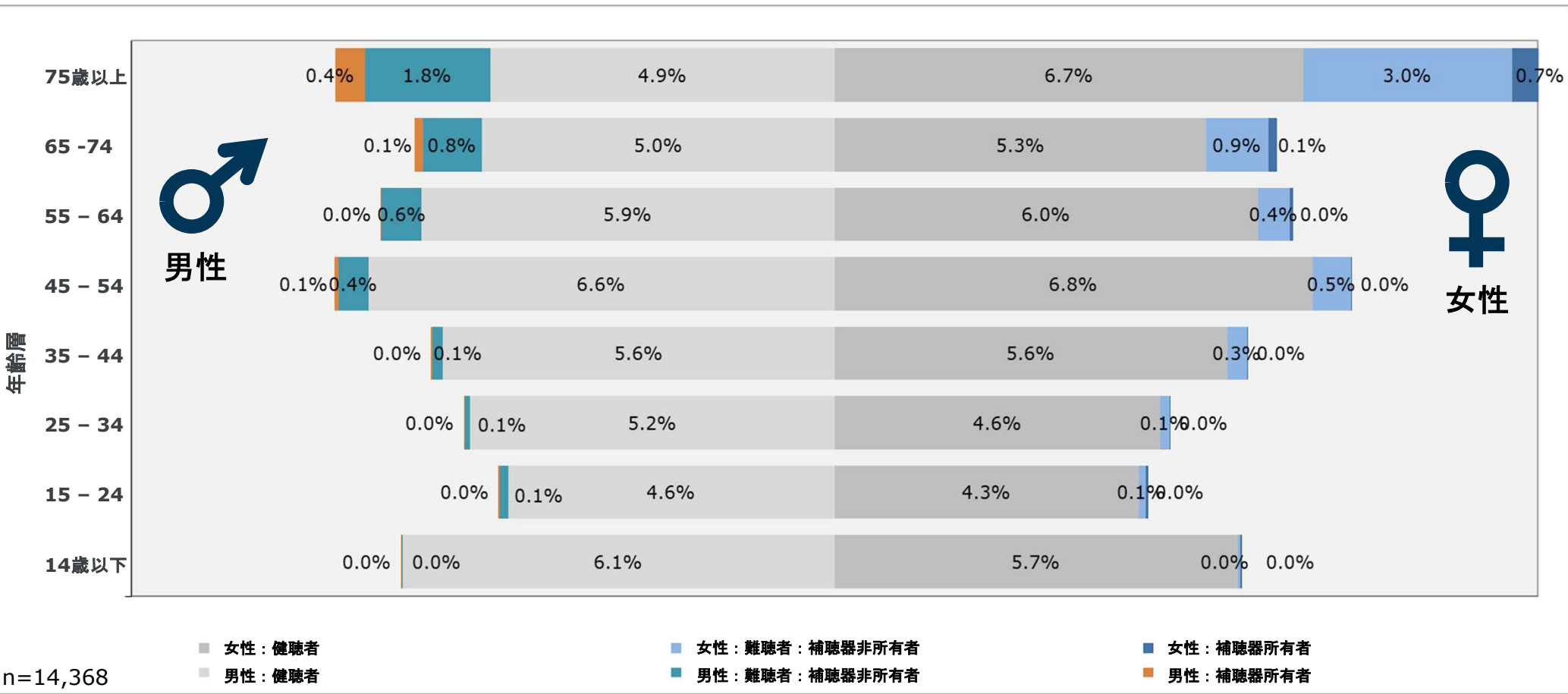


難聴者率と補聴器所有率





性別/年齢別の難聴者及び補聴器所有者



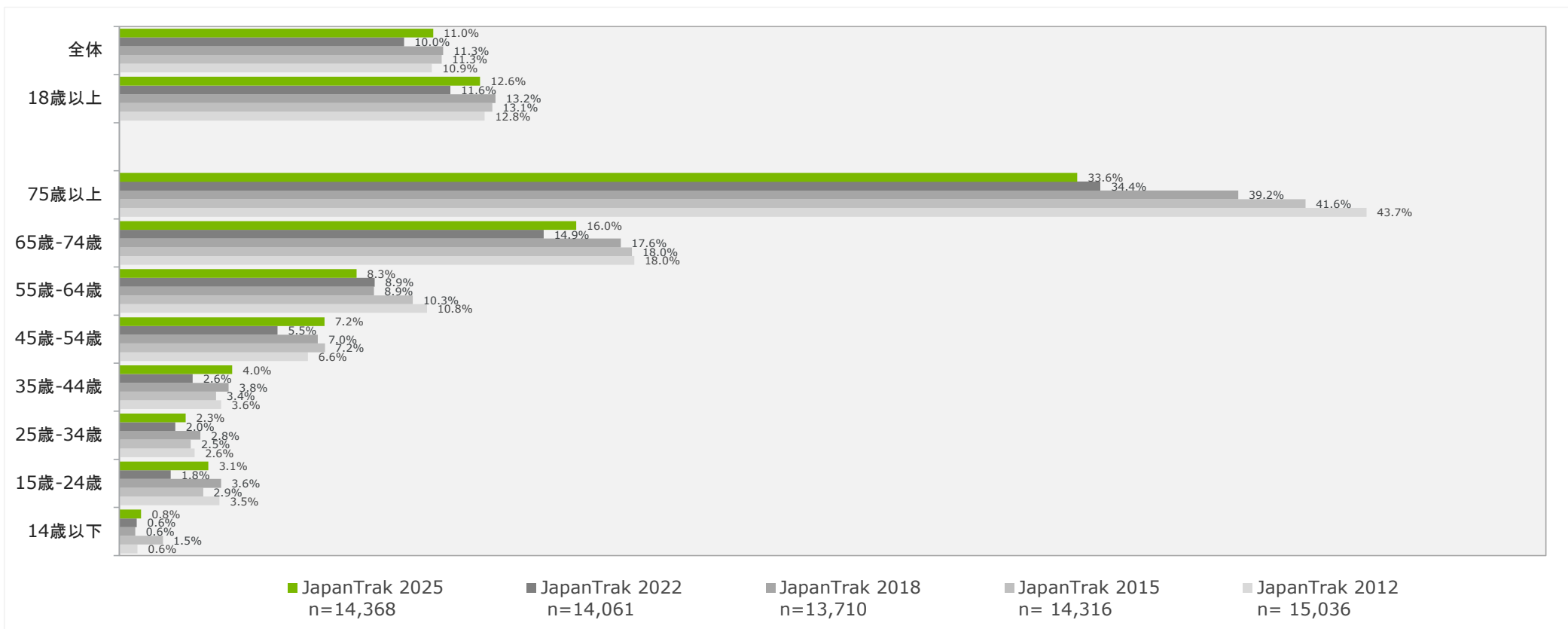
n=14,368





日本における難聴者率 (難聴またはおそらく難聴だと思っている人の割合)

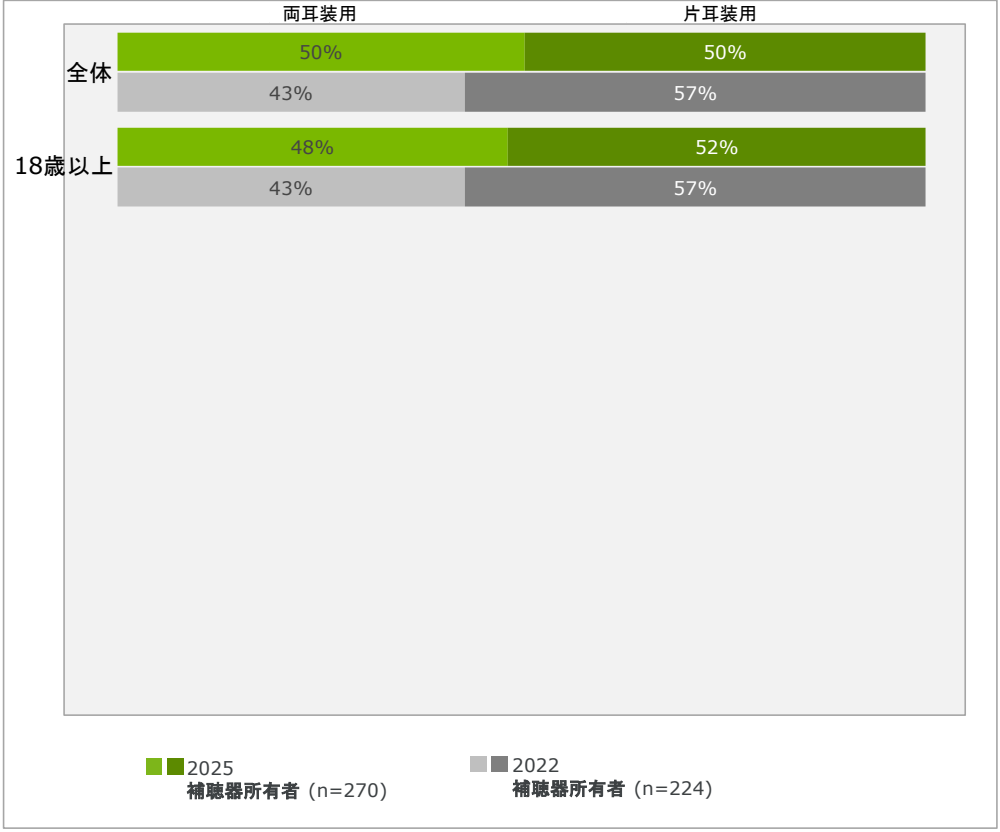
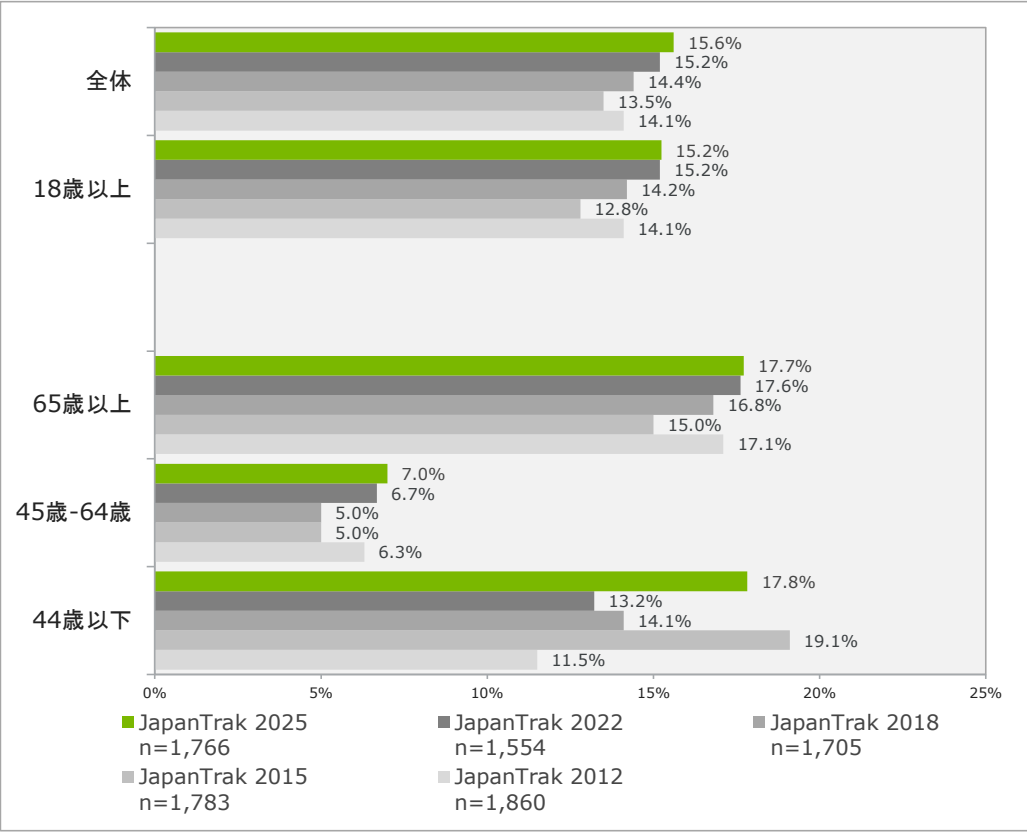
難聴者率 (%)





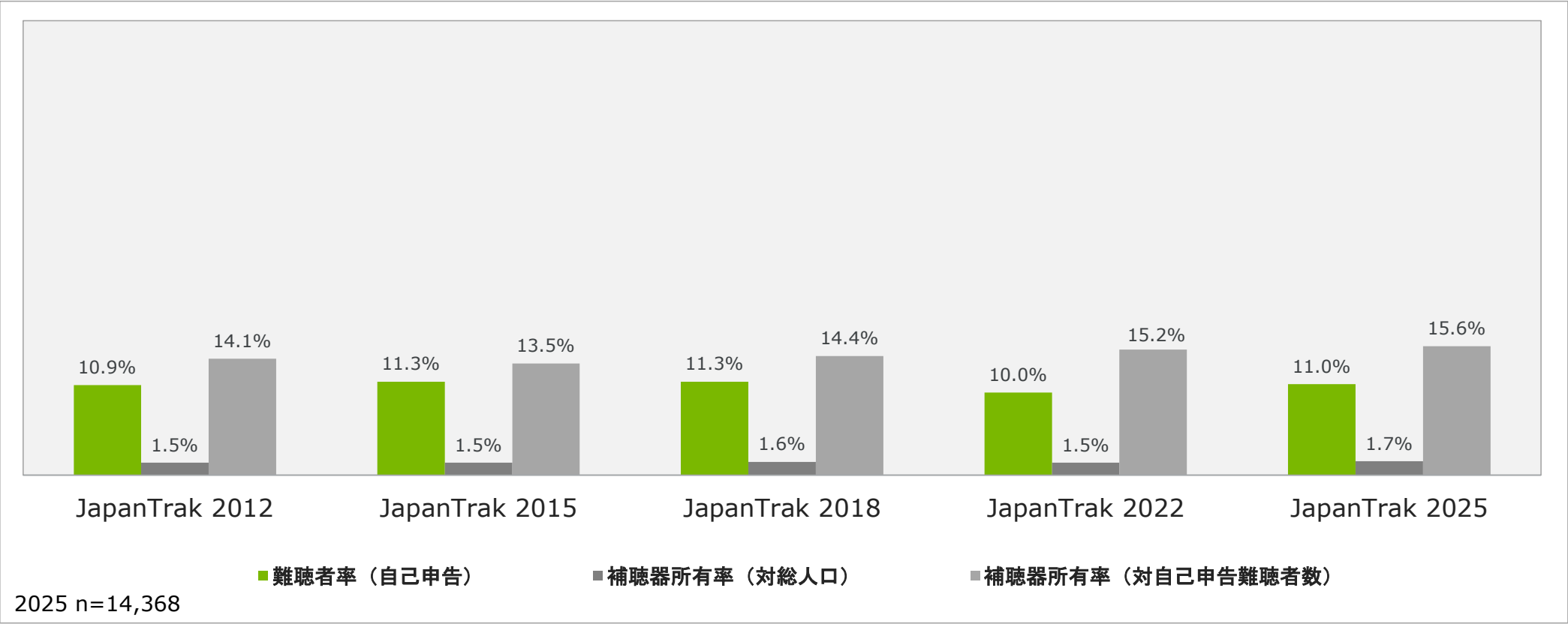
補聴器所有率： 難聴者の15.6%が補聴器を所有、そのうちの50%が両耳装用

難聴者に占める割合



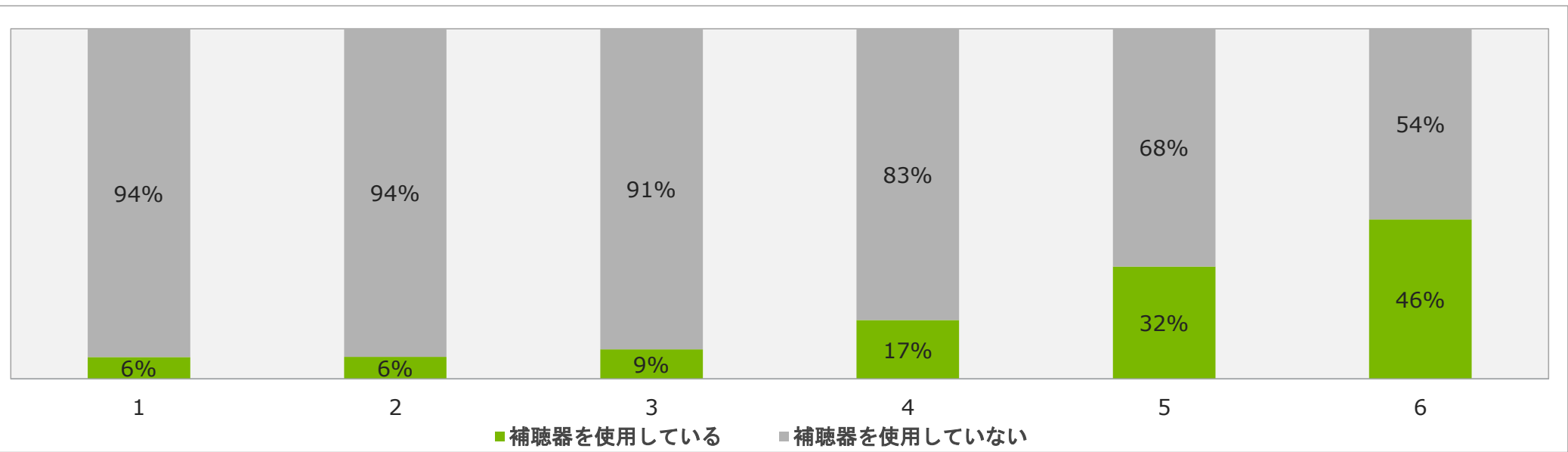


難聴者率と補聴器所有率





難聴度が高いほど補聴器使用率が高い



難聴度別に分類された6グループ

6グループの構成：因子分析を行い、1つの因子「聴力の程度」を導入した。この因子には以下の質問が含まれている（聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別グループに分けた）

- ・ 難聴のある耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 自己申告での難聴度（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-ECに似たテストのスコア（1～5のスケール）
- ・ 補聴器を使用していない時の騒音下での会話困難度

→回答者を同サイズの6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）

補聴器非所有者 n=932
補聴器所有者 n=448





難聴

難聴耳及び程度：補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器非所有者 n=932	補聴器所有者 n=448	補聴器所有率（%）
難聴耳（自己申告）			
片耳難聴	34%	24%	13%
両耳難聴	66%	76%	20%
難聴程度			
軽度	49%	31%	11%
中等度	47%	55%	18%
高度	2%	11%	44%*
重度	1%	3%	

* 基数が過少なため高度と重度難聴者の補聴器所有者数を合算して算出





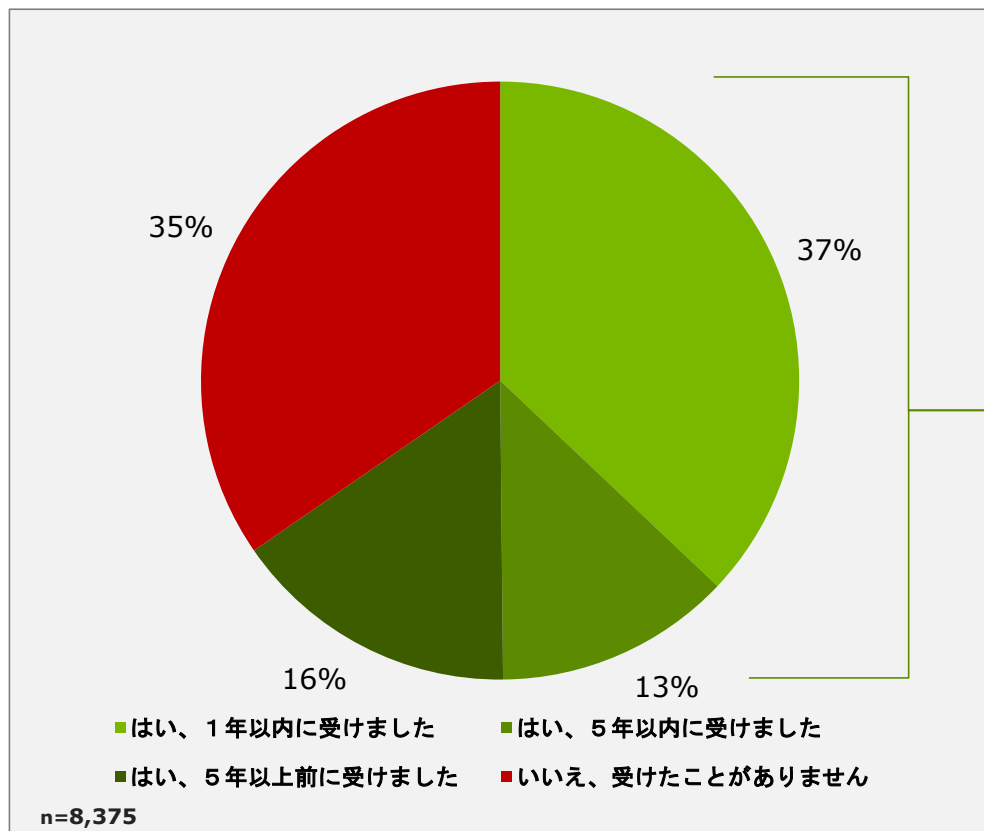
聴力検査の有無と聴力検査を受けた場所



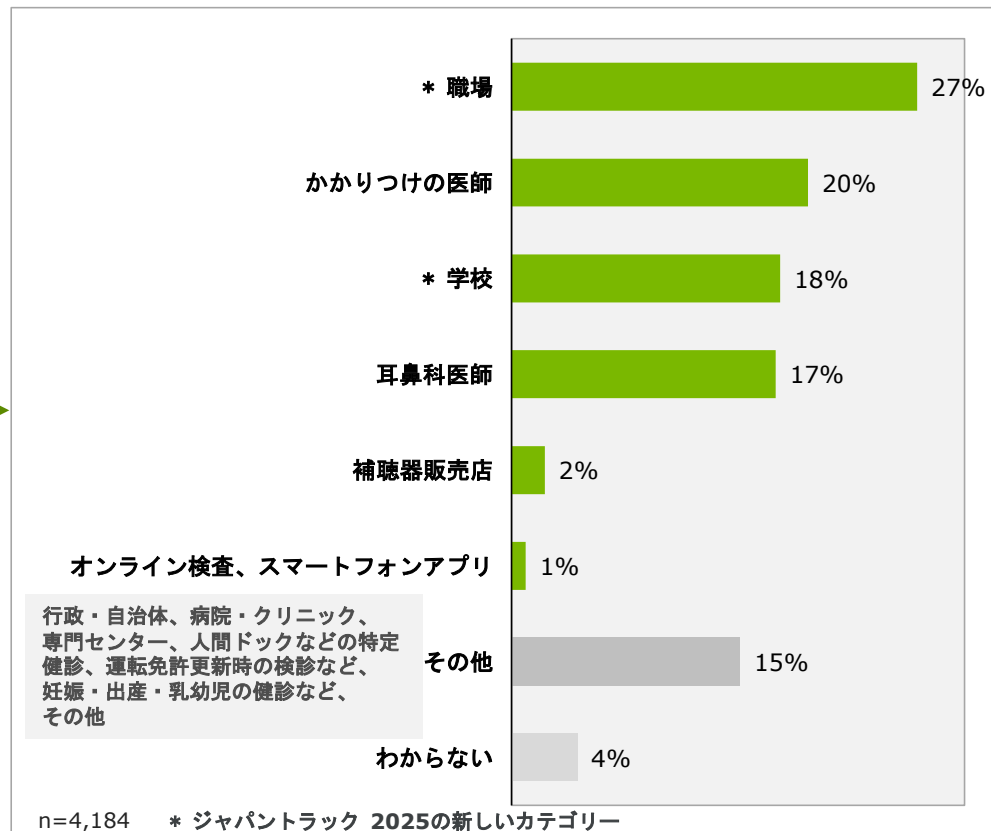


50%の人が最近5年間に聴力検査を受け、検査は職場、学校で実施されるか、かかりつけの医師や耳鼻科医師によって行われた

聴力検査を受けたことがありますか？



どこで聴力検査を受けましたか？（5年以内）





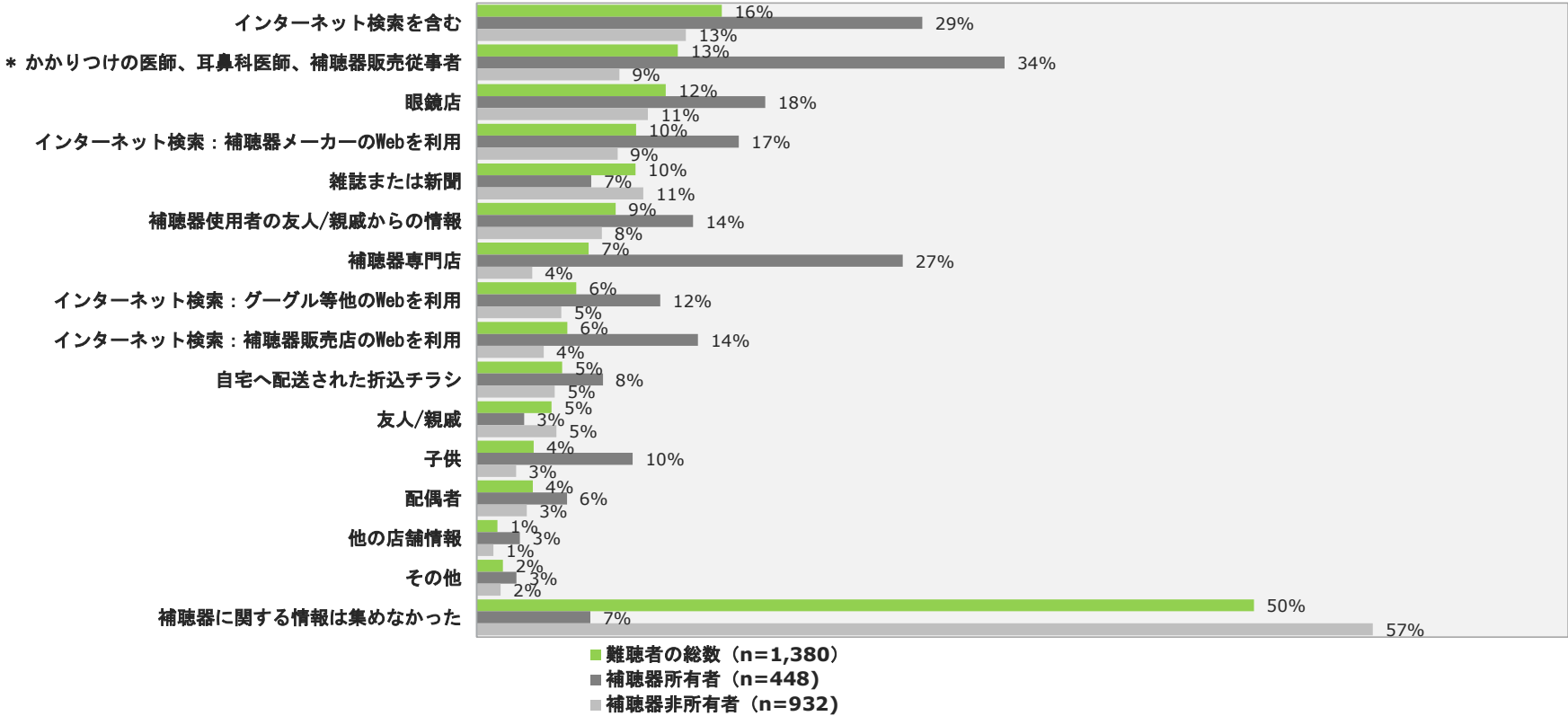
補聴器所有までの道のり：情報源と離脱する割合





補聴器に関する主な情報源はインターネット検索であり、次いで医師（かかりつけの医師・耳鼻科医師）および補聴器販売従事者である。しかし、補聴器非所有者の多くは情報を収集していない

あなたは補聴器に関する情報をどこから得ましたか？



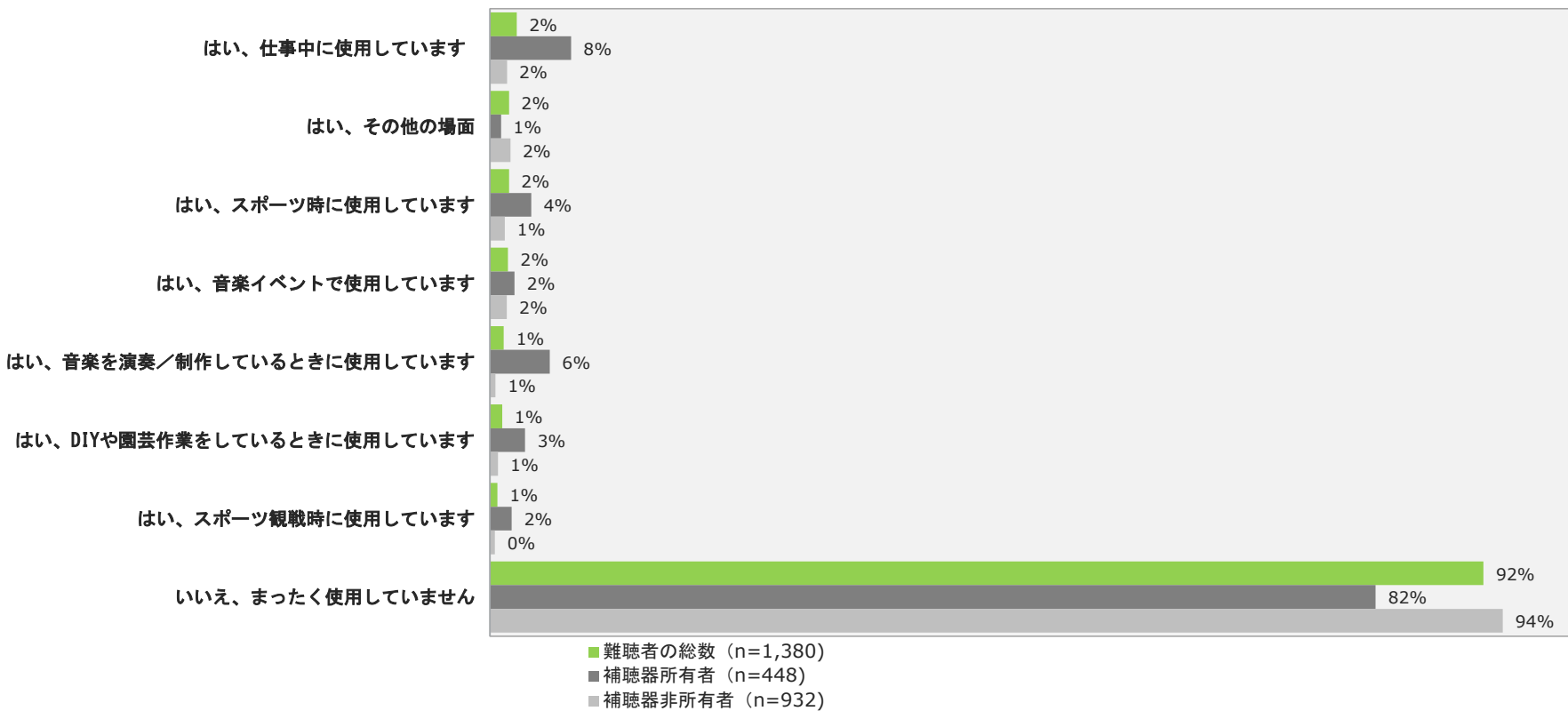
*ジャパントラック 2025の新しい項目 補聴器販売従事者





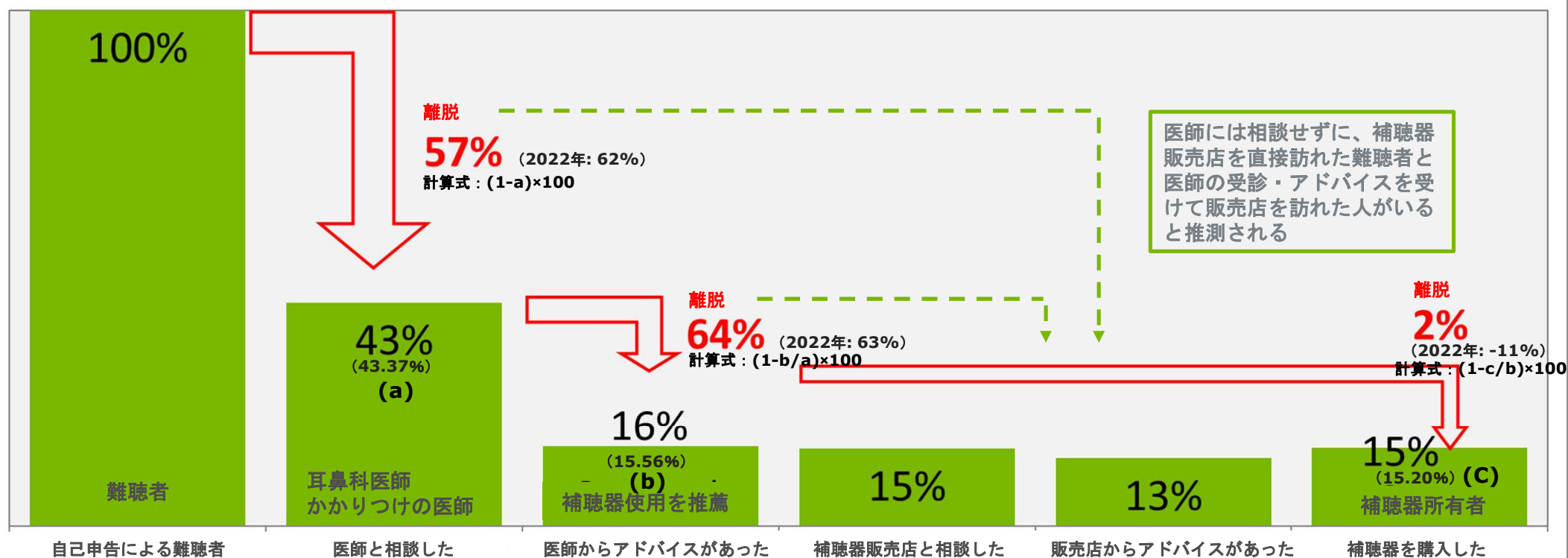
耳栓等の難聴者の聴覚保護具の使用

聴覚保護具を時々は使っていますか？





補聴器所有までのルート：全体像

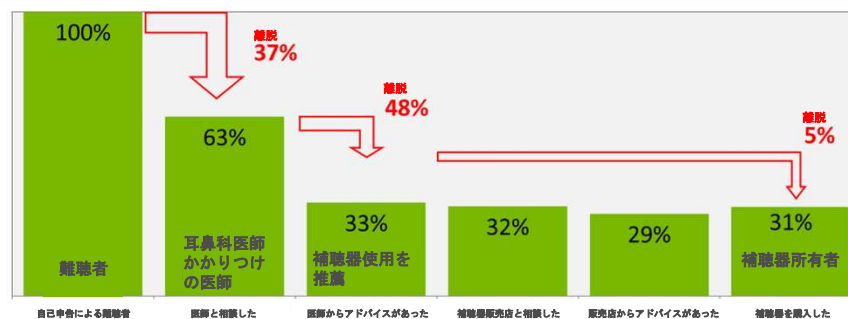


難聴者 : n=1,380



難聴度が低いグループで離脱が非常に多い

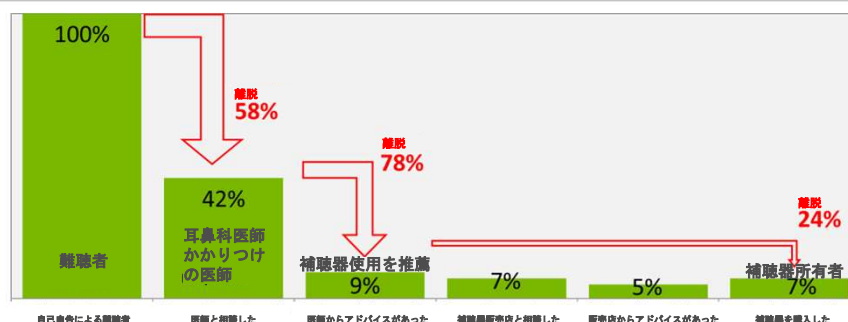
難聴度の高い上位50%のグループ*



<アンケートの難聴度の定義>

- 軽度： 静かな場所でも小さな声が聞き取れなかったり、間違えたりする
- 中等度： 日常生活で普通の大きさの会話を、正しく聞き取れないことが、しばしばある。大きい会話でも、正しく聞き取れないことが、しばしばある
- 高度： 耳もとで大きな声を出してもらわないと聞き取れない
- 重度： 耳もとで大きな声を出してもらってもほとんど聞こえない

難聴度の低い下位50%のグループ*



* 6グループの構成：この分析は“難聴レベル”を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：（聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた）

- ・ 障害のある耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-EC テストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

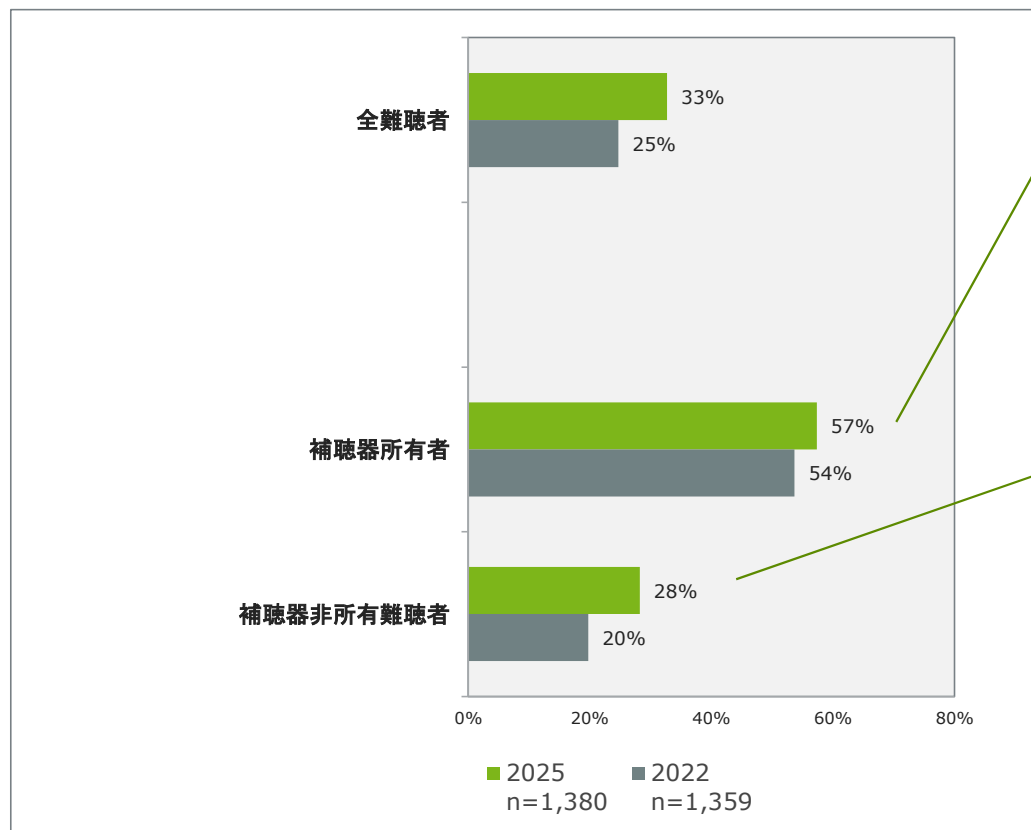
→ 回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）



補聴器所有までの道のり：かかりつけの医師

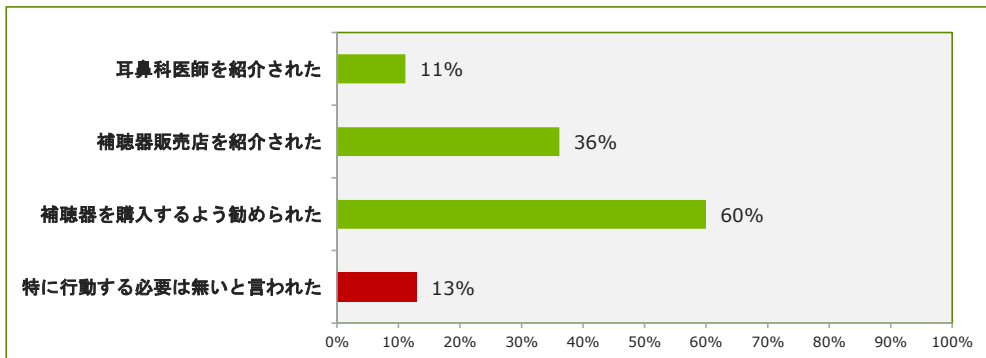
あなたはかかりつけの医師と難聴について相談したことはありますか？

かかりつけの医師と相談した割合%

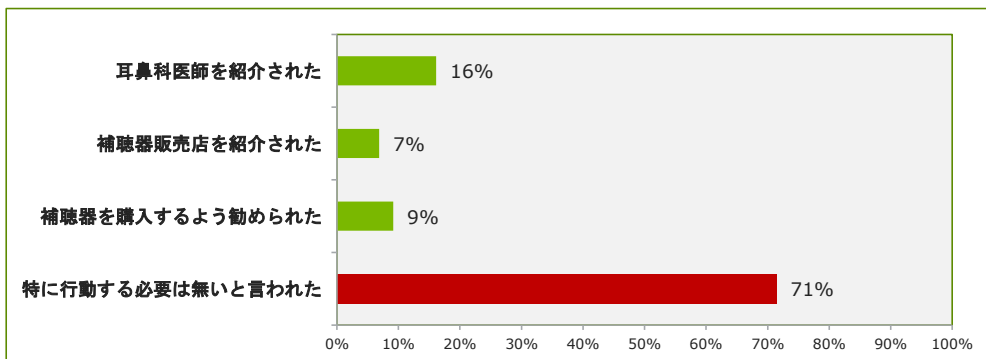


かかりつけの医師の処方又は対応

補聴器所有者 (n=252)



補聴器非所有の難聴者 (n=242)

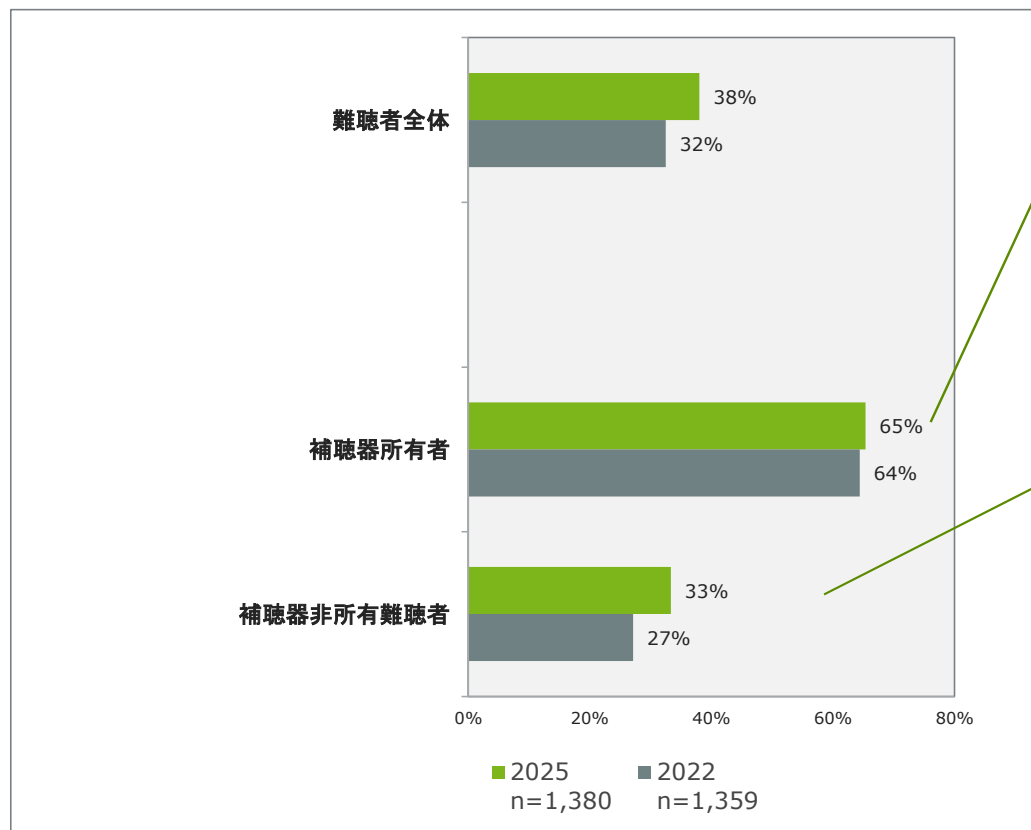




補聴器所有への道のり：耳鼻科医師

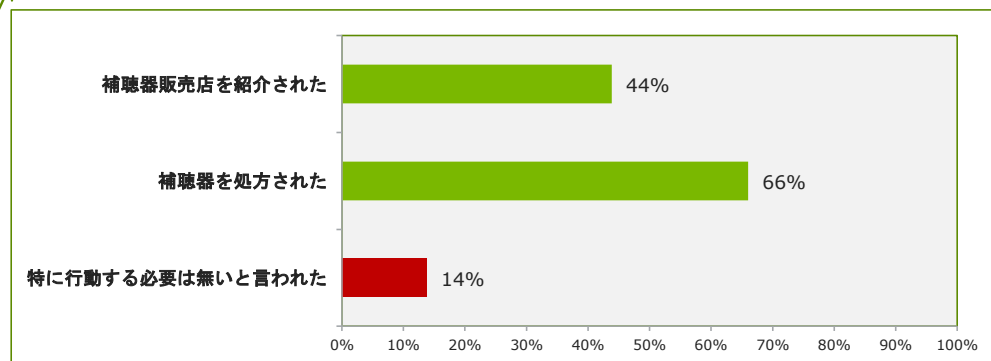
あなたは耳鼻科医師と難聴について相談したことはありますか？

耳鼻科医師と相談した割合%

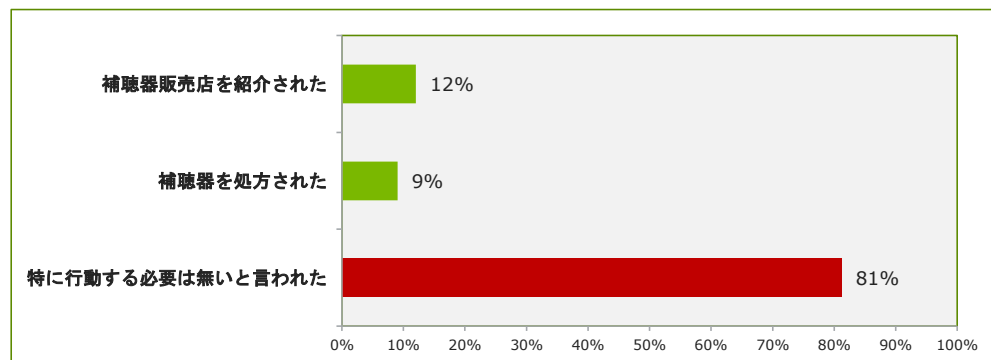


耳鼻科医師の処方又は対応

補聴器所有者 (n=285)



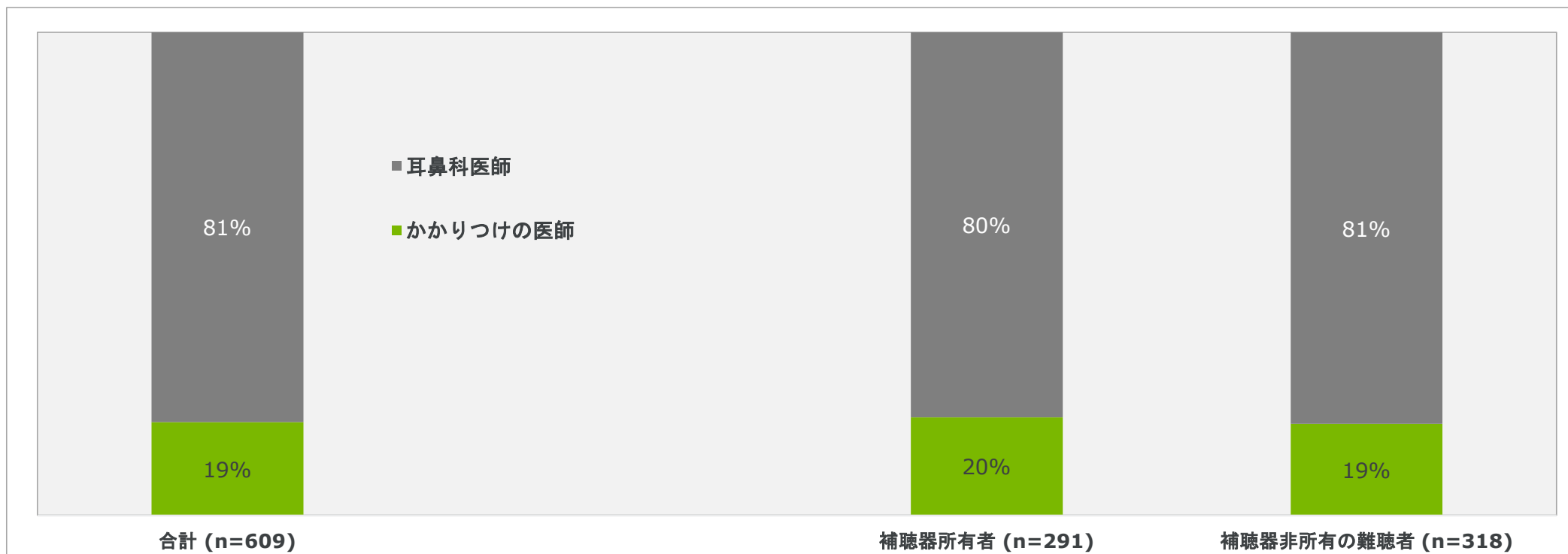
補聴器非所有の難聴者 (n=306)





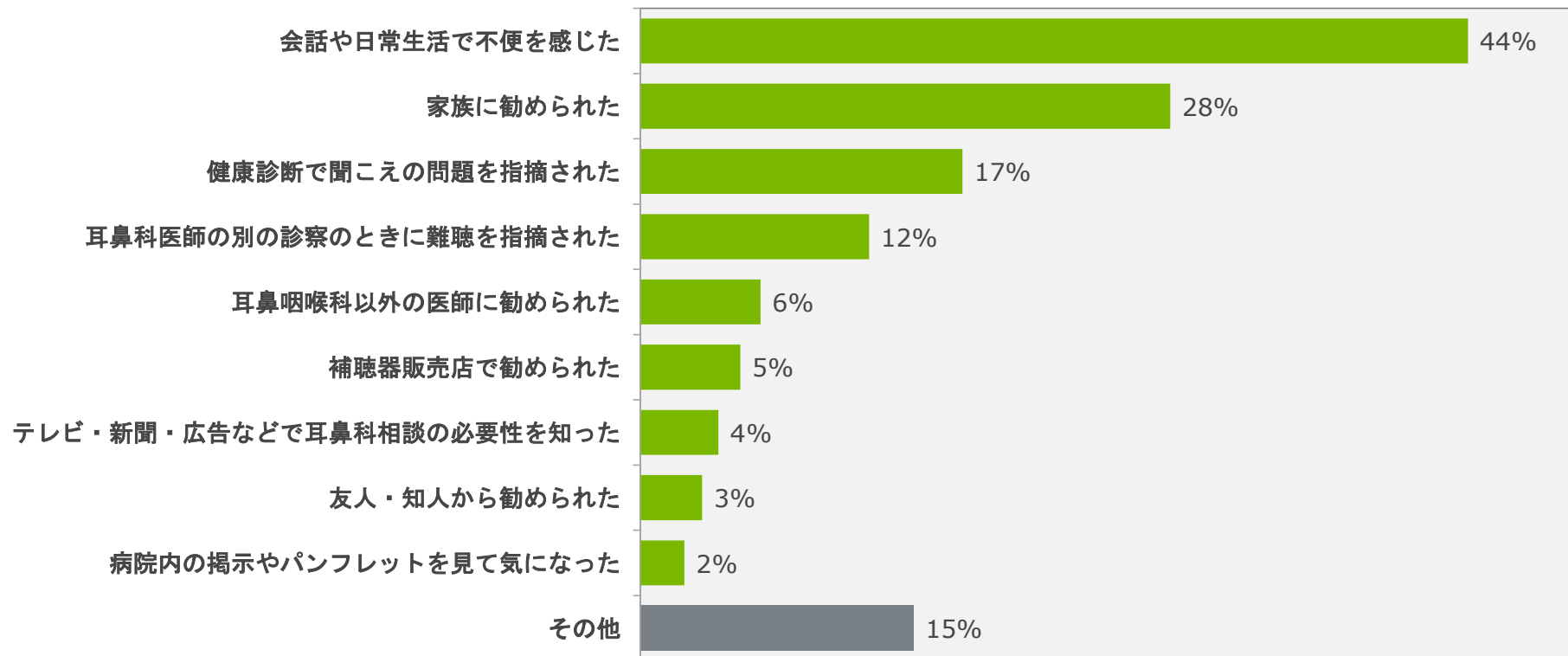
難聴について最初に相談した医師は、耳鼻科医師が81%、 かかりつけの医師が19%であった

あなたが初めに難聴について相談をしたのは耳鼻科医師でしたか、
あるいは、かかりつけの医師でしたか？



耳鼻科医師を受診した理由：聞こえづらさの経験と家族の勧め

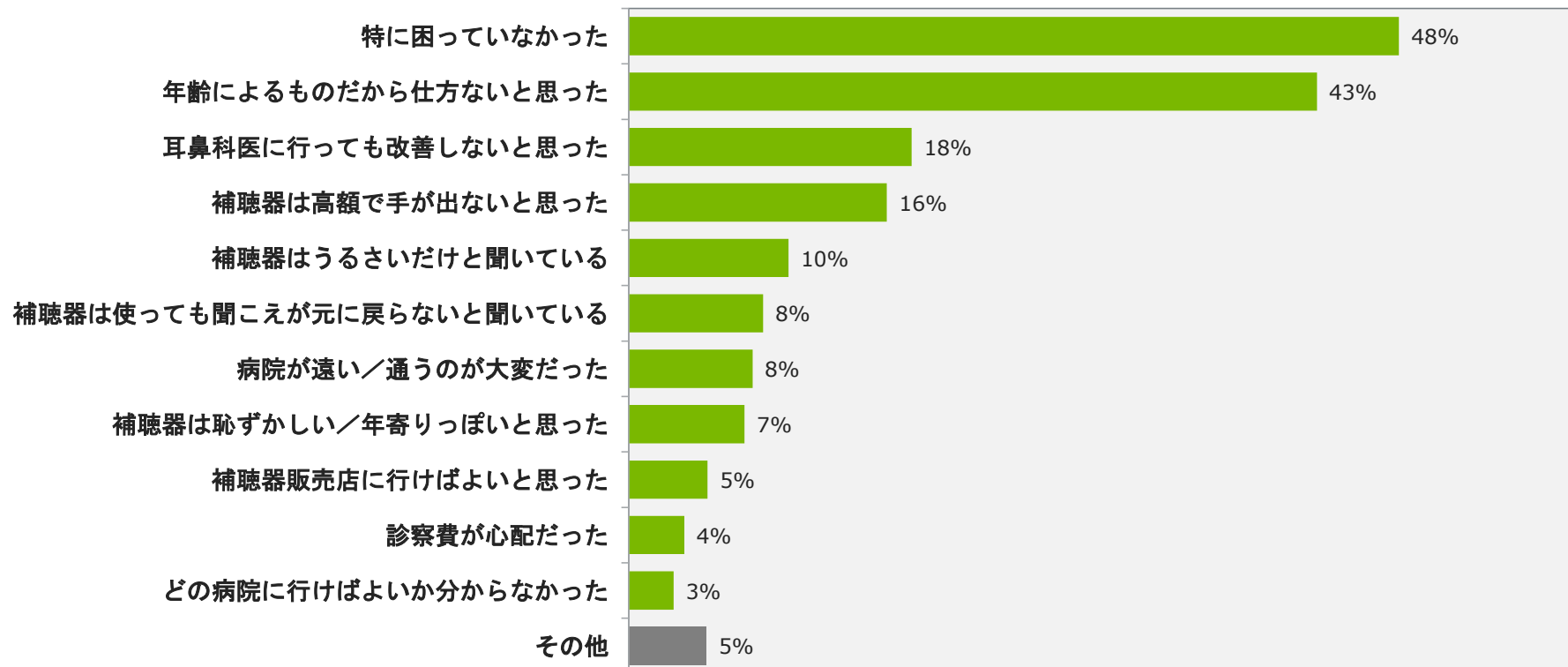
難聴について耳鼻科医師を受診されたきっかけは何ですか？



難聴者：n=591

耳鼻科医師を受診しなかった理由： 難聴はわずらわしいと感じず、加齢に伴う避けられない現象と認識されている

難聴の自覚があるにもかかわらず、耳鼻科を受診しなかった理由は何ですか？



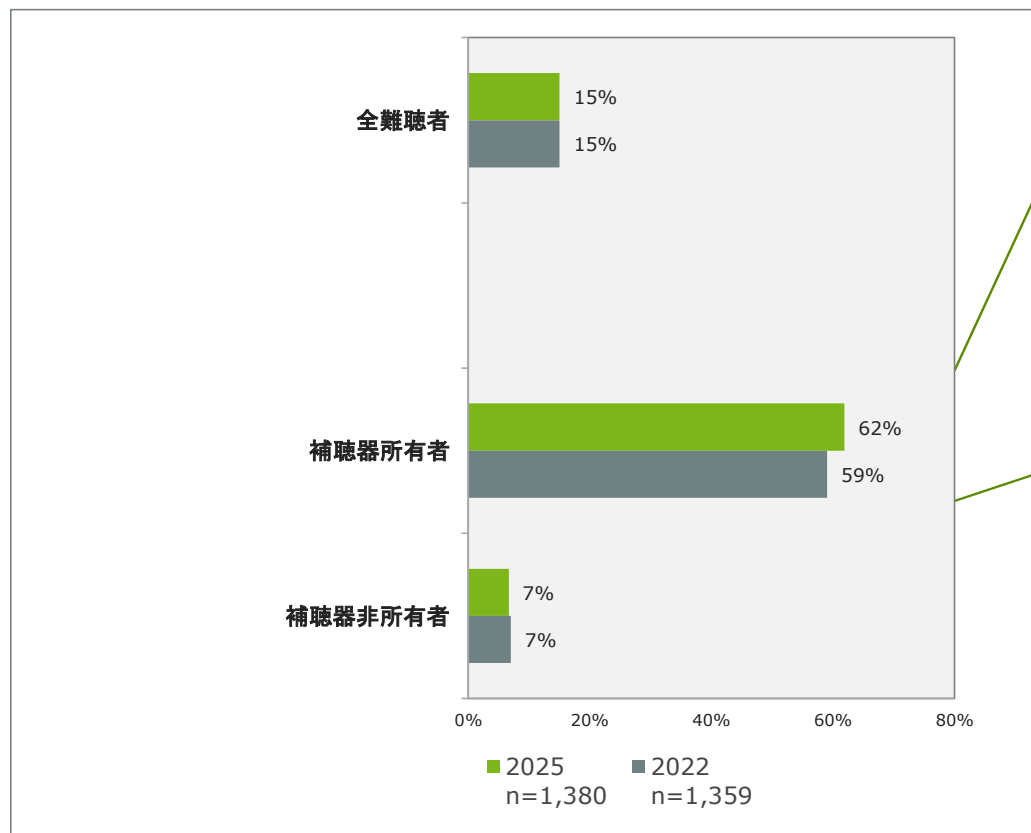
難聴者：n=718



補聴器所有への道のり： 補聴器販売店

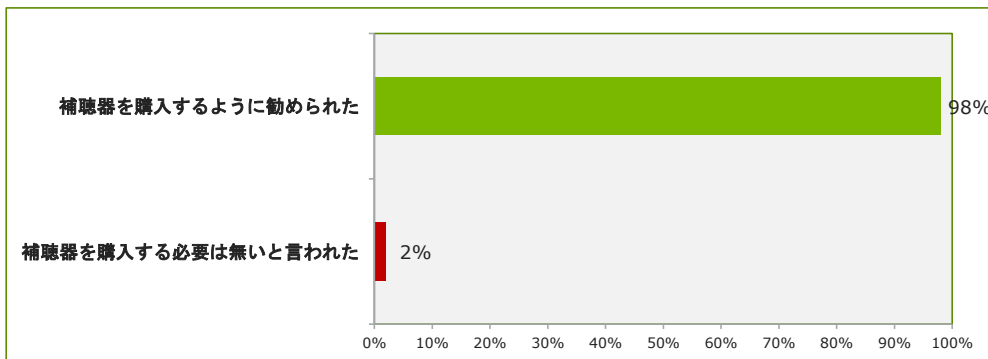
あなたは補聴器販売店と難聴について相談したことはありますか？

補聴器販売店と相談した割合

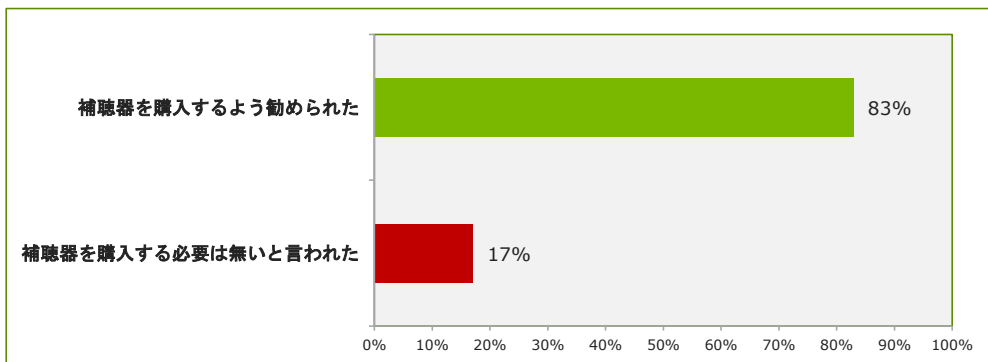


補聴器販売店の対応

補聴器所有者 (n=269)

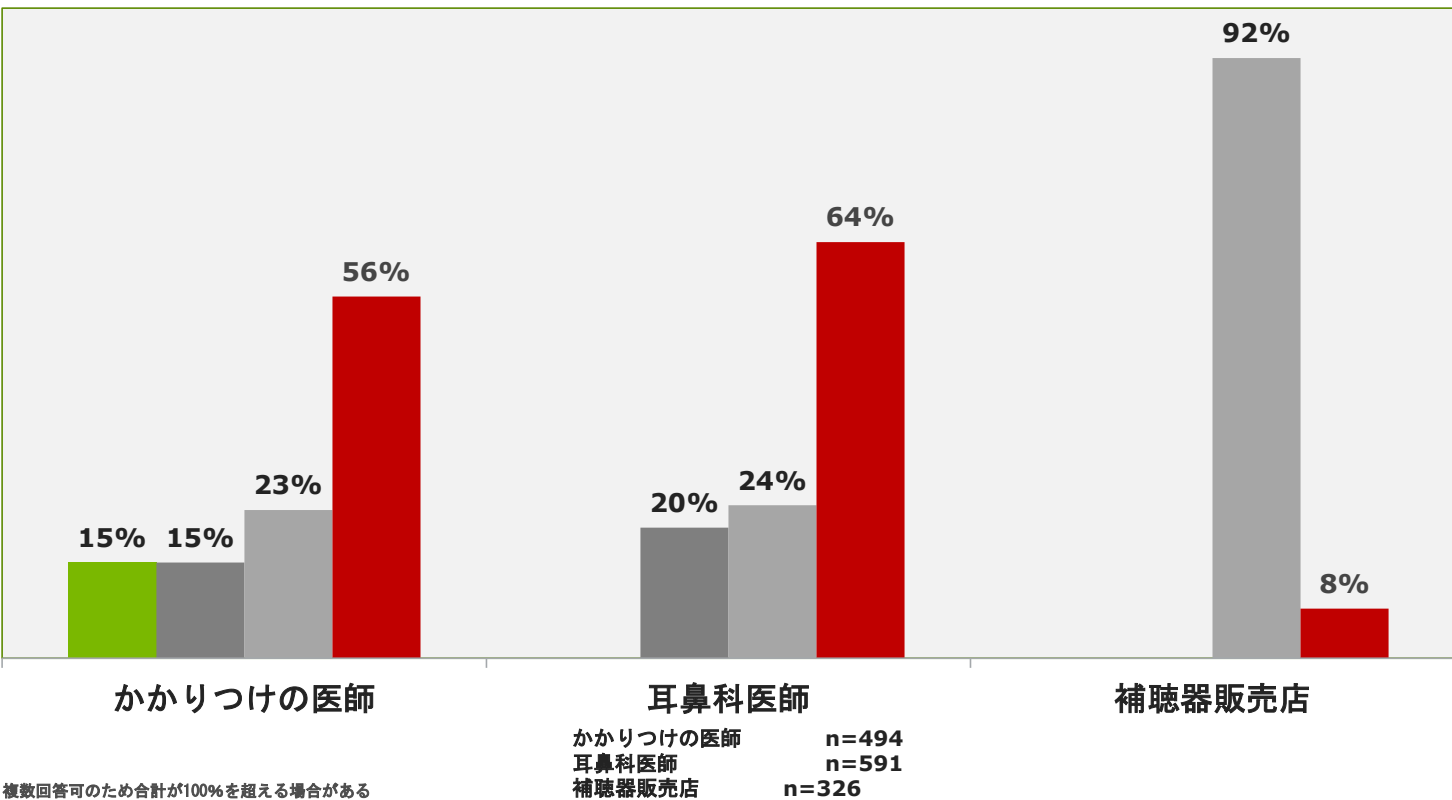


補聴器非所有難聴者 (n=57)





補聴器所有への専門家の対応・推薦



- 耳鼻科医師へ紹介した
- 補聴器販売店へ紹介した
- 補聴器を購入するよう勧められた
- 特に行動する必要は無いと言われた

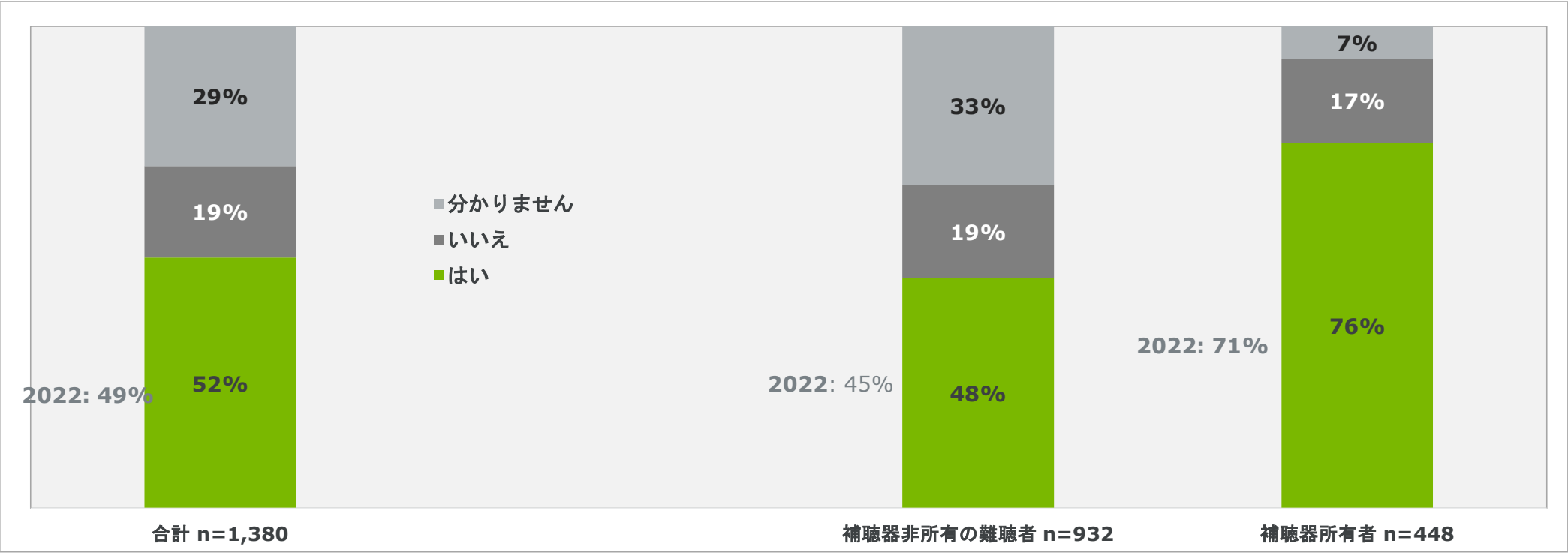
複数回答可のため合計が100%を超える場合がある





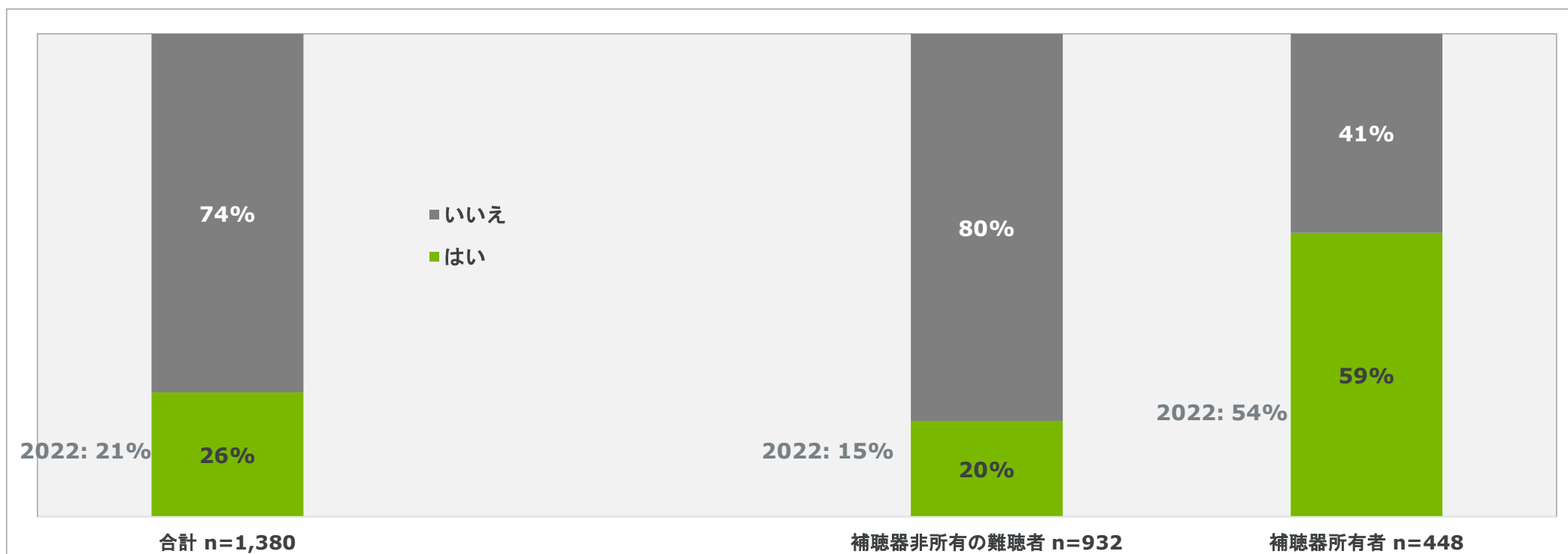
補聴器販売店の認識度はやや上昇した

あなたのお住まいの近くに補聴器販売店はありますか？



全難聴者の26%が「認定補聴器専門店」の名称を知っている また、補聴器所有者では59%が知っている

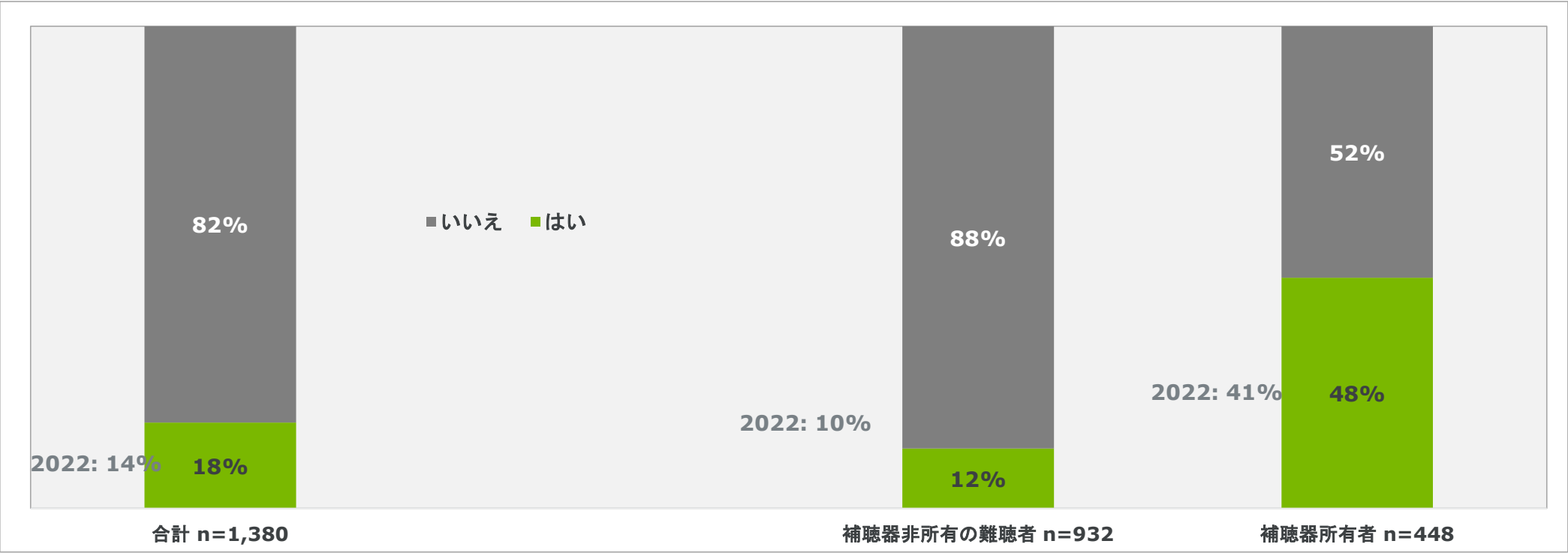
あなたは「認定補聴器専門店」という名称をご存じですか？





全難聴者の18%が「認定補聴器技能者」の名称を知っている
また、補聴器所有者では48%が知っている

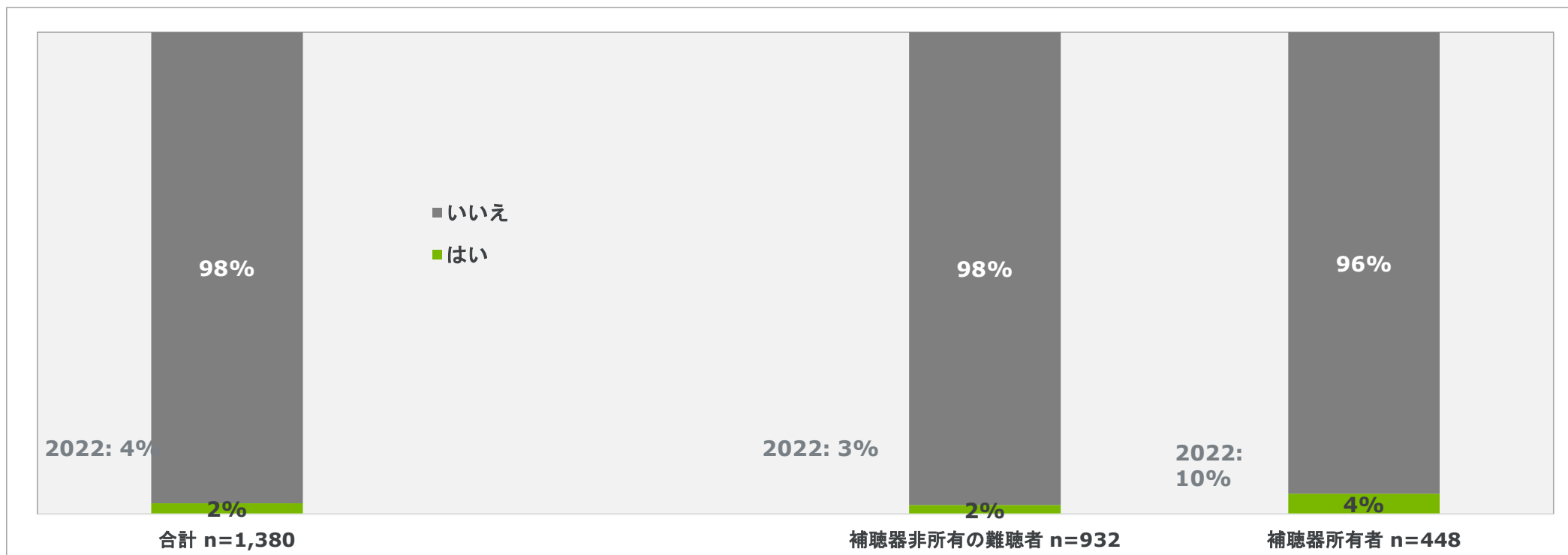
あなたは「認定補聴器技能者」という名称をご存じですか？





ほとんどの人が「テクノエイド協会」を知らない

あなたは「テクノエイド協会」という名称をご存じですか？





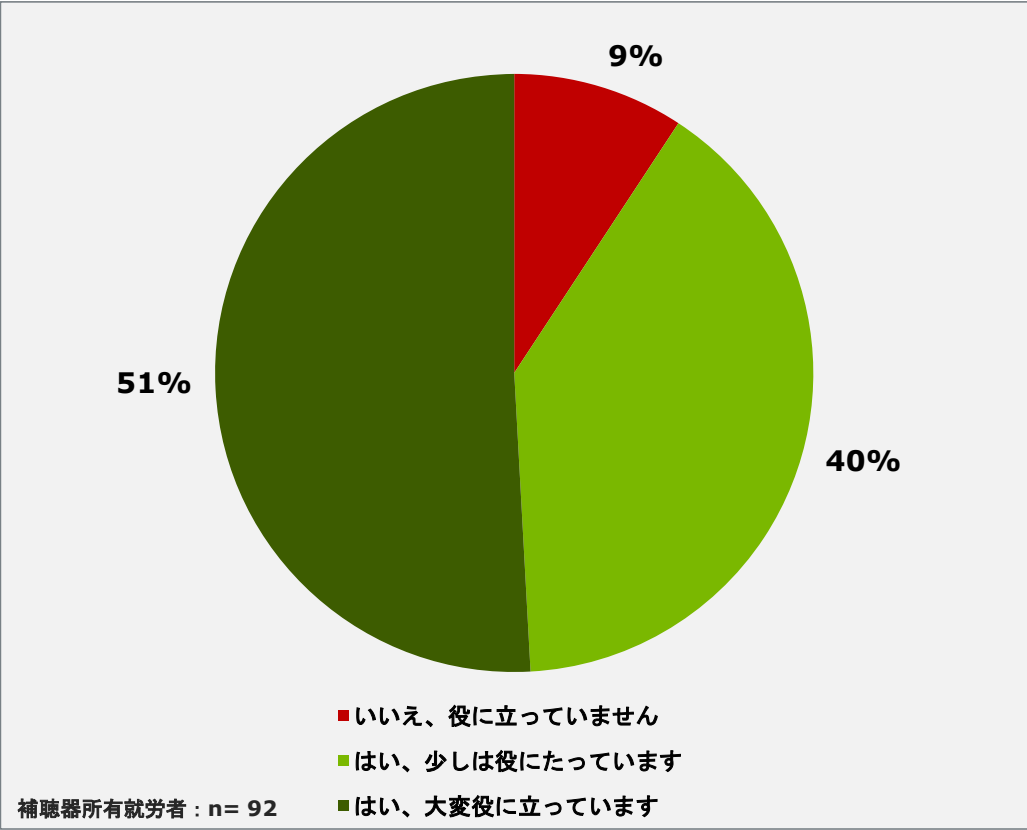
補聴器使用による潜在的な社会的費用の削減： 仕事上での優位性・うつ病・睡眠の質、併存疾患





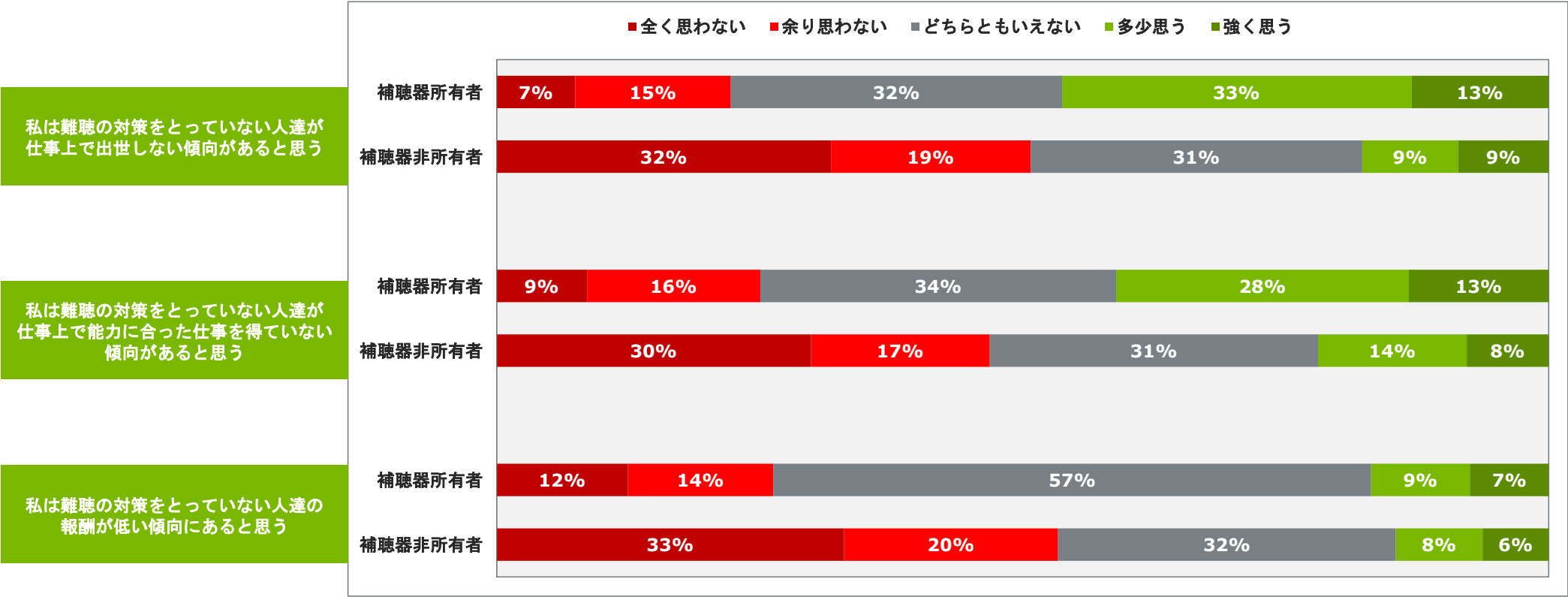
仕事上での優位性：
仕事を持っている補聴器所有者の91%は補聴器が仕事上で役に立っていると言っている

補聴器はあなたの仕事上でどのように役立っていますか？





仕事上での優位性：
補聴器所有者は補聴器が難聴者にとって、出世・適切な仕事・高い報酬を得るために役立っていると認識している



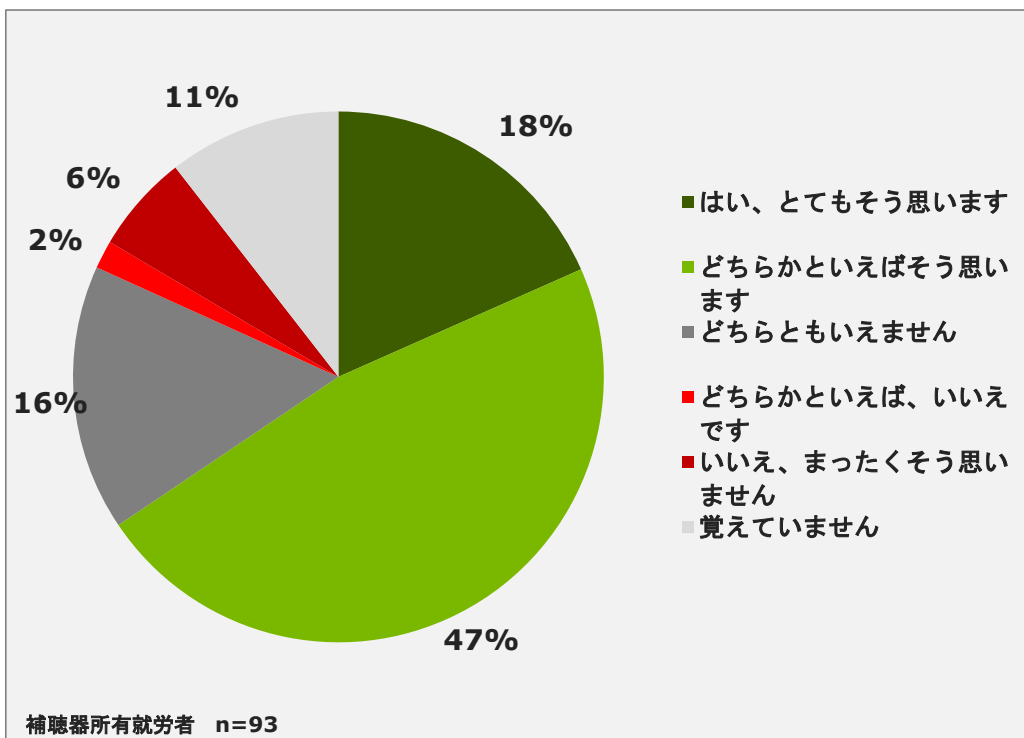
補聴器所有者 n=312 / 補聴器非所有者 n=636



補聴器所有就労者の2/3は補聴器によって長く就労できたとと思っている

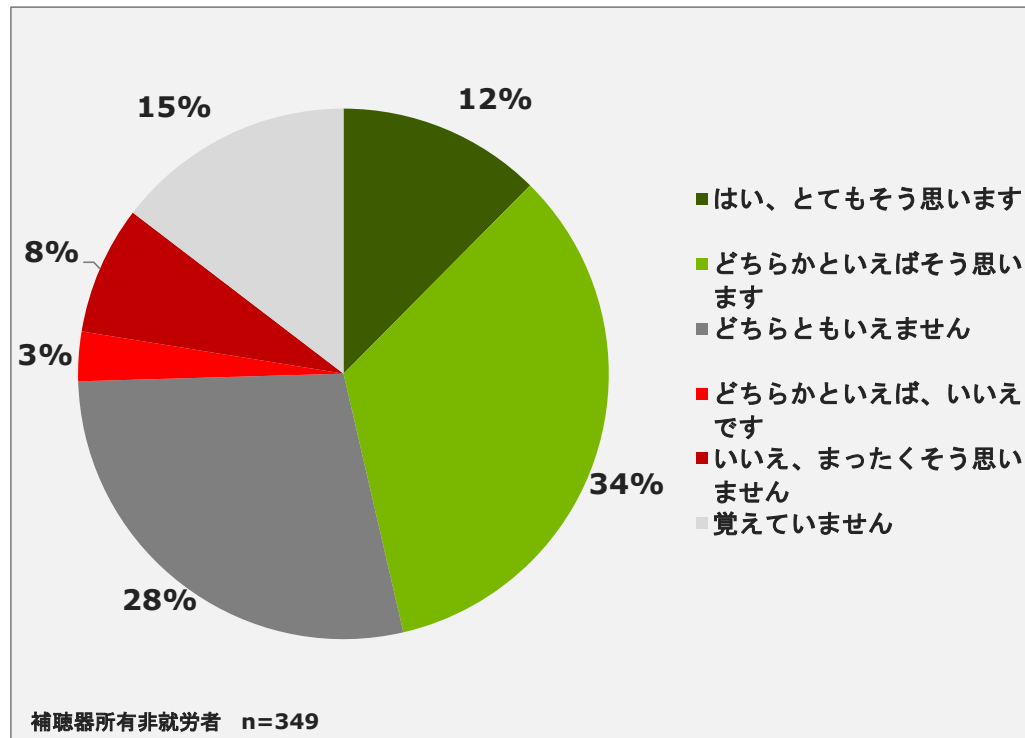
補聴器所有就労者：

補聴器を使用することによって、使用しない場合よりも長く就労できることができた、またはできると思いますか？



補聴器所有非就労者：

補聴器を使用することによって、使用しない場合よりも長く就労できることができた、またはできると思いますか？





その他の健康問題（1）：

補聴器所有者は補聴器非所有者（難聴度の高い上位50%のグループ*）と比べてうつ病になるリスクが低い（PHQ-2スクリーニング）

うつ病の症状

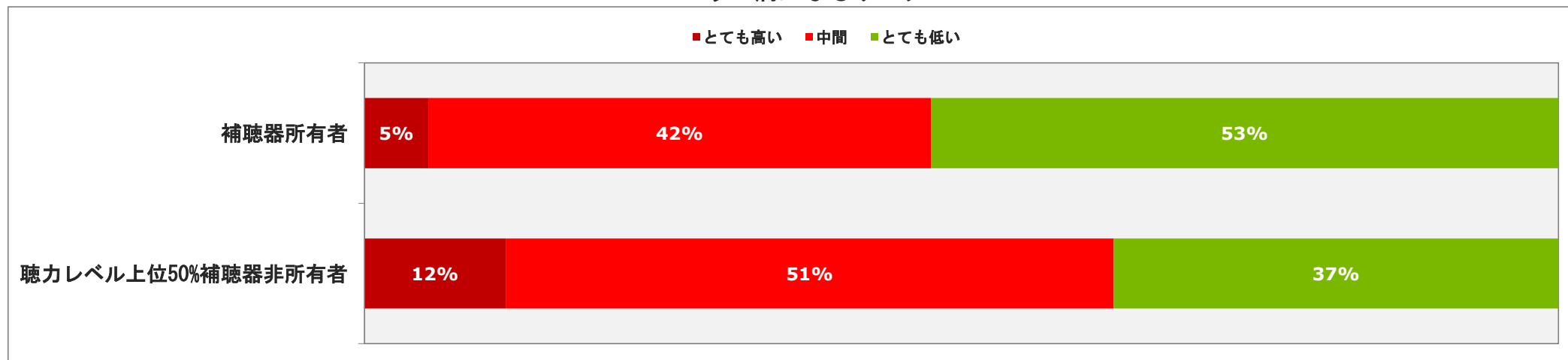
（PHQ-2スクリーニング）：

過去2週間以内に：

【興味が無くなった・楽しまなくなった】

【気分が落ち込んだ・憂鬱になった・絶望的な気持ちになった】

うつ病になるリスク



補聴器所有者 n=355 / 聴力レベル上位50%補聴器非所有者 n=195

*6グループの構成：この分析は「難聴レベル」を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：

（聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた）

- ・ 障害している耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-ECテストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

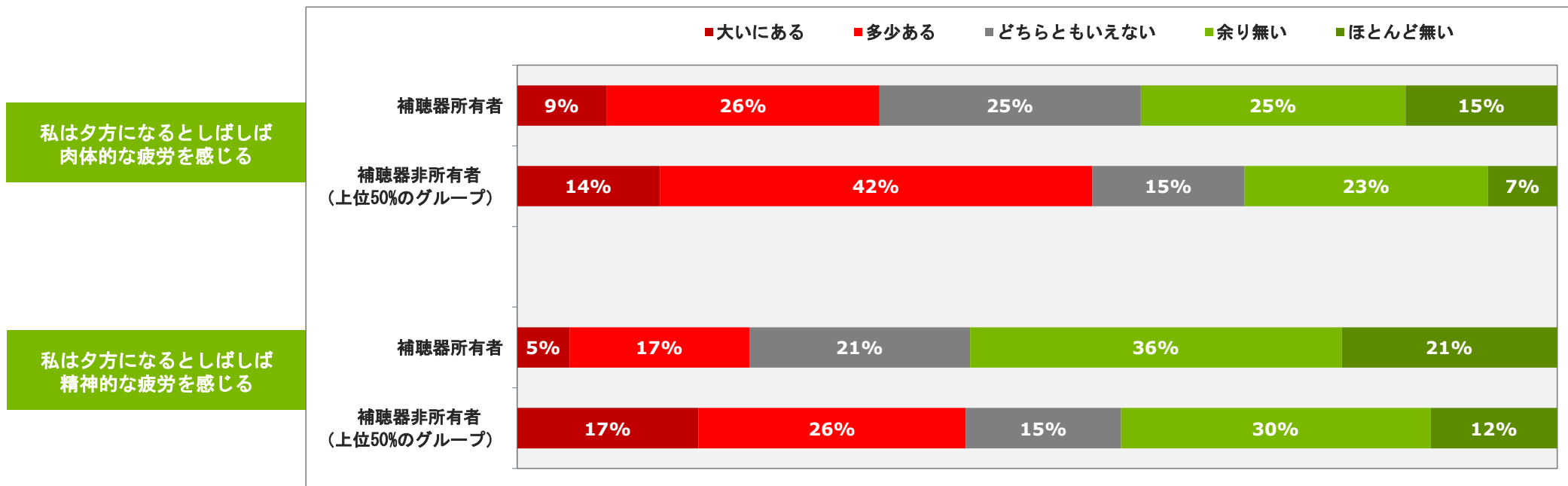
→回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）





その他の健康問題（２）：

補聴器所有者は難聴度の高い上位50%のグループ*の補聴器非所有者に比べて夕方の疲労感が低減している



補聴器所有者 n=345 / 聴力レベル上位50%補聴器非所有者 n=191

*6グループの構成：この分析は「難聴レベル」を一つの要因とし、全て同一なものとして行われた。その中には以下の質問も含まれている：
 （聞こえに関する以下のアンケート結果を集計し6つの聴力別のグループに分けた）

- ・ 障害している耳の数（片耳又は両耳）
- ・ 申告された聴力損失のレベル（軽度から重度まで）
- ・ 6 APHAB-ECテストのスコア（Scaled 1-5の質問による）
- ・ 補聴器を使用しない時の騒音下での会話困難度

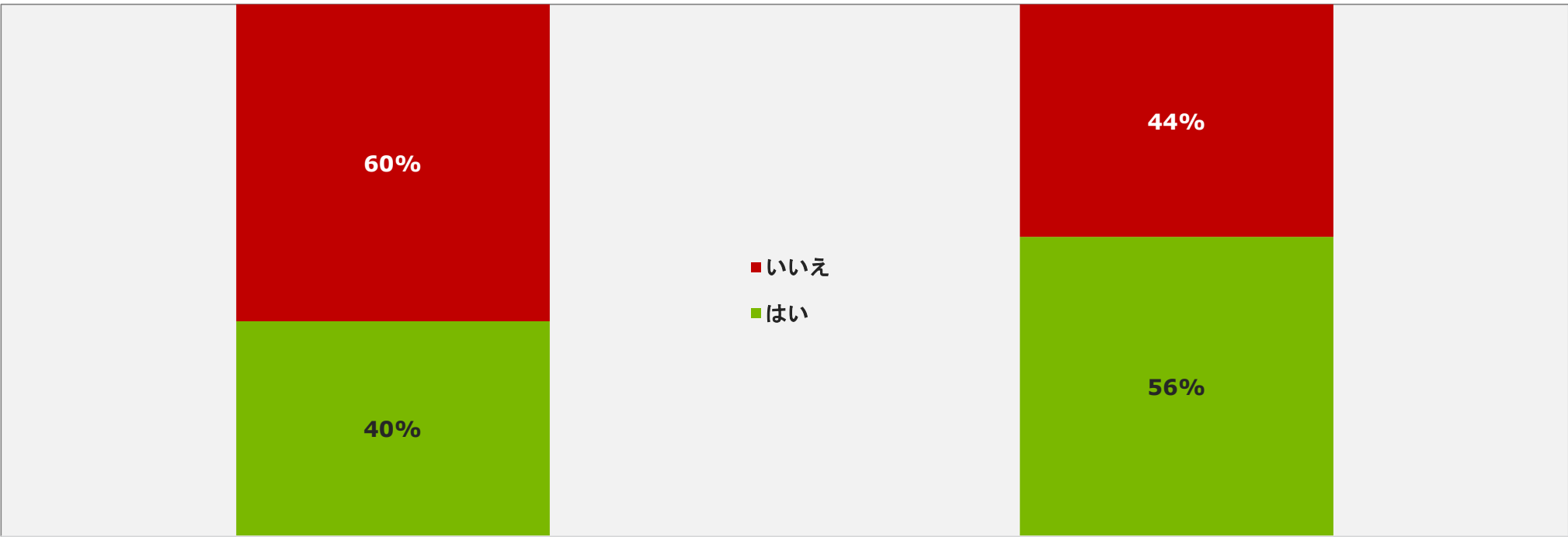
→回答者を同数の6グループに分類した（1グループ=サンプル中の全難聴者数の16.67%）





その他の健康問題（3）：
難聴者が補聴器を使用すると睡眠の質が向上すると推定される

あなたは普段の睡眠の質に満足されていますか？



難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者

補聴器所有者

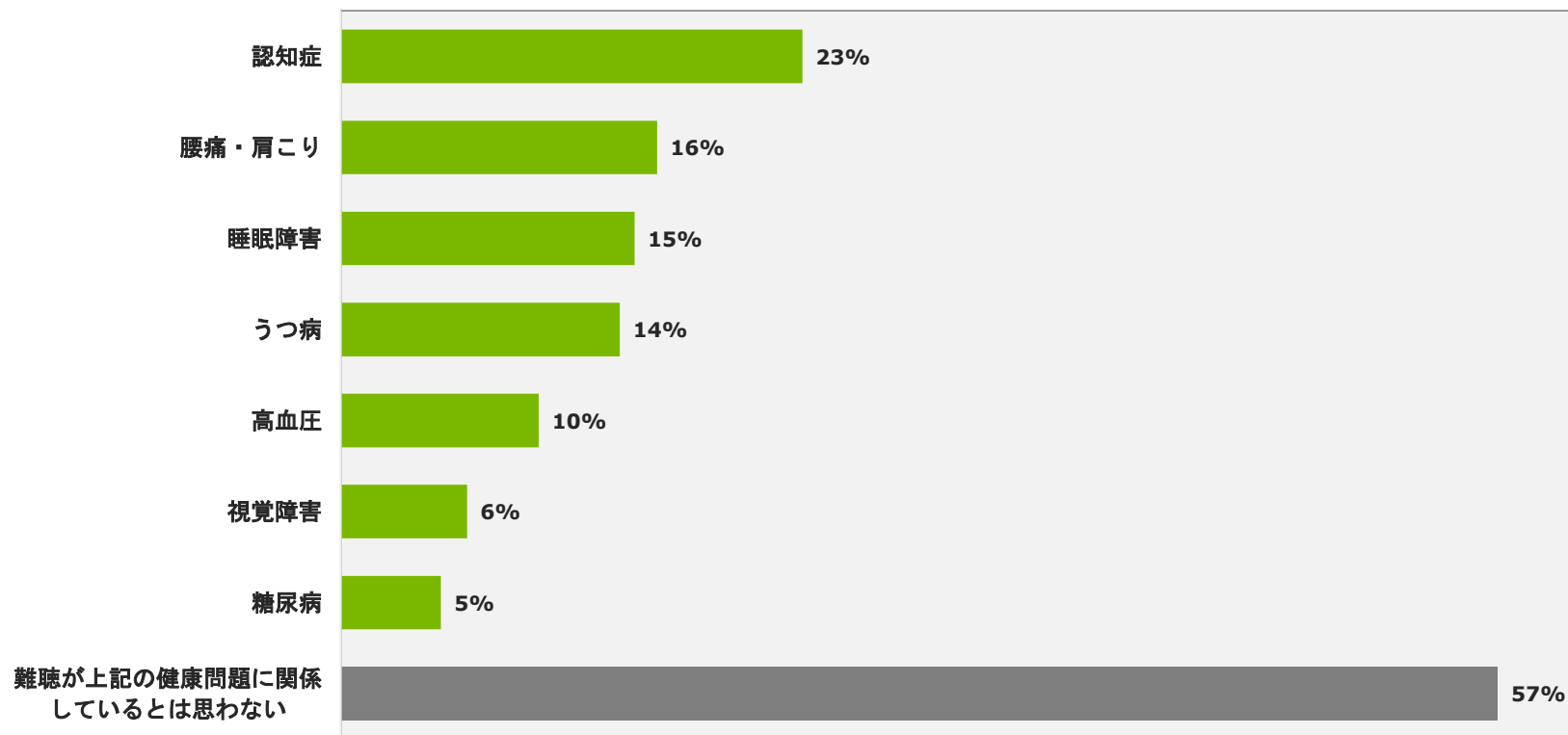
難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者 n=195 / 補聴器所有者 n=355





難聴者の23%が「認知症」が難聴と関係していると思っている

あなたが難聴に関連していると思う以下の健康問題をすべて選択してください。



難聴者 : n=1,380





3. 補聴器所有者に関する分析



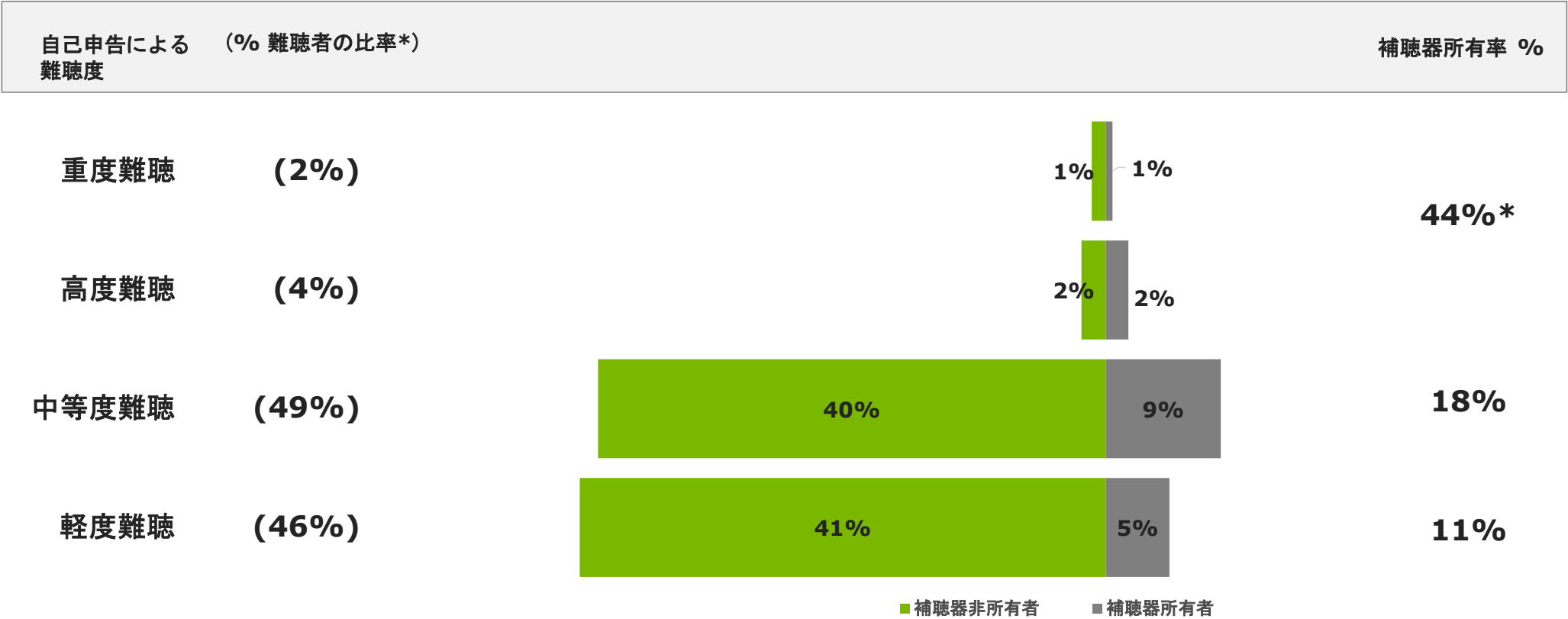


補聴器所有、補聴器入手以前の難聴の自覚、 補聴器の寿命と使用状況





難聴度が軽度・中等度の補聴器所有率は低い



難聴者 : n=1,380

© 2025 Anovum GmbH - JapanTrak 2025

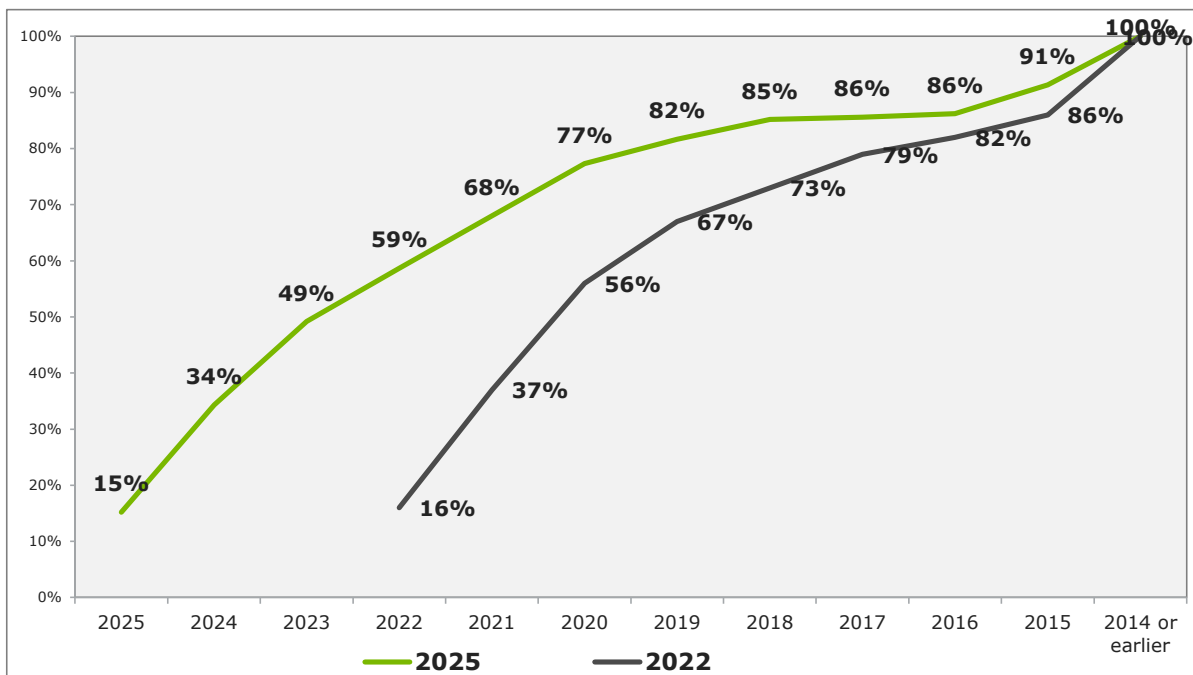
四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある
※nが過小なため重度と高度難聴者を合算して算出している





現在所有されている補聴器のうち59%は2022年以降に購入されたものである RICは補聴器の中で最もよく購入されているタイプである

購入時期

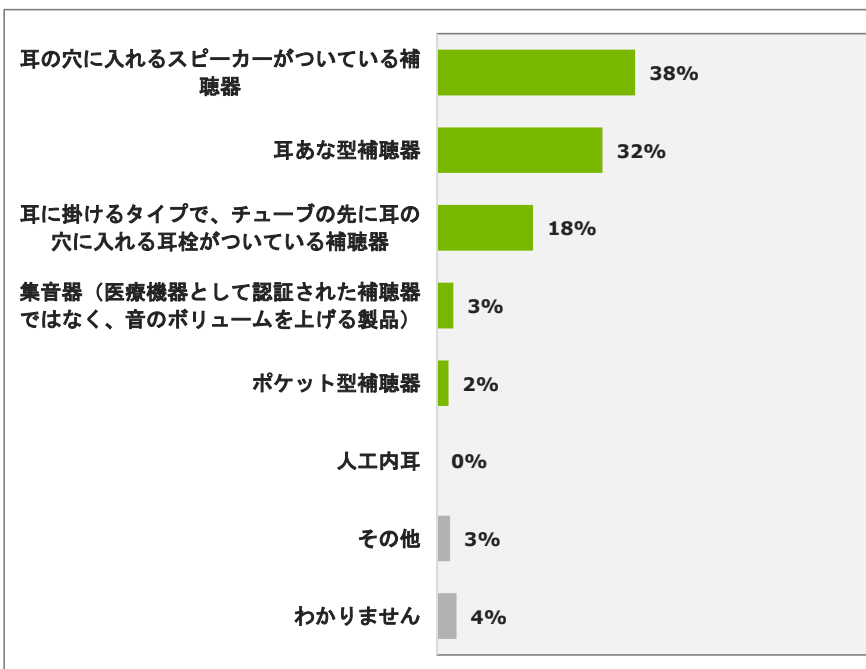


現在所有されている補聴器の年数（平均）

2025 : 4.0年

2022 : 3.8年

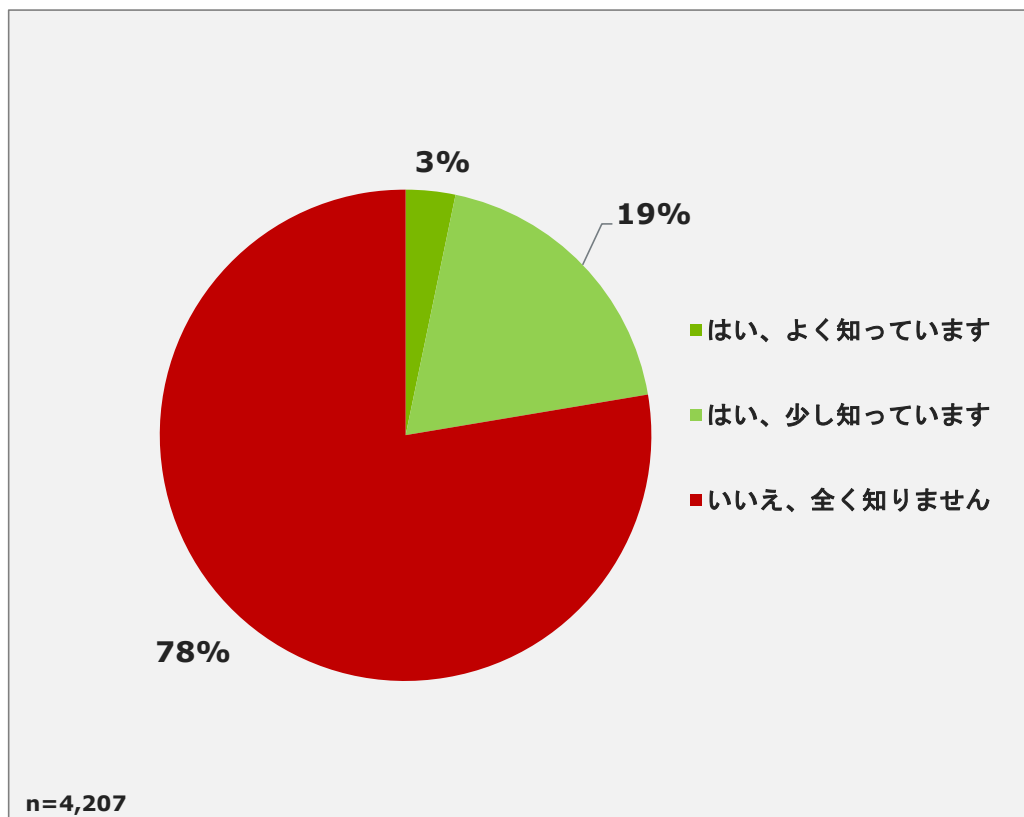
補聴器のタイプ





日本人の78%が人工内耳のことを知らない

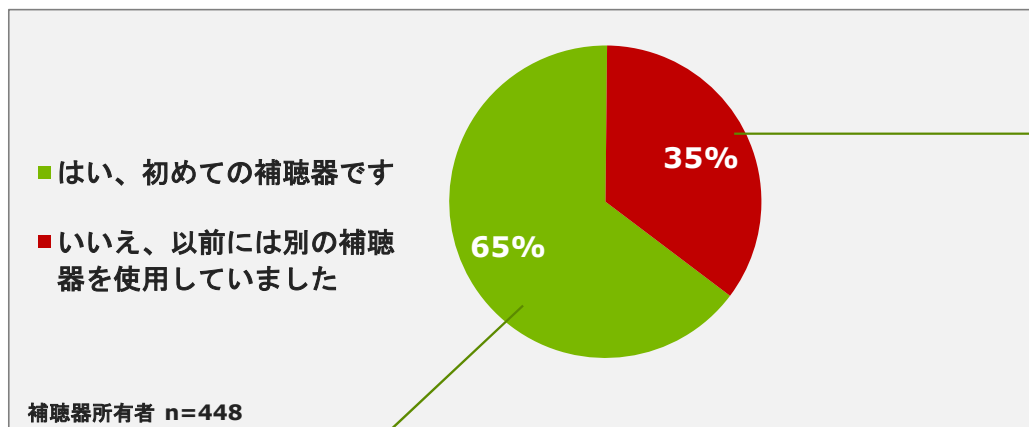
あなたは人工内耳を知っていますか？



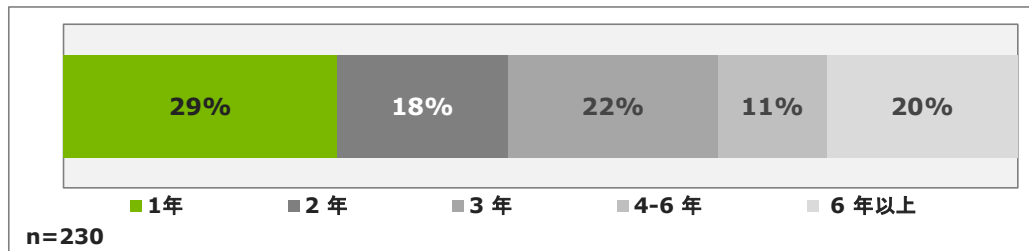


補聴器は5年間使用してから買い替えられている 難聴に気づいてから補聴器を購入するまでに平均2～6年が経過している

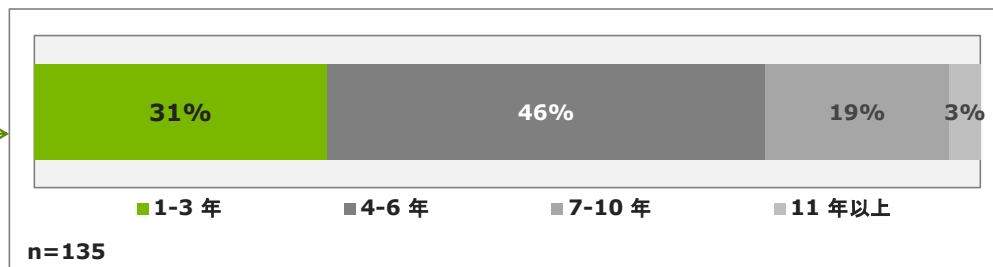
現在、ご使用中又はお持ちの補聴器は初めての補聴器ですか？



補聴器所有者（初めての補聴器）：
難聴に気付いてから初めて補聴器を購入した時までに何年かかりましたか？

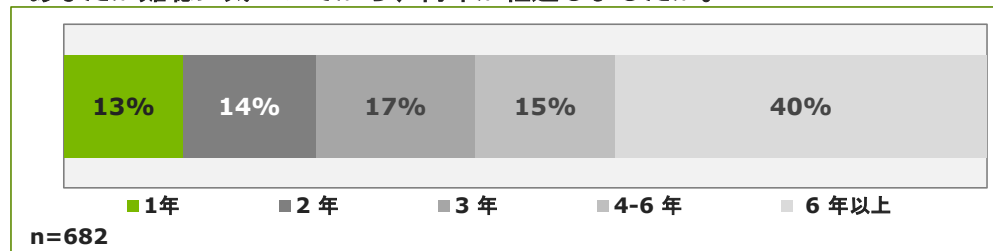


以前購入された補聴器は、何年ぐらい使用されましたか？



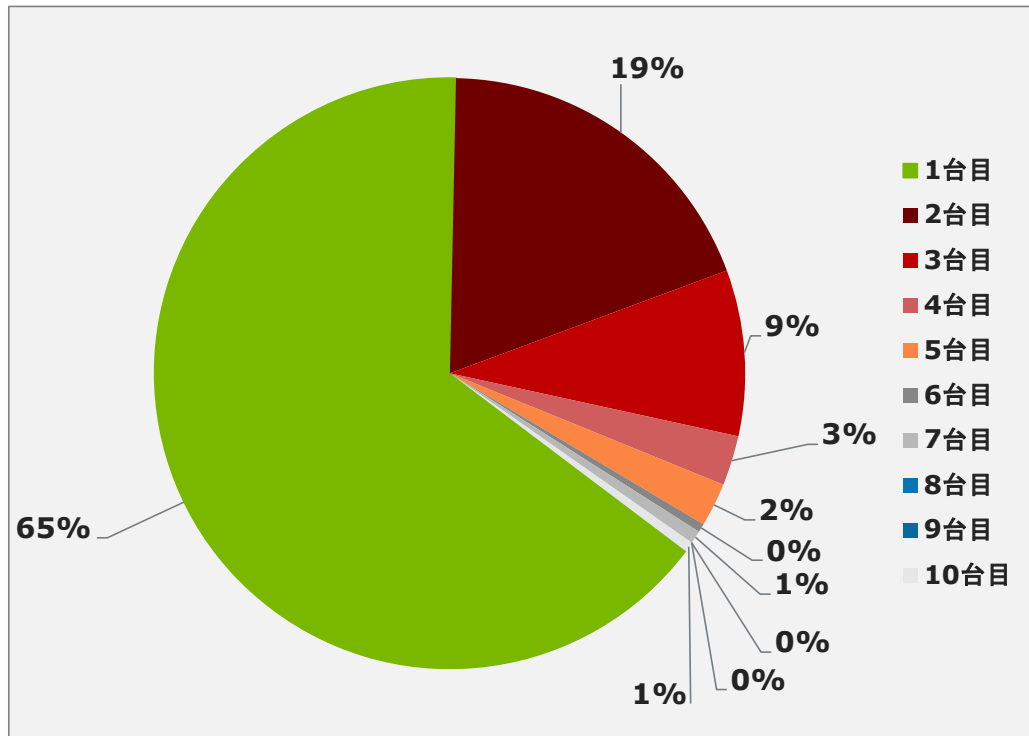
買い替えるまでのおおよその期間
2025年：5年（中央値）
2022年：4年（中央値）

補聴器非所有者：
あなたが難聴に気づいてから、何年が経過しましたか。



65%が初回補聴器所有者、19%が2回目の補聴器所有者

今使っている補聴器は何台目ですか？（両耳装用は1台として計算する）



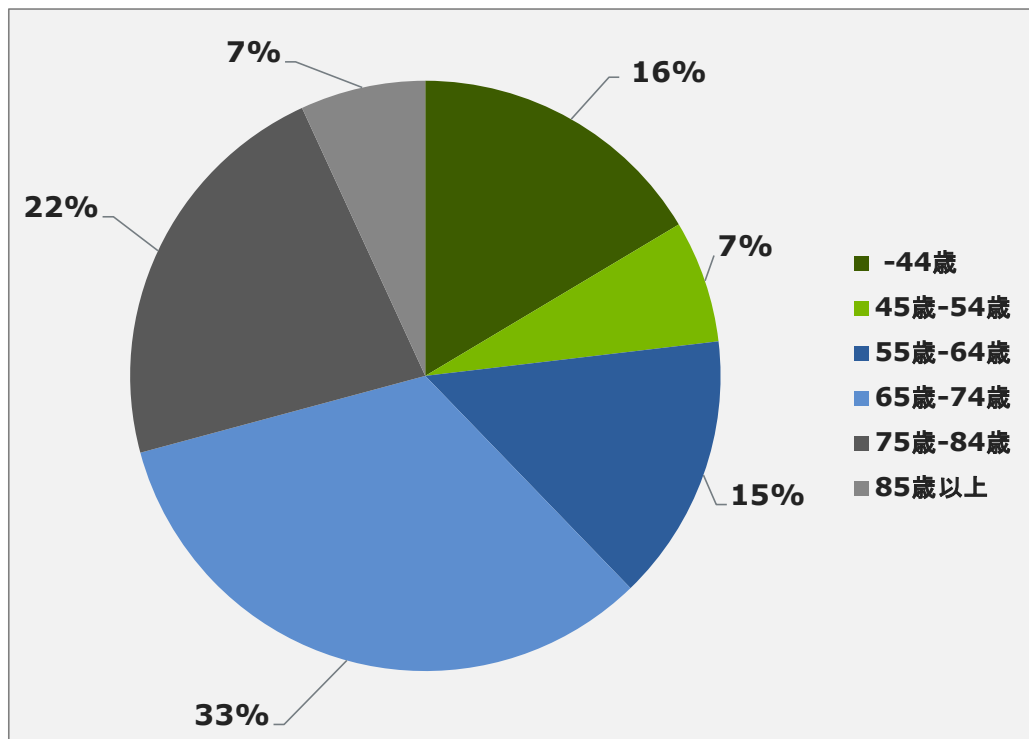
補聴器所有者 n=448

© 2025 Anovum GmbH - JapanTrak 2025



補聴器が必要であると感じたのは、おおよそ70歳になった時である

あなたは何歳の時に補聴器が必要だと感じましたか？



中央値：70歳（2022年：72歳）

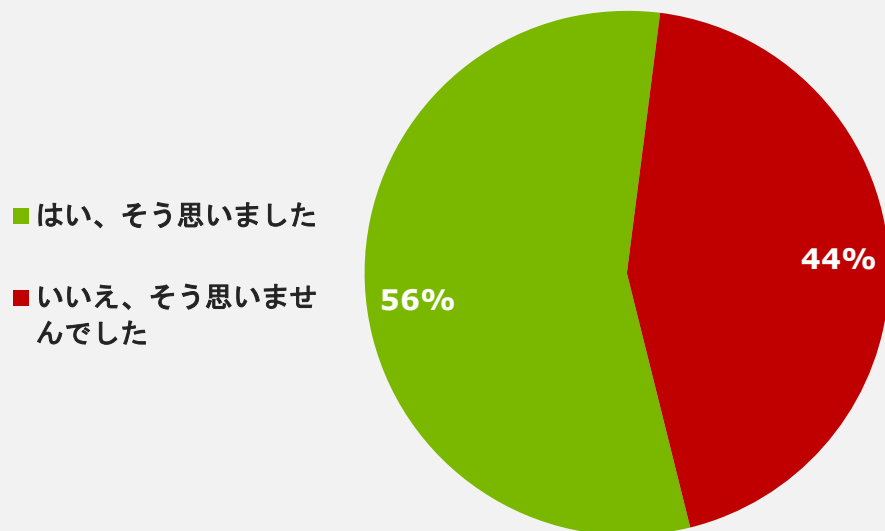




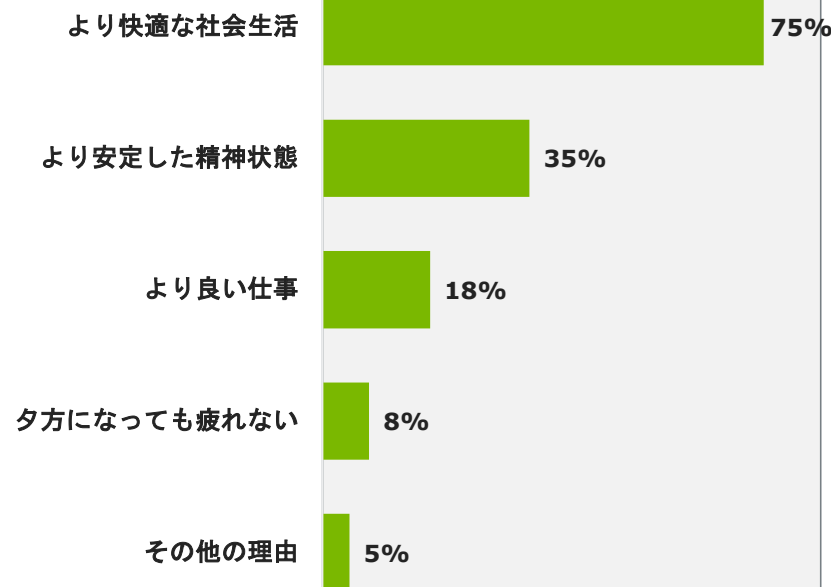
全補聴器所有者の内、56%がもっと早く補聴器を使用していればよかったと思っている！
その最大の理由は、より快適な社会生活や、より安定した精神状態を得られたと思われるから

補聴器を初めて入手した時のことを思い出してください
補聴器をもっと早く使用すべきだったと思いますか？

「はい」と答えた方へ：
補聴器をもっと早く使用していたら得られたと思われる事柄は以下のどれですか？（複数回答可）



補聴器所有者 n=448



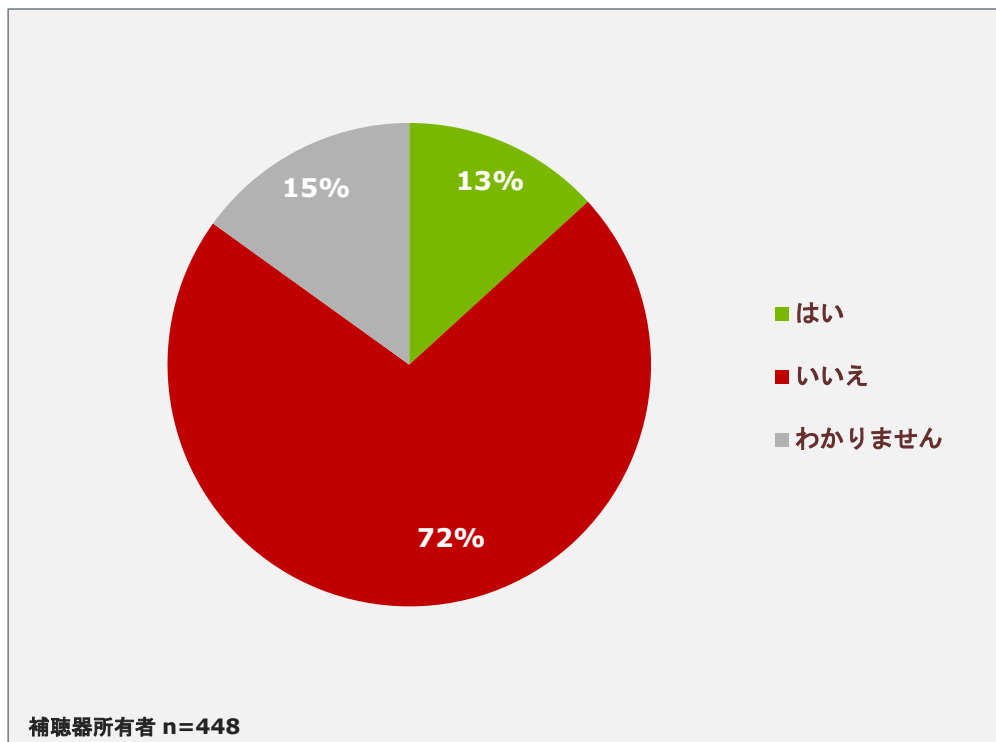
n=261



補聴器所有者のうち13%が障害者総合支援法（身体障害者福祉法）に基づく公的支援補助を受けている 補聴器非所有者のうち10%がこれらの制度の存在を知っている

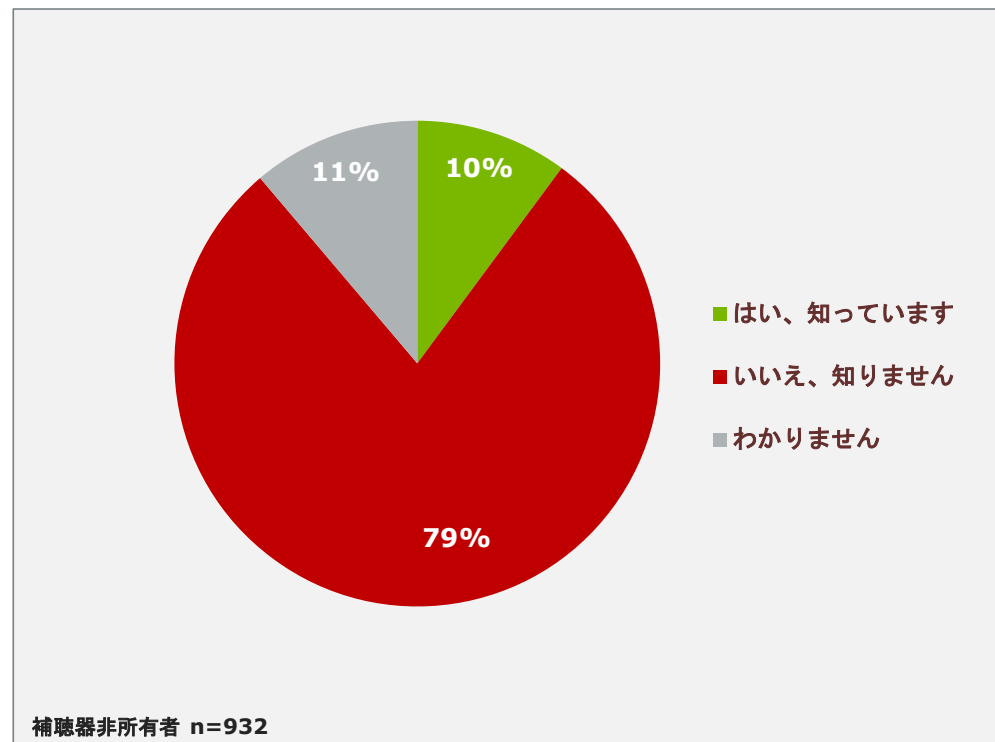
補聴器所有者：

あなたの補聴器は障害者総合支援法（身体障害者福祉法）で交付されたものですか？



補聴器非所有者：

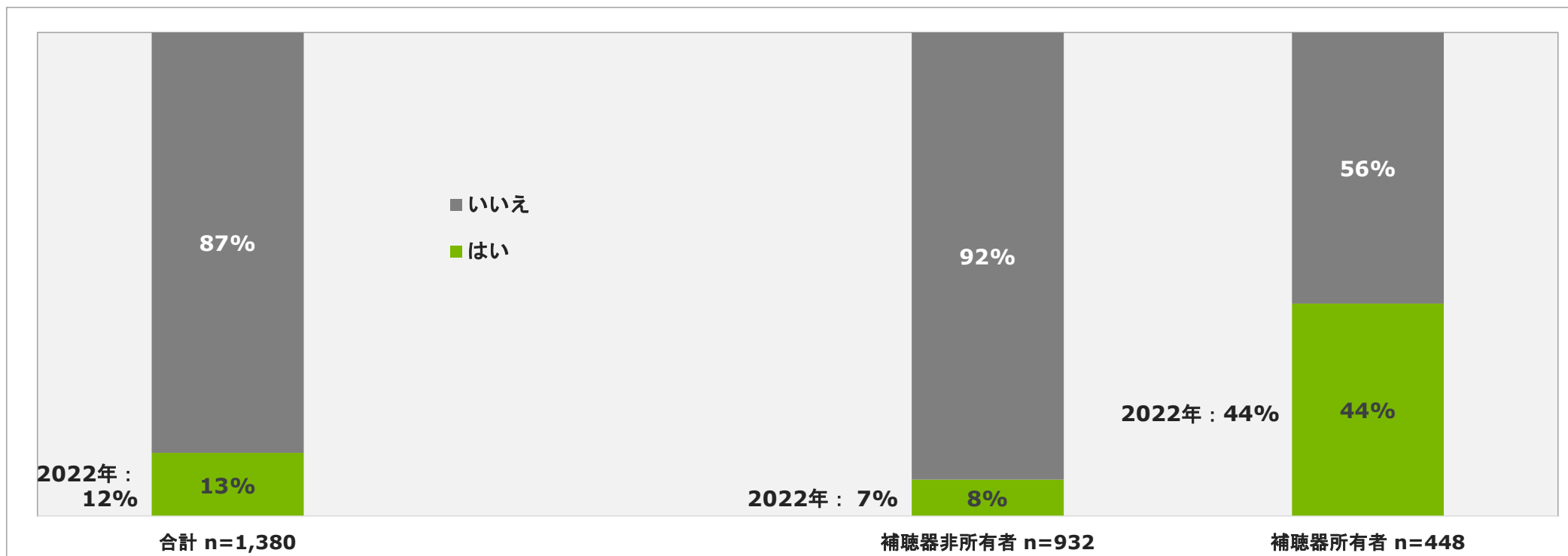
あなたは補聴器の公的支給制度をご存じですか？





難聴者全体の13%が、補聴器が消費税非課税品であることを知っている 補聴器所有者ではその割合が44%である

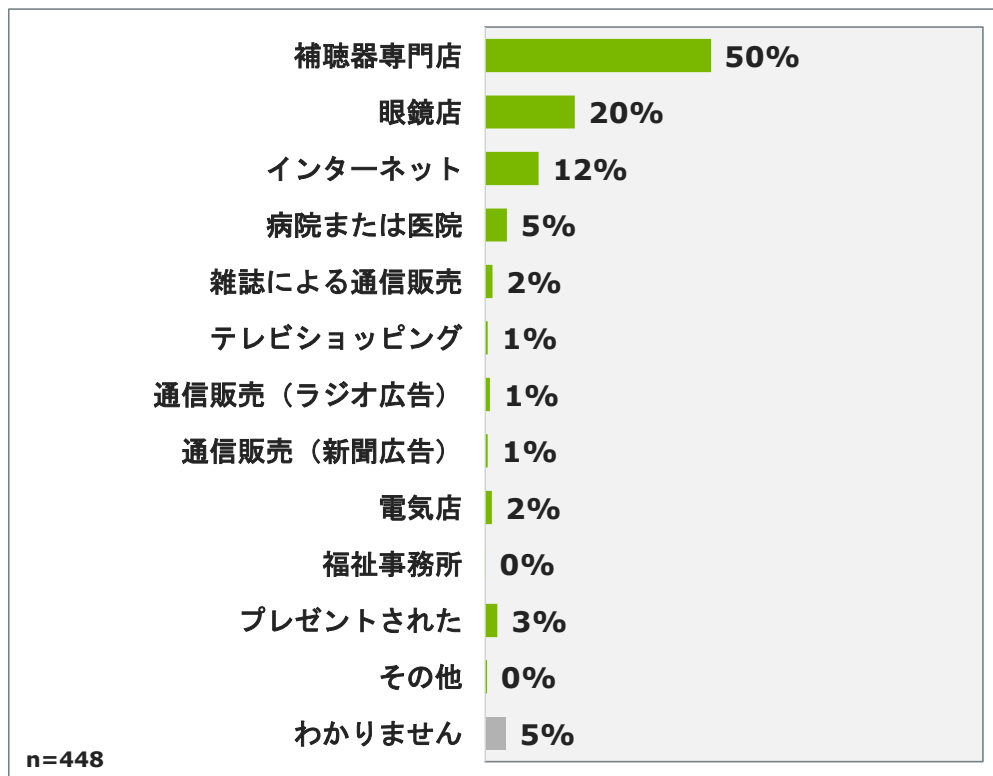
補聴器には消費税はかかりませんが、あなたはそれを知っていましたか？



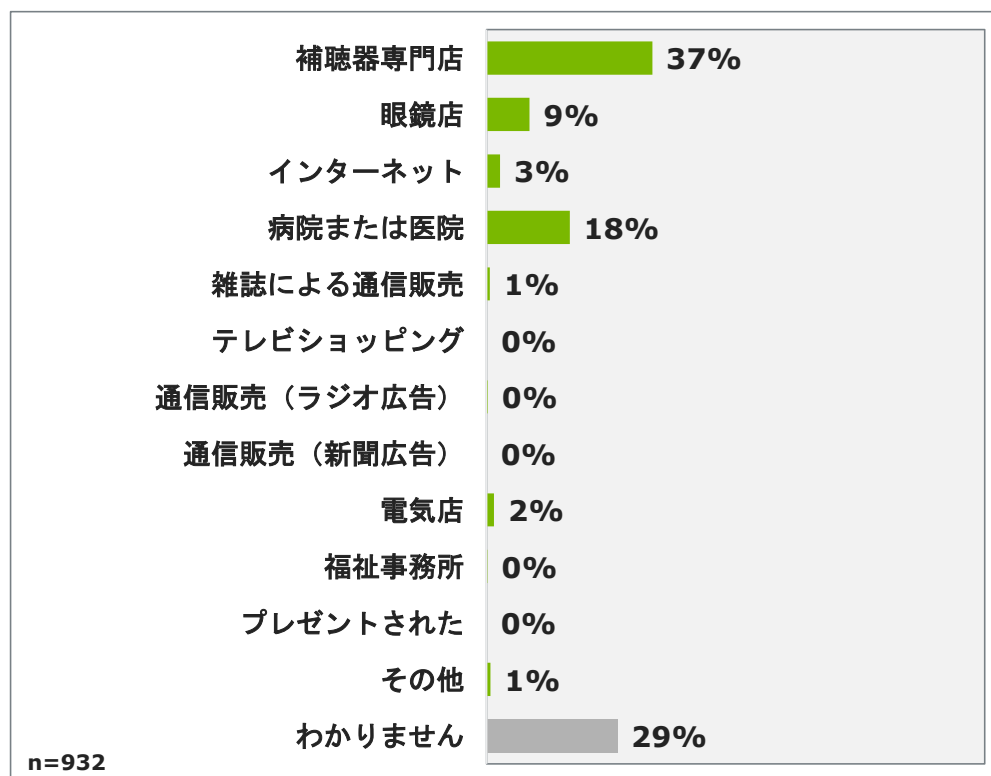


補聴器専門店、補聴器の所有の有無に関わらず、最も購入場所として選ばれている

補聴器所有者：
あなたのご使用中又はお持ちの補聴器はどこで購入されましたか？

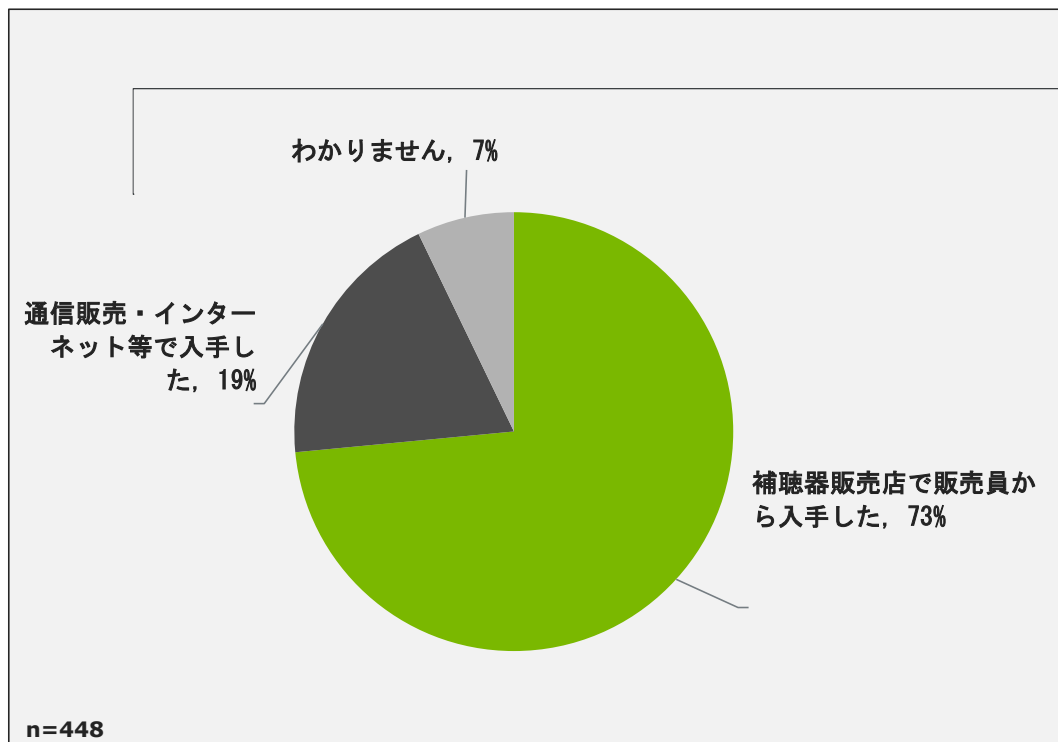


補聴器非所有者：
もし補聴器を手に入れるとしたら、どこへ行きますか？

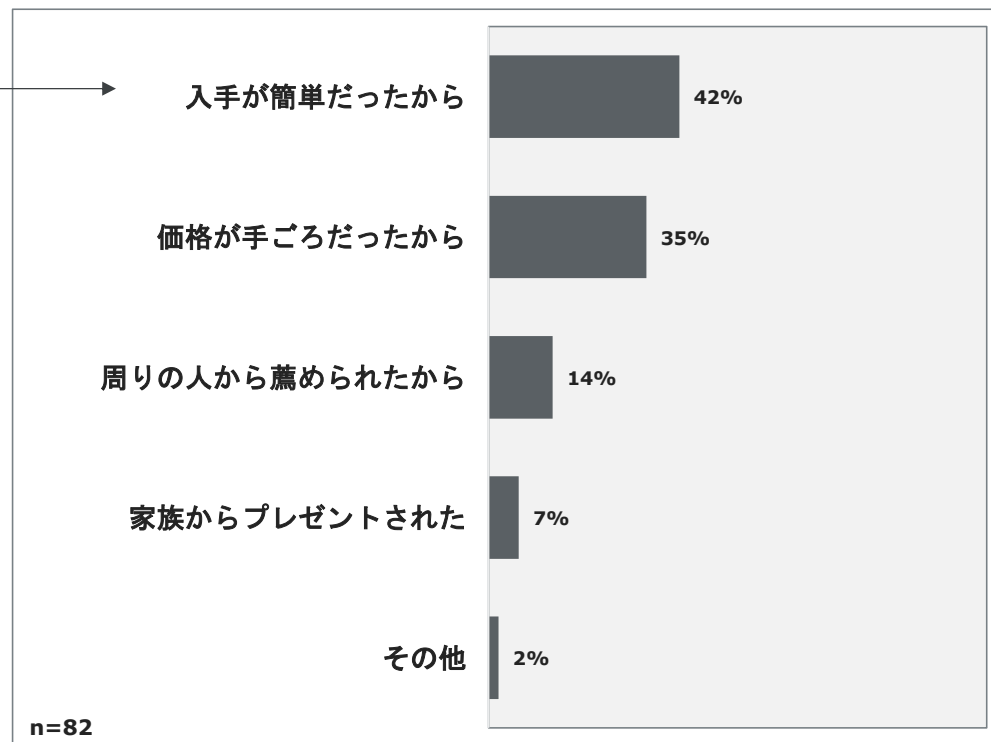


補聴器所有者の19%は、入手の容易さや価格の手ごろさから 通信販売・インターネット等で入手している

お持ちの補聴器はどのように入手されましたか？
以下の中から選んでください



通信販売・インターネット等で入手した理由はなんですか？
以下の中から選んでください

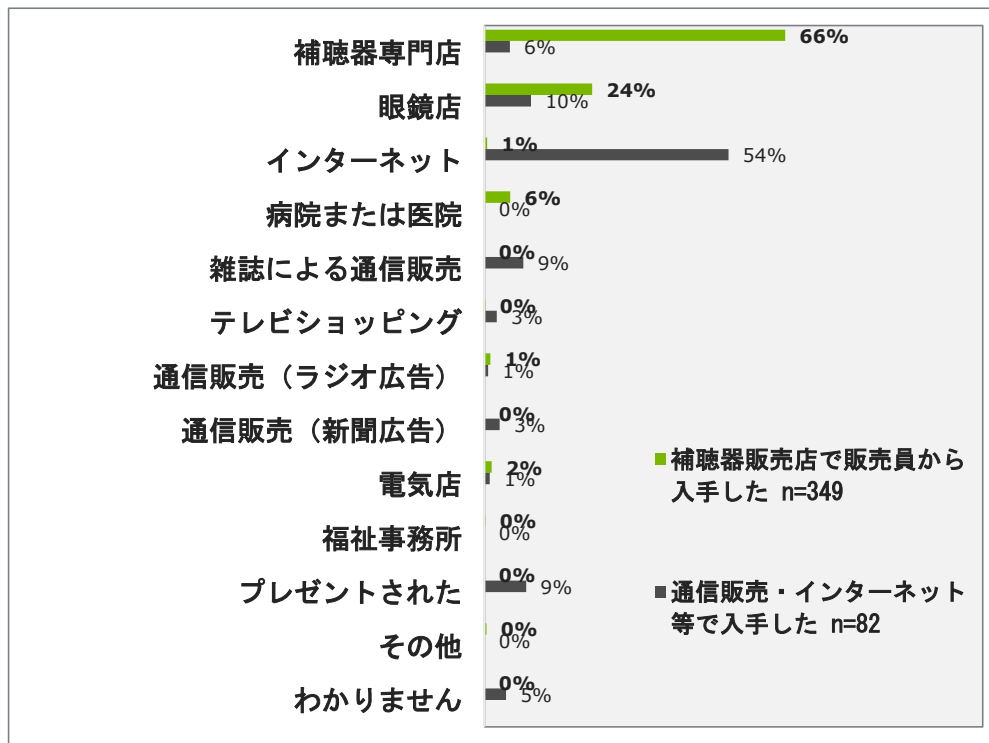
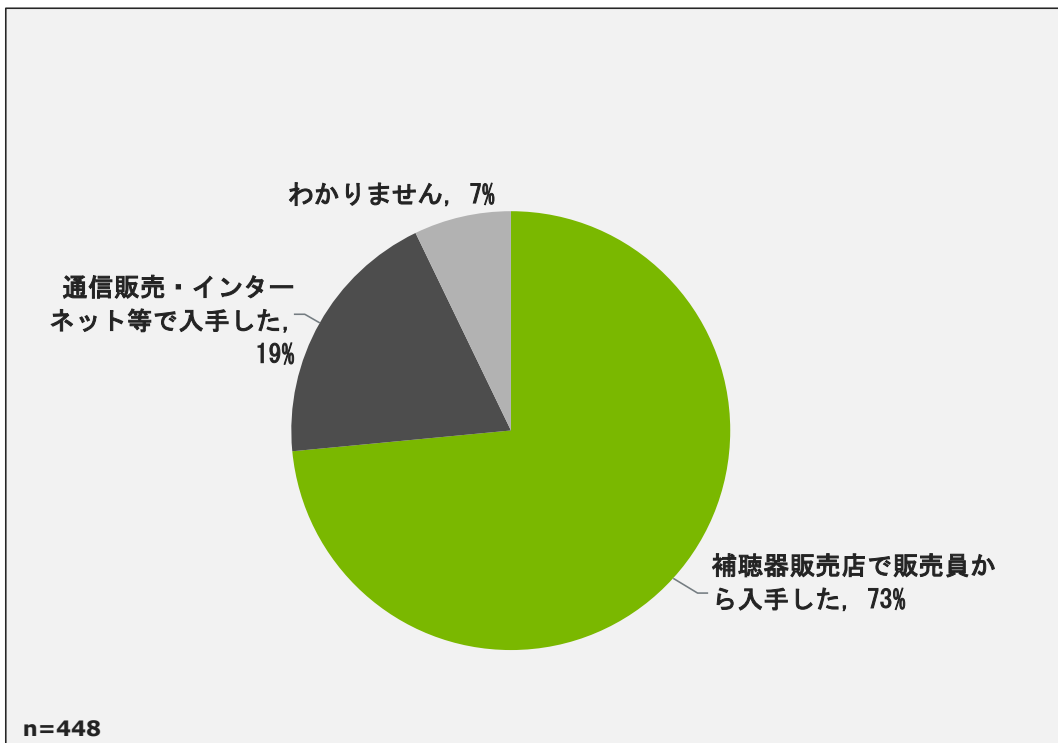




補聴器の多くは補聴器専門店で購入されており、 通信販売・インターネット等で入手したものはインターネットで購入されている

お持ちの補聴器はどのように入手されましたか？
以下の中から選んでください

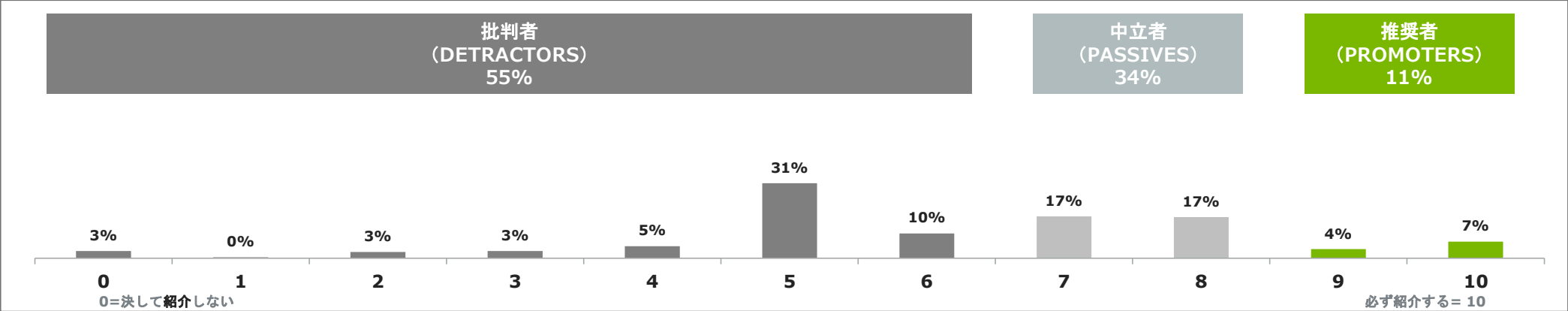
あなたのご使用中又はお持ちの補聴器はどこで購入されましたか？





購入した補聴器の販売店を友人・知人に紹介する気持ち 顧客推奨率（NPS）は -44

あなたは今回購入した補聴器販売店又は販売員を友人・知人に紹介したいですか？
10＝「必ず紹介する」、0＝「決して紹介しない」



顧客推奨率（NPS） = 推奨者（PROMOTERS） - 批判者（DETRACTORS） = -44 (2022: -65) (顧客推奨率) (概算値)



分類別顧客推奨率

あなたは今回購入した補聴器販売店又は販売員を友人・知人に紹介したいですか？

機種別

批判者 (DETRACTORS)	中立者 (PASSIVES)	推奨者 (PROMOTERS)	顧客推奨率(NPS) = 推奨者(PROMOTERS) - 批判者(DETRACTORS)
認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器 n=208: 47%	34%	19%	-29
認定補聴器技能者以外（あるいは不明）に対応してもらった補聴器 n=141: 56%	40%	4%	-52
その他（集音器・通販補聴器、不明など） n=99: 73%	20%	8%	-65

購入元別

批判者 (DETRACTORS)	中立者 (PASSIVES)	推奨者 (PROMOTERS)	顧客推奨率(NPS) = 推奨者(PROMOTERS) - 批判者(DETRACTORS)
補聴器専門店 n=240: 44%	39%	17%	-27
眼鏡店 n=86: 65%	30%	4%	-61
通信販売 n=55: 75%	24%	1%	-74

補聴器所有者 n=448



補聴器の分類

2つの質問による分類:

- あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか
- お持ちの補聴器はどのように入手されましたか？以下の中から選んでください
 - 補聴器販売店で販売員から入手した
 - 通信販売・インターネット等で入手した

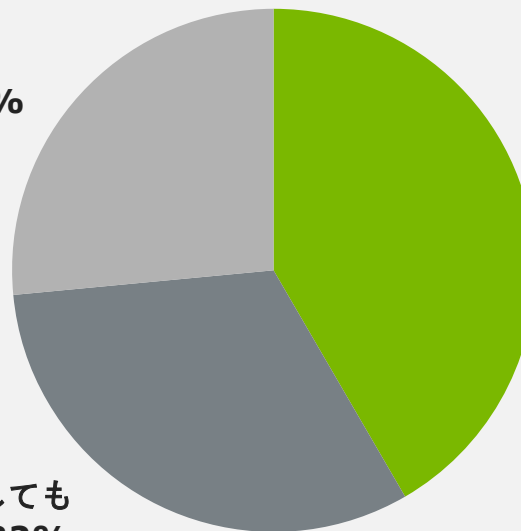
その他（集音器・通販補聴器、不明など）, 27%

2022: 23%

認定補聴器技能者以外（あるいは不明）に対応してもらった補聴器, 32%
2022: 41%

認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器, 42%

2022: 36%

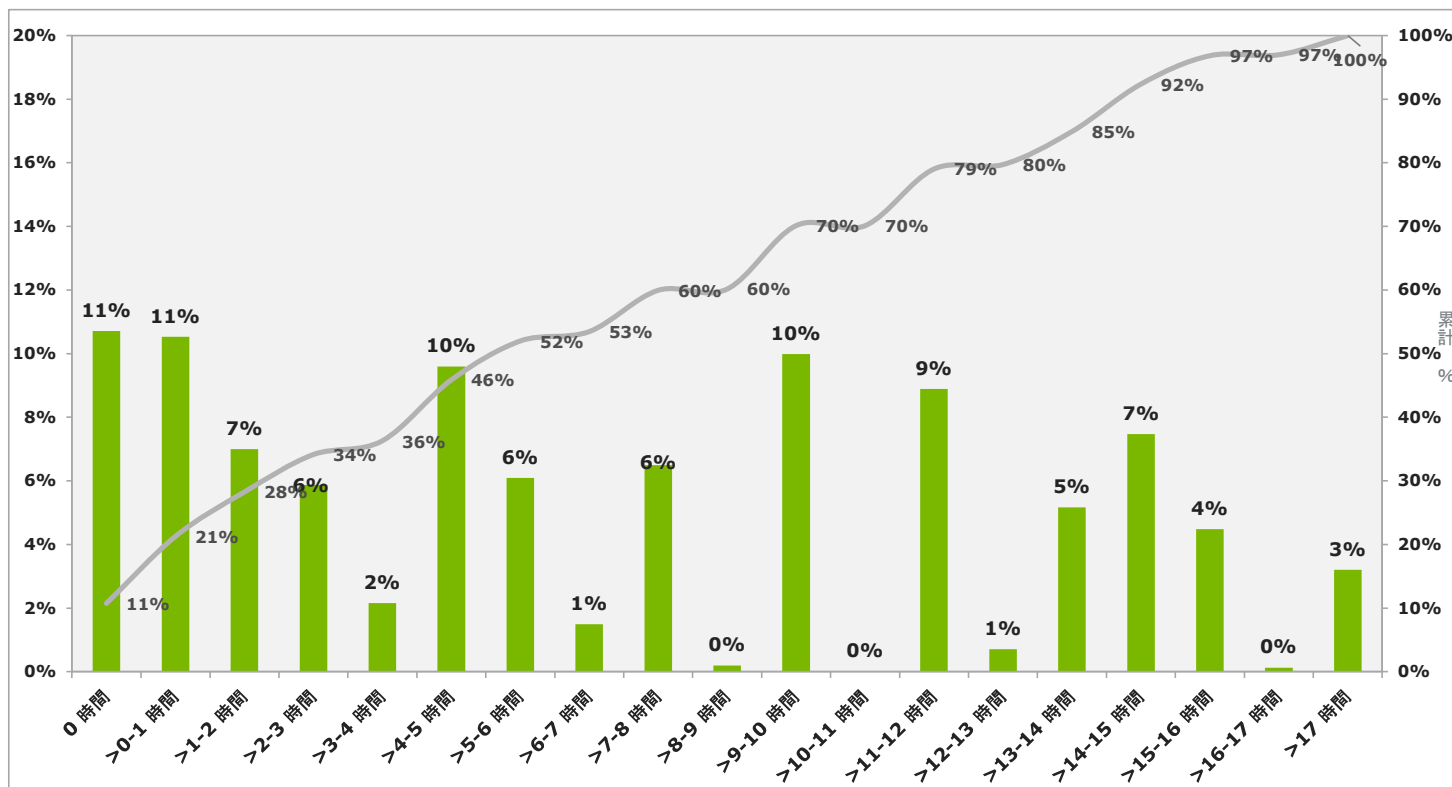




補聴器は1日平均7.3時間使用されている

あなたは1日に何時間くらい補聴器を使用していますか？

数字でお答えください。使用していない場合は「0」、1時間以内の場合は「0.5」と記入してください。



1日の平均補聴器使用時間:
2025 : 7.3 時間
2022 : 6.5 時間

タンスの肥やし (0 時間):
2025: 11%
2022: 12%



Country specific question(s) / analysis

1日の平均補聴器使用時間:
認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器: 8.3時間
認定補聴器技能者以外に対応してもらった補聴器: 8.9時間
その他(集音器・通販補聴器、不明など): 3.8時間

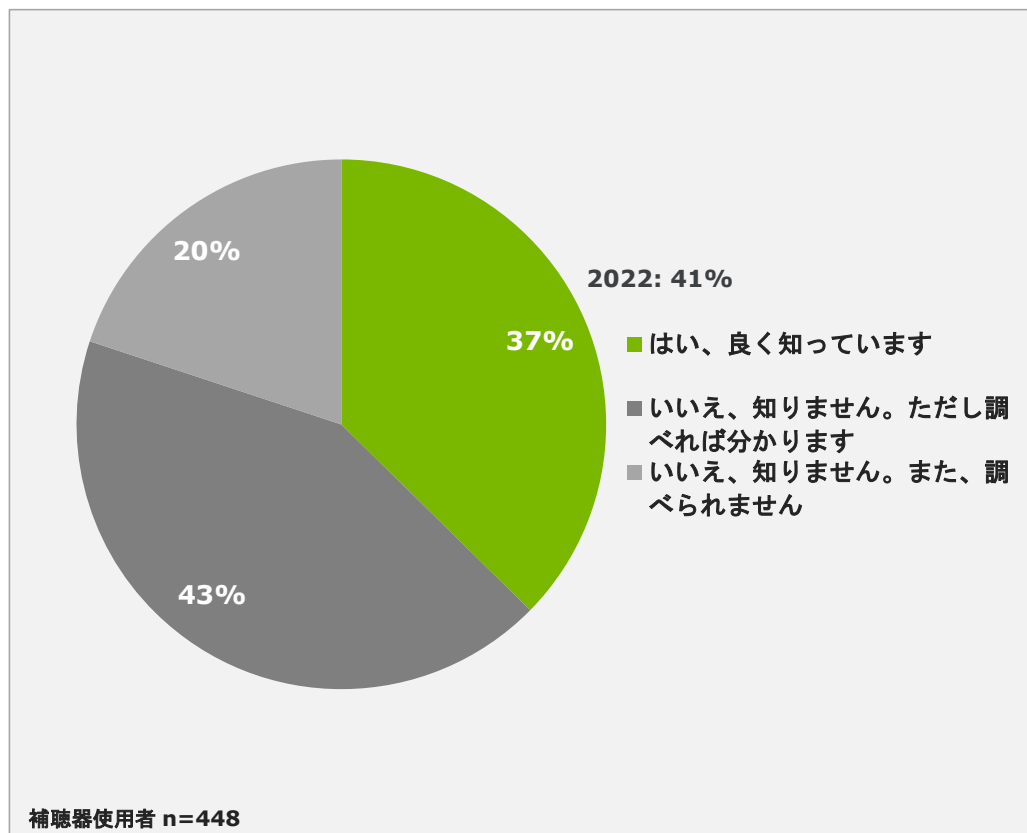
タンスの肥やし (0時間):
認定補聴器技能者に対応してもらった補聴器: 3%
認定補聴器技能者以外に対応してもらった補聴器: 3%
その他(集音器・通販補聴器、不明など): 33%

補聴器所有者 n=448



補聴器所有者の37% が現在使用している補聴器のブランドを知っている

あなたは自分の補聴器のブランド名を知っていますか？





補聴器所有者の22%は補聴器のスマートフォンアプリを使用しており、そのうち72%が満足している

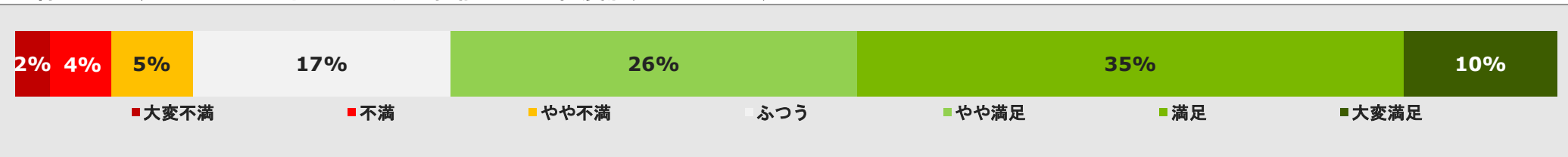
補聴器用のスマートフォンアプリについて、補聴器専門家から説明を受けたことがありますか？
（スマートフォンアプリとは、スマートフォン専用のソフトウェアのことです。）
（補聴器所有者 n=448）



補聴器のスマートフォンアプリを使用していますか。
（補聴器所有者 n=448）



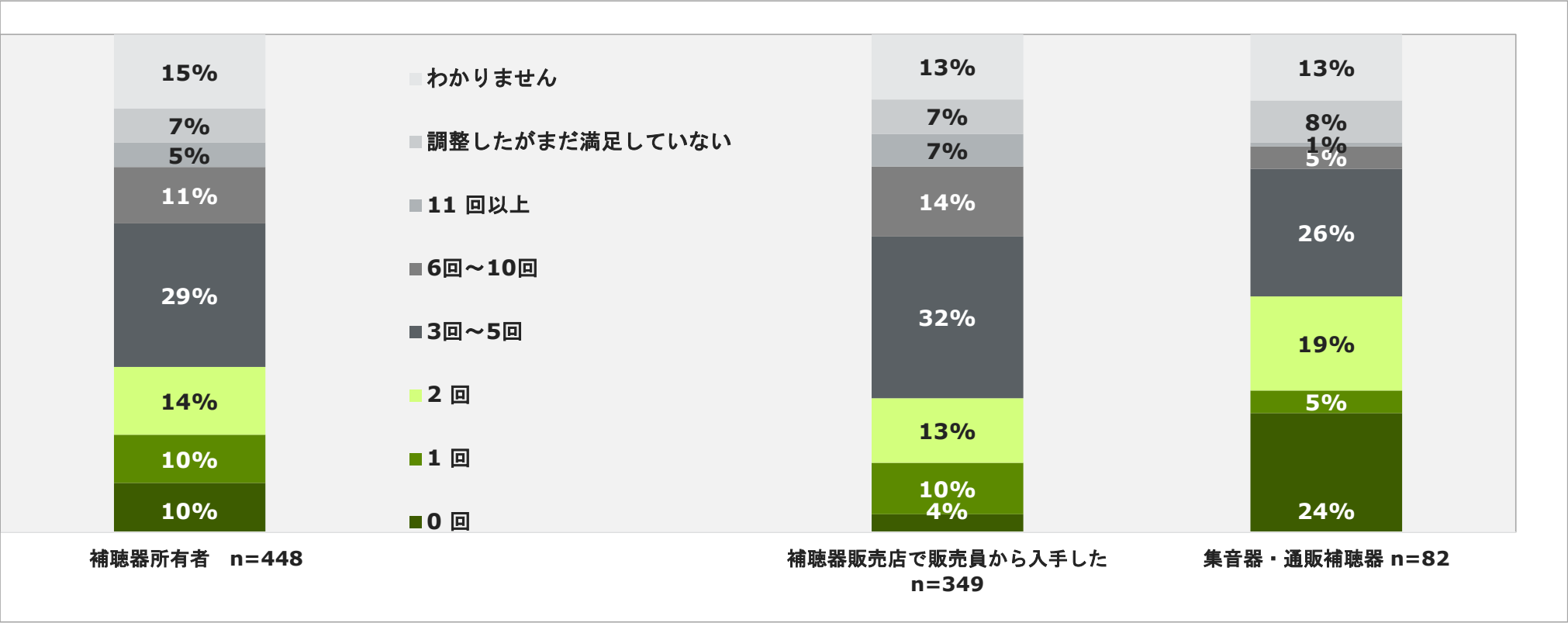
アプリ使用者（n=97）：
全体として、スマートフォンアプリの性能にどの程度満足していますか？





補聴器の調整は数回必要であった

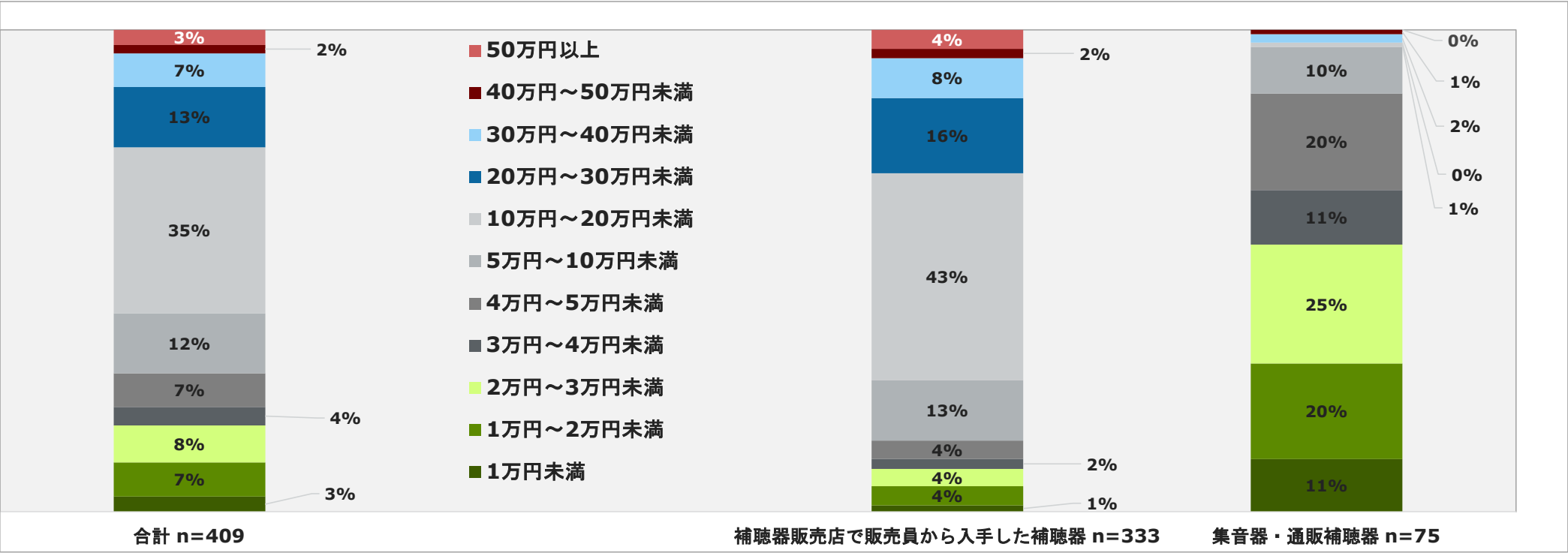
あなたが満足するまでに補聴器の調整を何回しましたか？





補聴器1台の購入価格はほとんどが10万円から30万円 集音器・通販補聴器は、それよりはるかに安価である

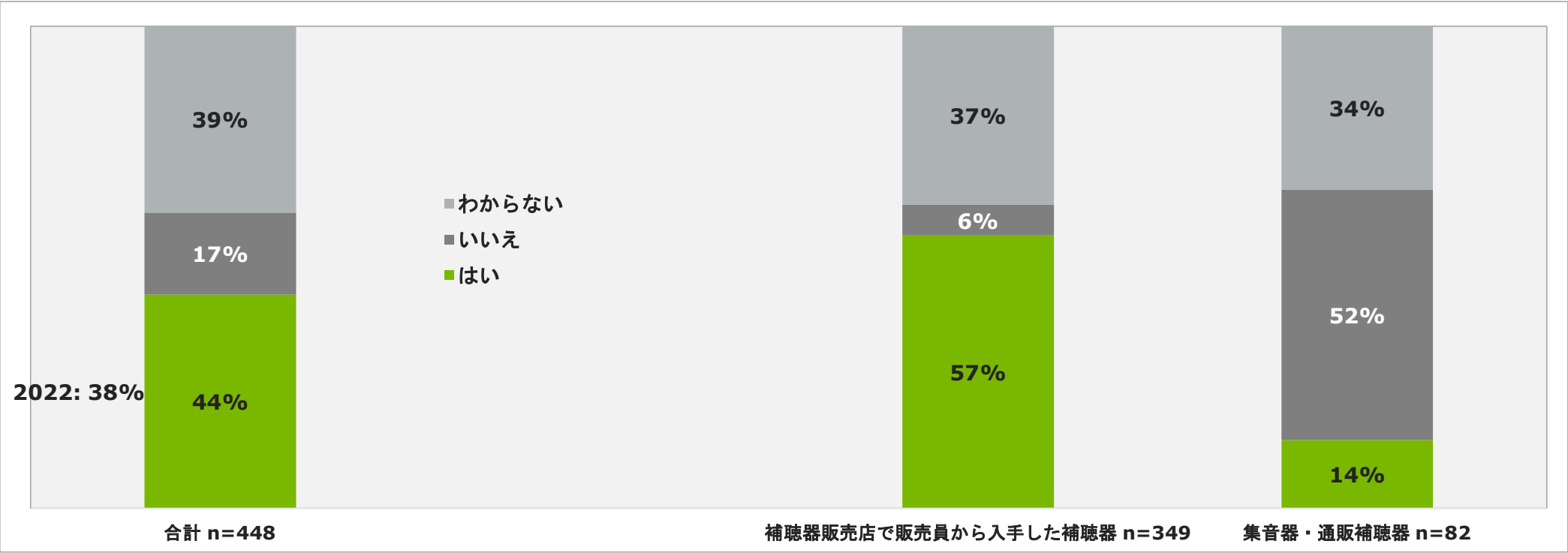
補聴器を購入したときの価格はいくらでしたか？（片耳使用の場合）





補聴器購入者の44%が「認定補聴器技能者」に補聴器の調整をしてもらったことを認識している

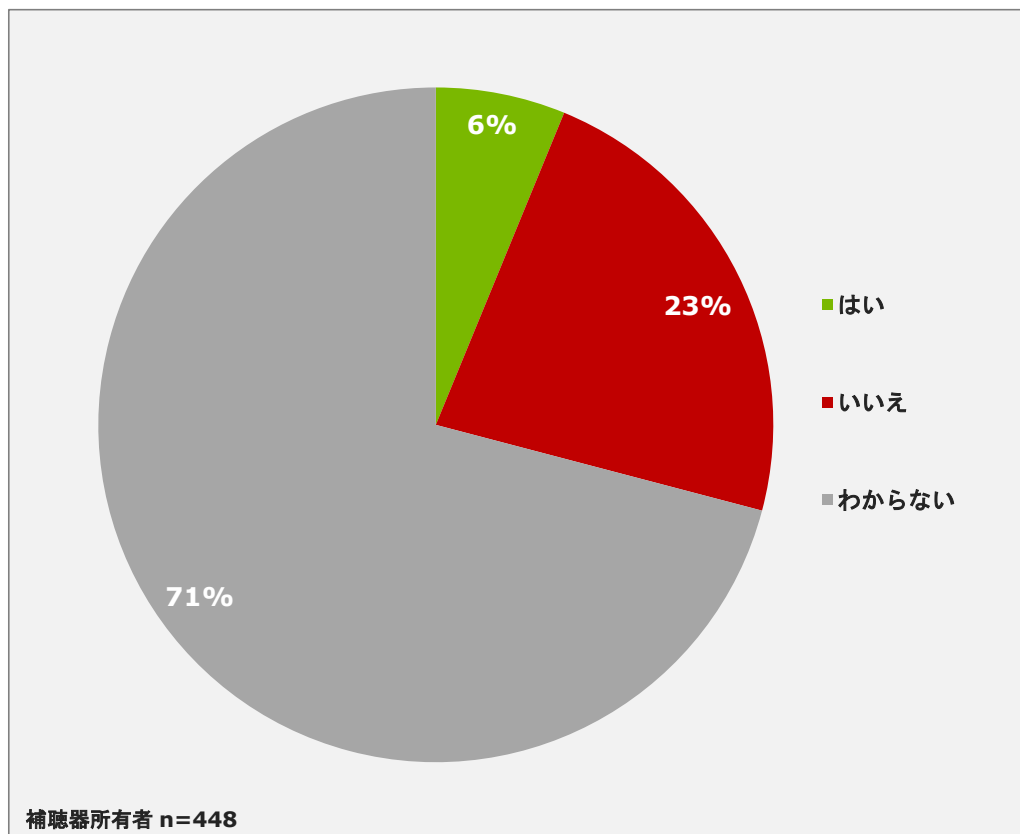
あなたが補聴器を購入した時に対応した人は「認定補聴器技能者」でしたか？





6%の人の補聴器に（所有者の知る限り） テレコイルが装備されている

あなたの補聴器にはテレコイルの機能が搭載されていますか？

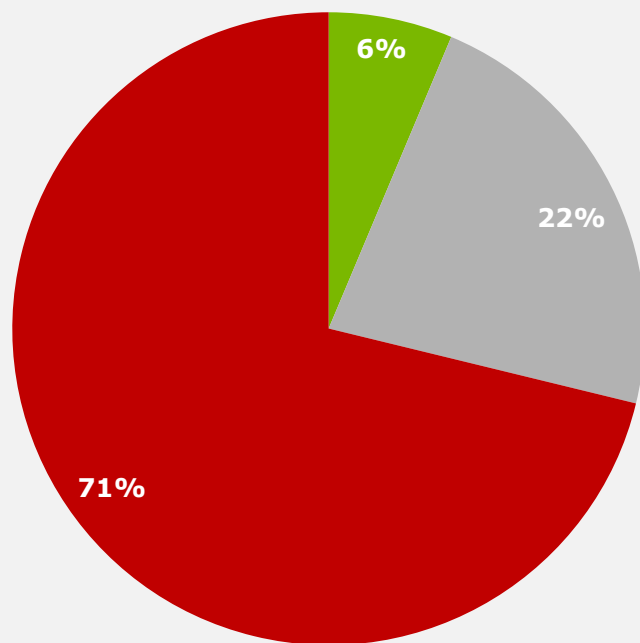




補聴器所有者の6%は遠隔調整を使用、 22%が聞いたことがあります、71%は知らない

遠隔調整について聞いたことがありますか？

(遠隔調整:補聴器の専門家が離れた場所からビデオ会話やアプリを通じて補聴器の微調整をおこなうこと。
これにより補聴器ユーザーは調整のためにお店いかななくてもよくなります)



- はい、聞いたことがあります、実際に使ったことがあります
- はい、聞いたことがありますが、使ったことはありません
- いいえ、聞いたことがありません

補聴器所有者 n=448





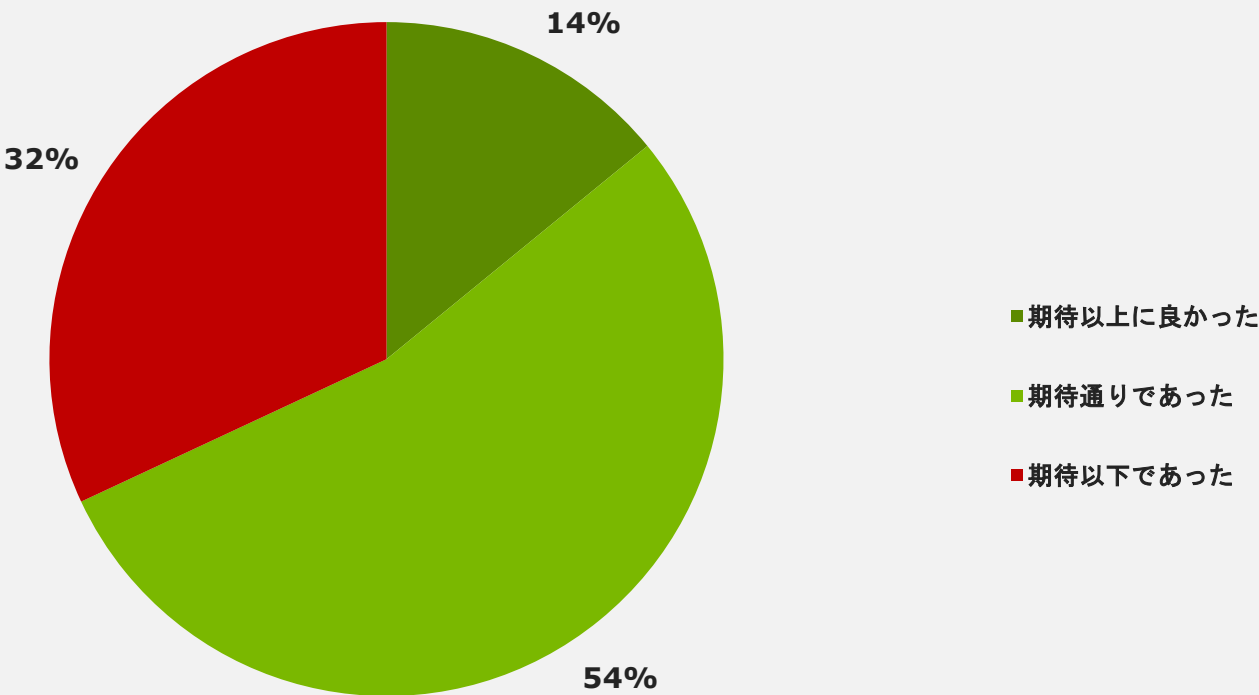
補聴器の満足度とその影響因子、および聴取環境の重要性





補聴器所有者の68%が、補聴器が期待していた通り、あるいは期待していた以上に良く動作しているとの印象を持っている

補聴器に対する期待は、補聴器の使用前と使用後ではいかがでしたか？

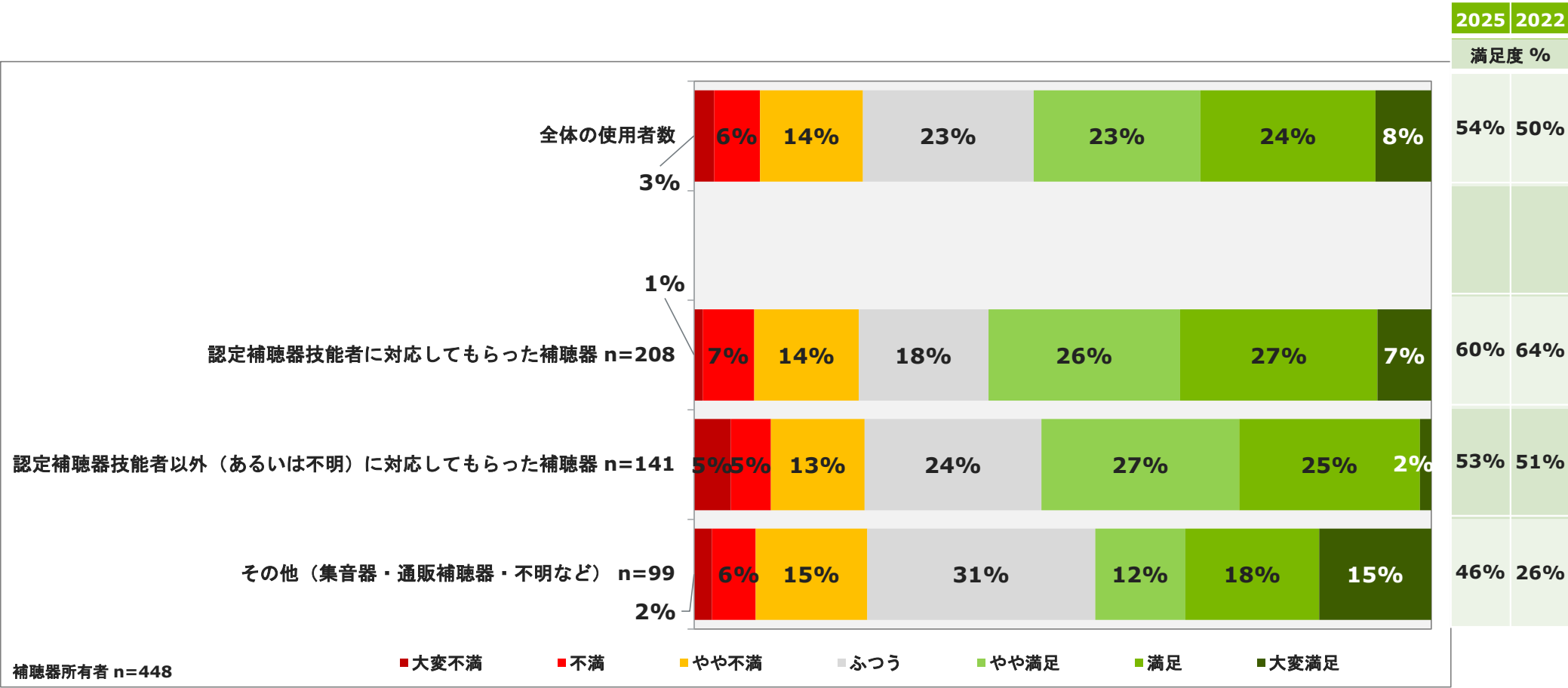


補聴器所有者 n=448



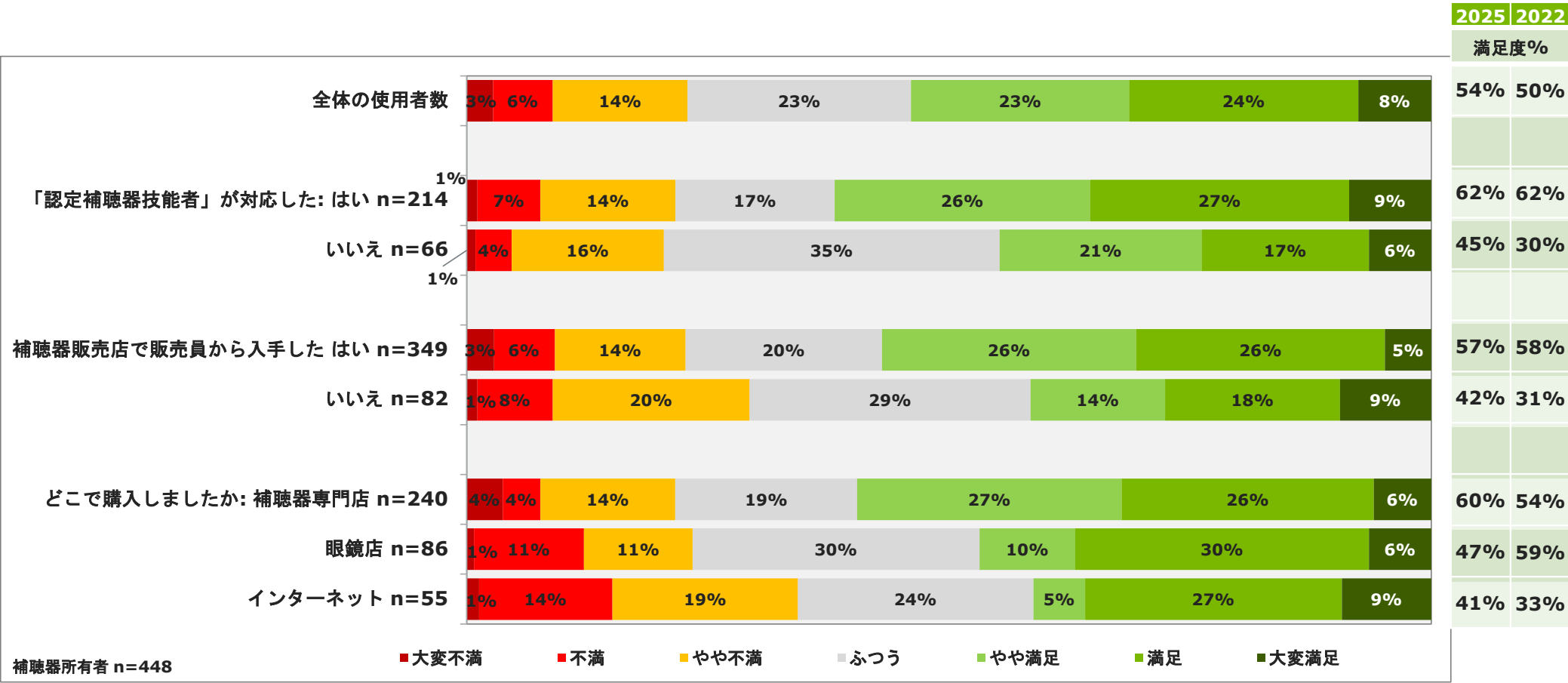


補聴器の全体的な満足度は54%



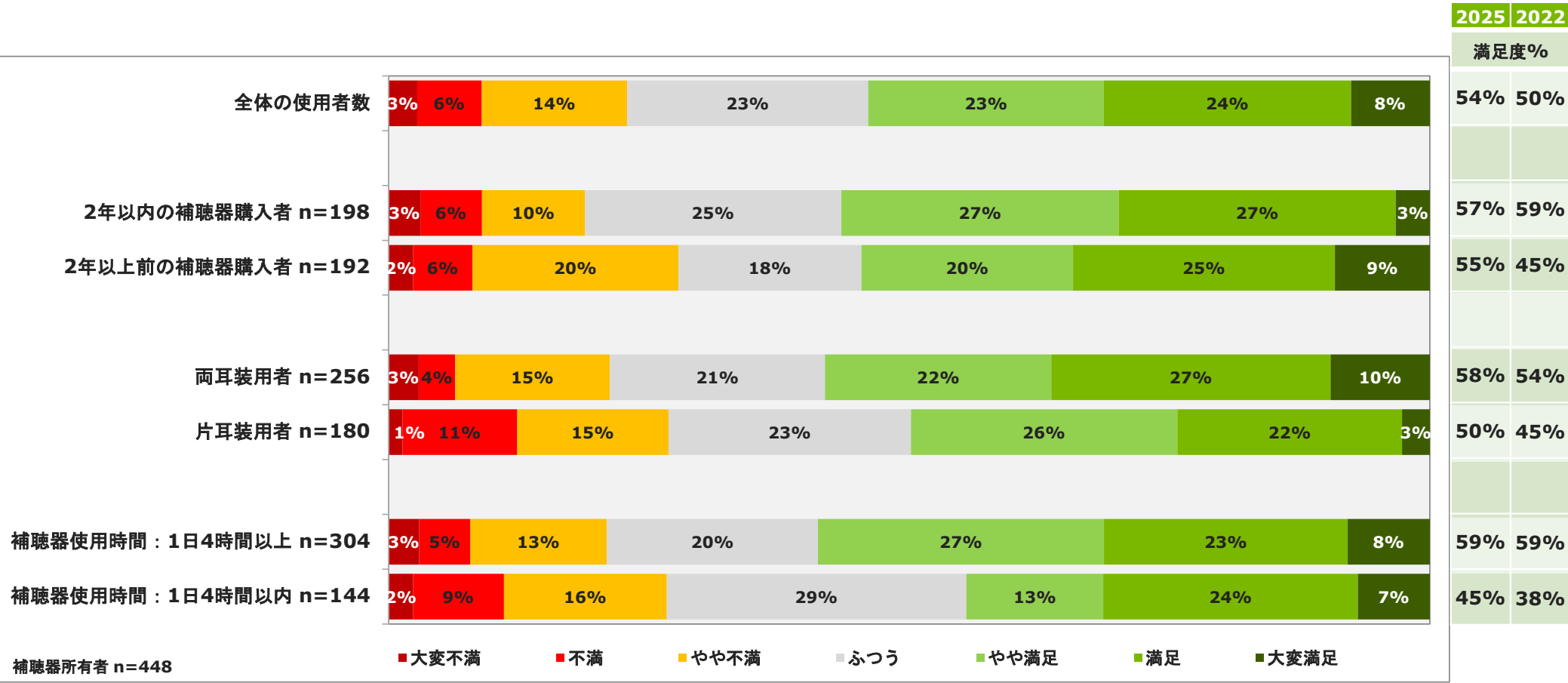


補聴器の全体的な満足度は54%





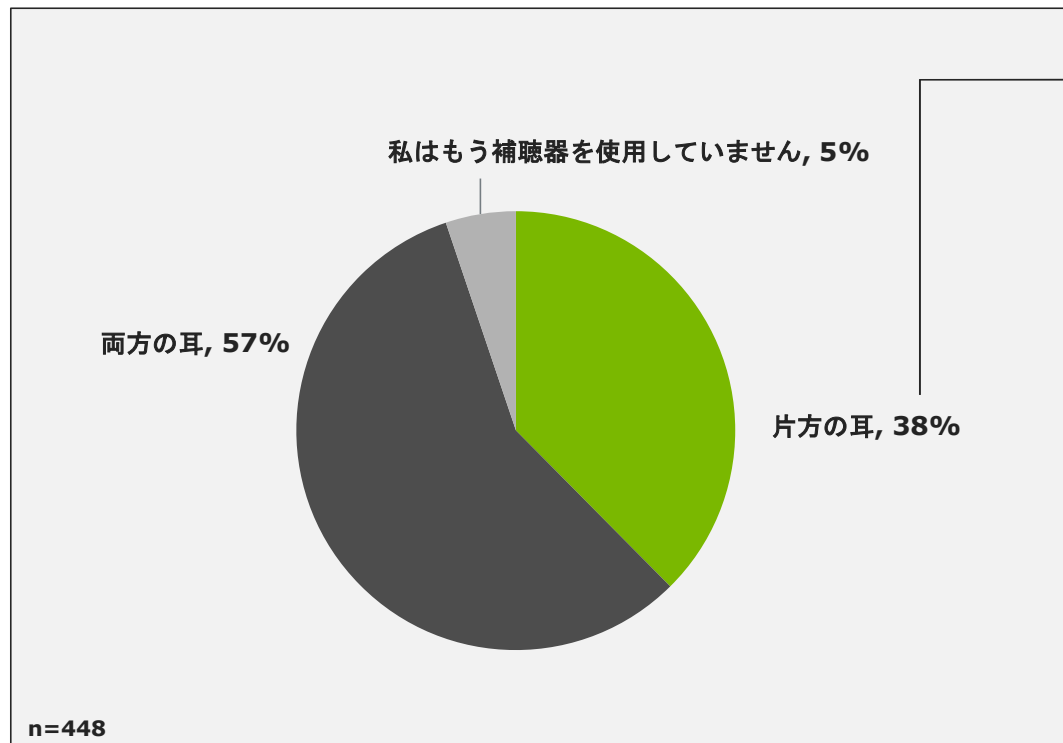
補聴器の全体的な満足度は54%



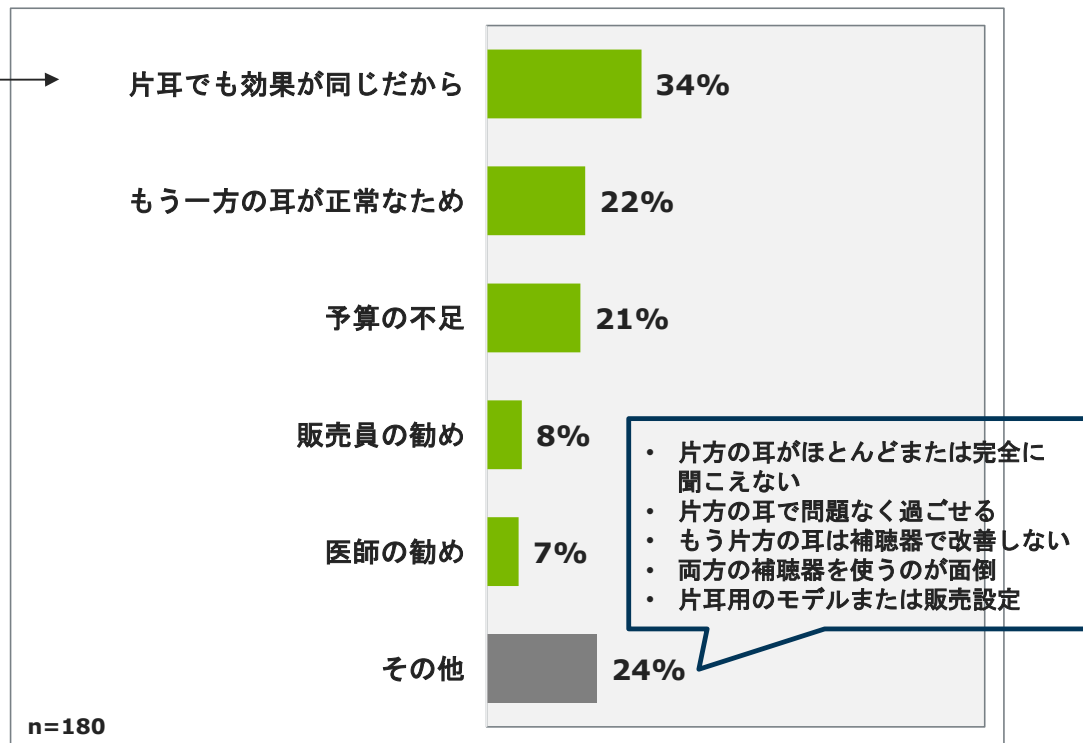


補聴器を片耳だけ装用している人の多くは、 両耳に補聴器を装用しても効果は同じだと思っている

あなたは補聴器を片耳だけに装用していますか？
両方の耳に装用していますか？



片方の耳にのみ補聴器を装用している理由をお答えください



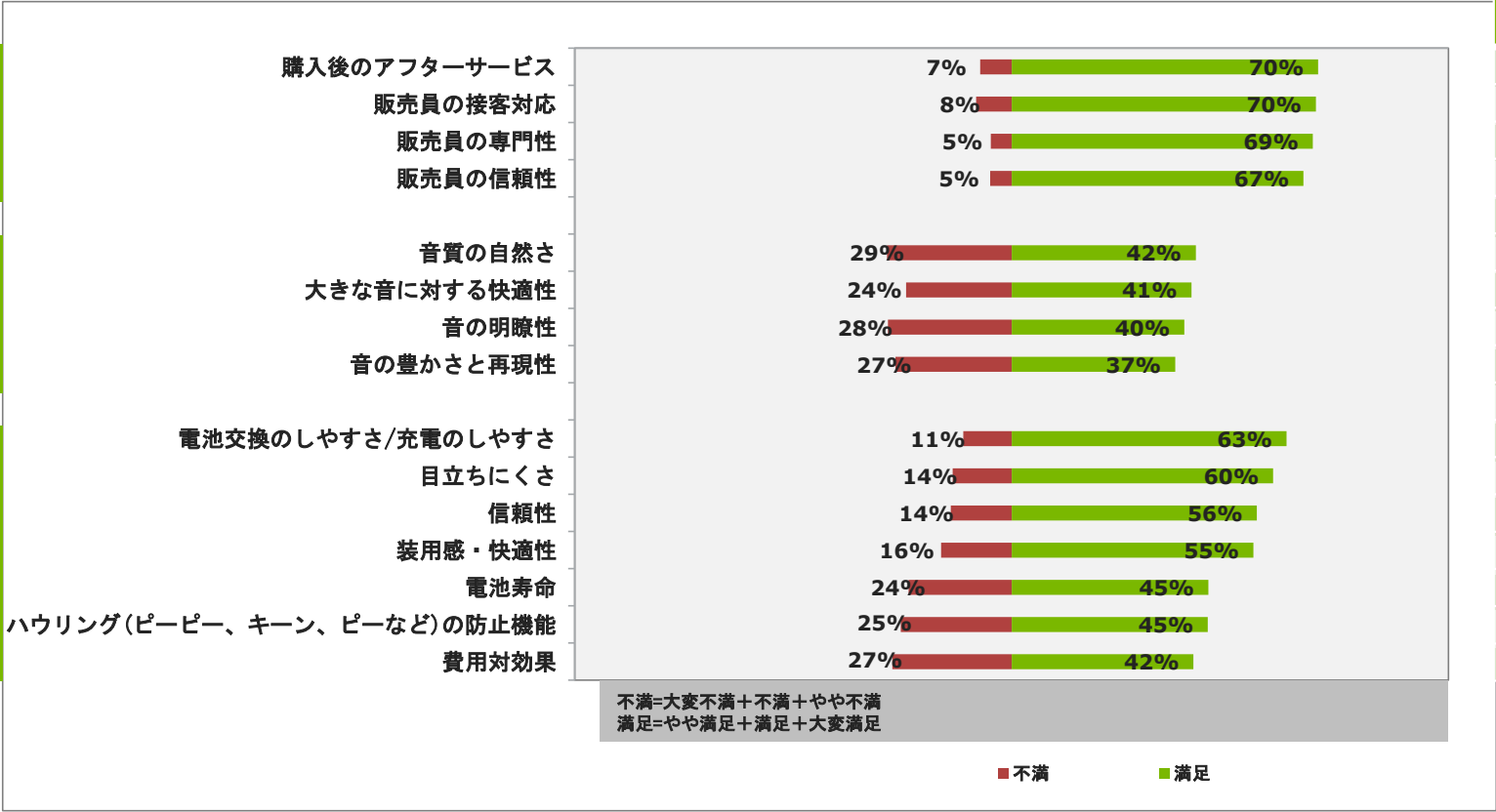


現在所有している補聴器の満足度

補聴器販売従事者

音質
信号処理

製品の特徴



JapanTrak 2022と比較した満足度増減率
+7%
+3%
+2%
+2%
-4%
+1%
-6%
-5%
+5%
+7%
+3%
+9%
+6%
+1%
+7%

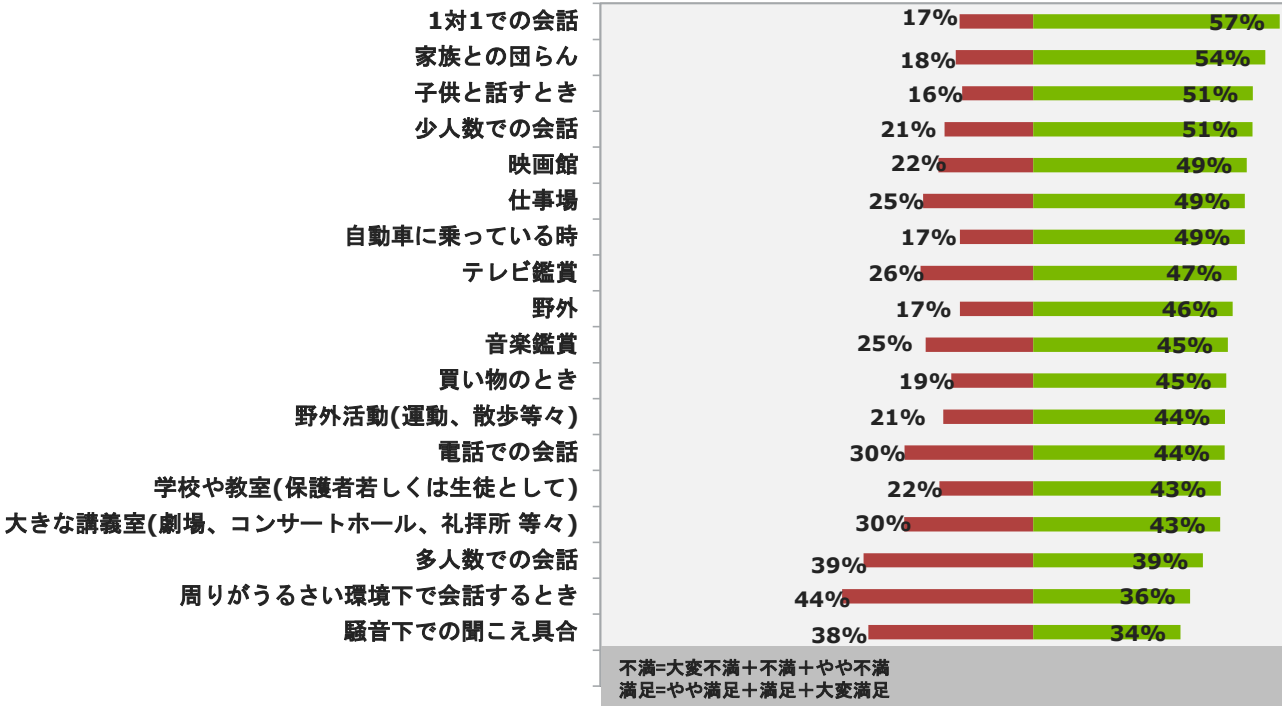
補聴器所有者 n=448





現在所有している補聴器の満足度

聞き取りの状況



不満=大変不満+不満+やや不満
満足=やや満足+満足+大変満足

■ 不満 ■ 満足

JapanTrak 2022と比較した満足度増減率	
1対1での会話	+5%
家族との団らん	+5%
子供と話するとき	+4%
少人数での会話	+5%
映画館	+7%
仕事場	+11%
自動車に乗っている時	+7%
テレビ鑑賞	+1%
野外	+7%
音楽鑑賞	+5%
買い物のとき	+3%
野外活動(運動、散歩等々)	+6%
電話での会話	+2%
学校や教室(保護者若しくは生徒として)	+2%
大きな講義室(劇場、コンサートホール、礼拝所等々)	+7%
多人数での会話	-2%
周りがうるさい環境下で会話するとき	+5%
騒音下での聞こえ具合	-4%

補聴器所有者 n=448





現在所有されている補聴器の満足度に最も影響を与える因子は信頼性と音質信号処理である



補聴器所有者 n=448

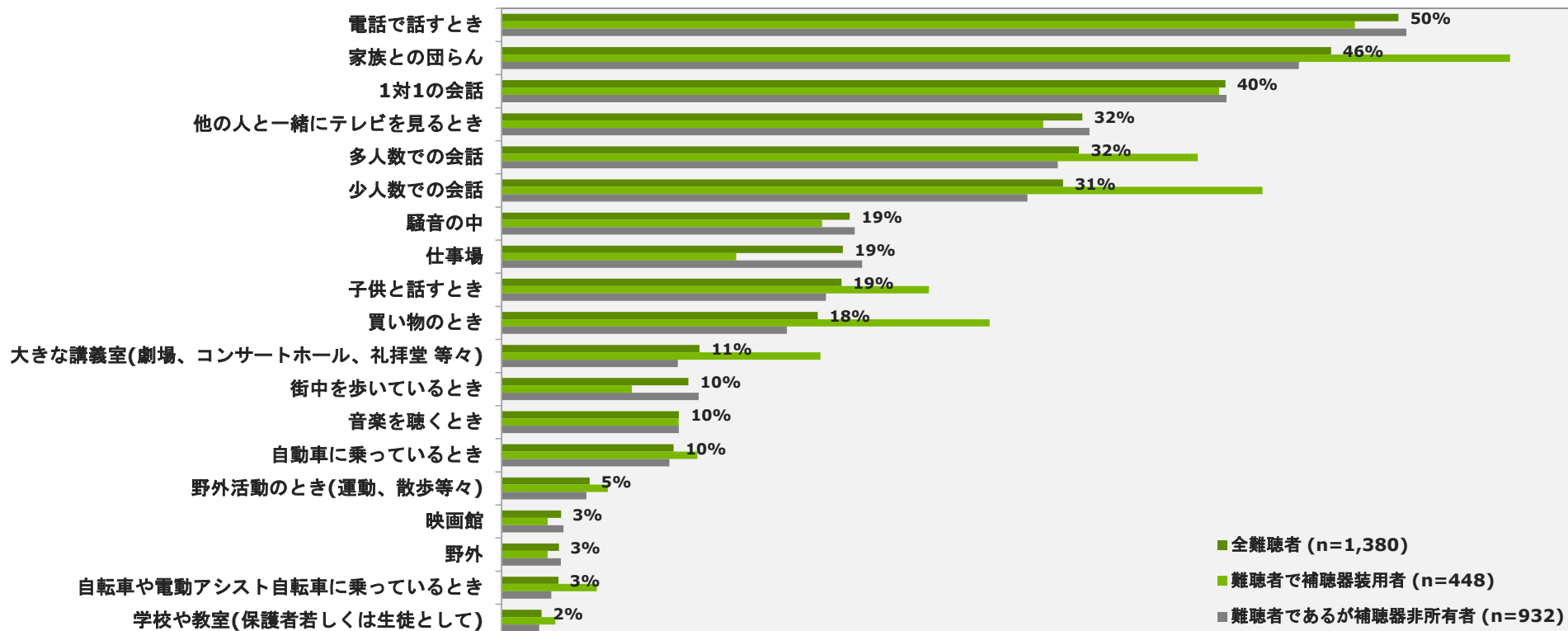
* 各因子の全体的満足度に対する影響度を相関係数で示している。
0はその項目が全体的満足度に全く影響を与えていないことを示し、反対に1は全体的満足度に完全に影響を与えていることを示している。





最も聞こえが重要となる状況は電話で話すときと家族との団らんである

あなたが最も「聞こえ」を必要とする環境を以下の中から5つ選択してください





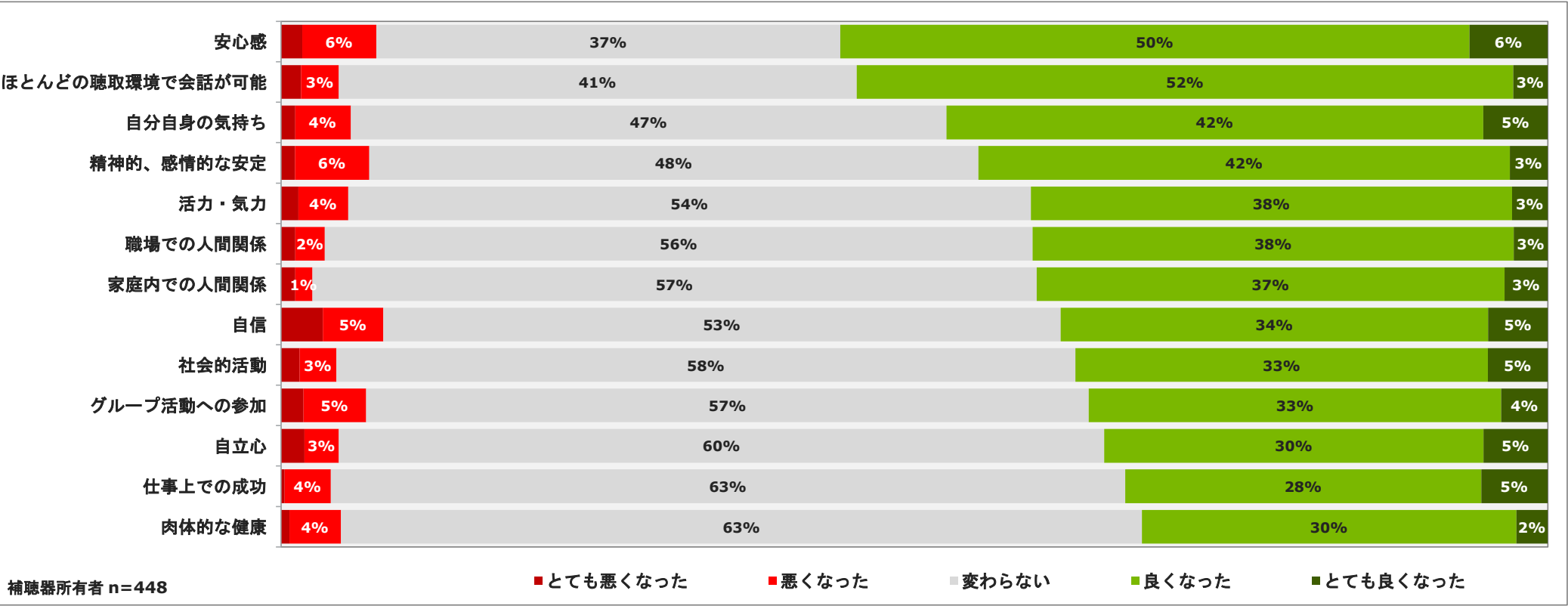
補聴器から得られる良い影響、安心・安全、生活の質（QOL）の向上





補聴器はさまざまな側面に対し大変良い影響を与えている
特に「安心感」「ほとんどの聴取環境で会話が可能」「自分自身への気持ち」などに改善が見られる

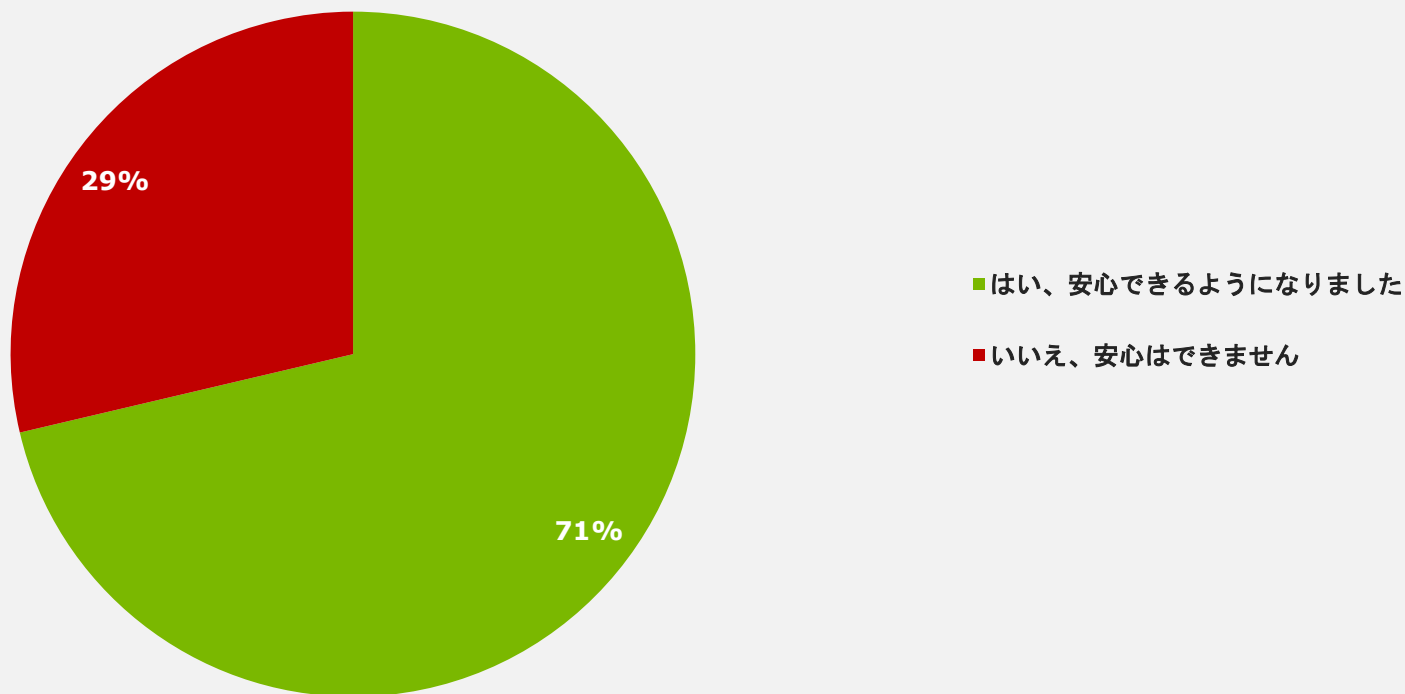
あなたは補聴器の使用後に以下の項目でどのような変化があったか該当するものをお選びください。





補聴器使用者の71%が、補聴器を使うようになってから街中を安心して歩けるようになった

補聴器を使用したことによって、自動車の近づく音、横断歩道を渡るときの信号音が良く聞こえるようになったなど、街中を安心して歩けるようになりましたか？



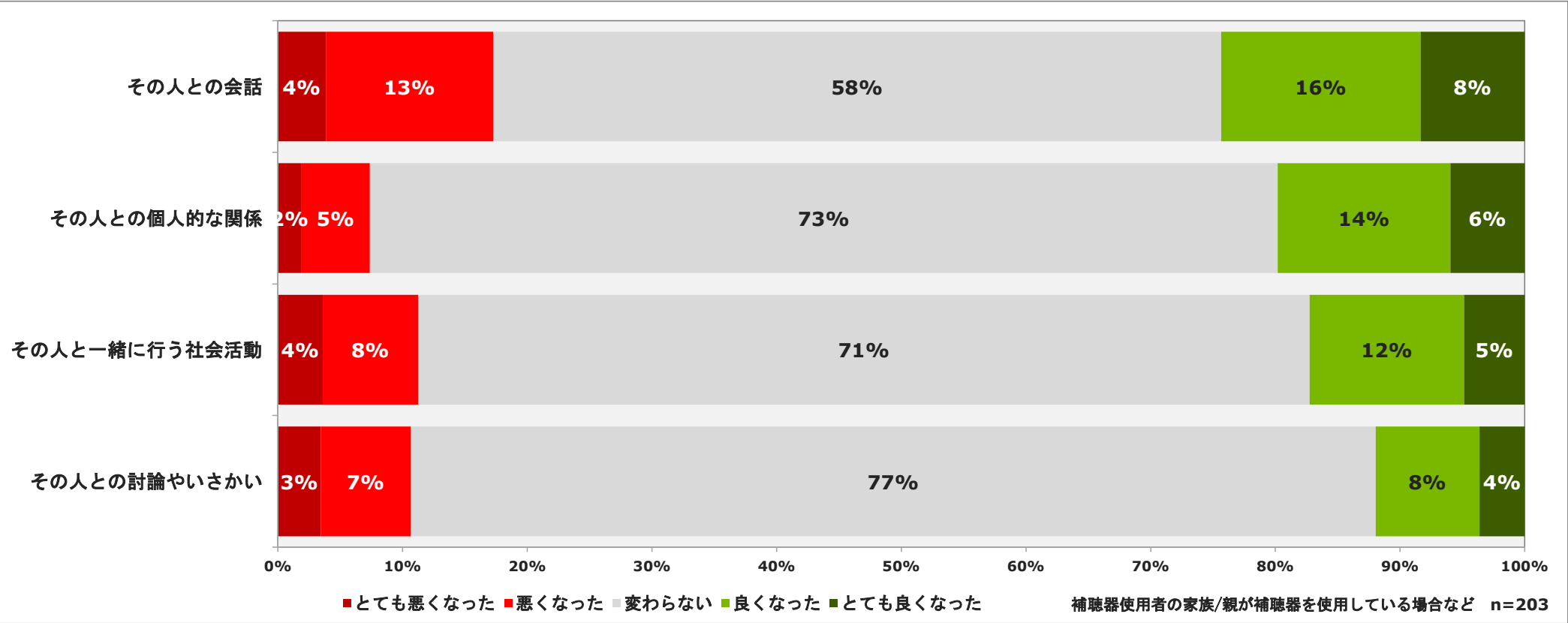
補聴器所有者 n=448





難聴の人が補聴器を使い始めたことで、家族や親類も助かっている

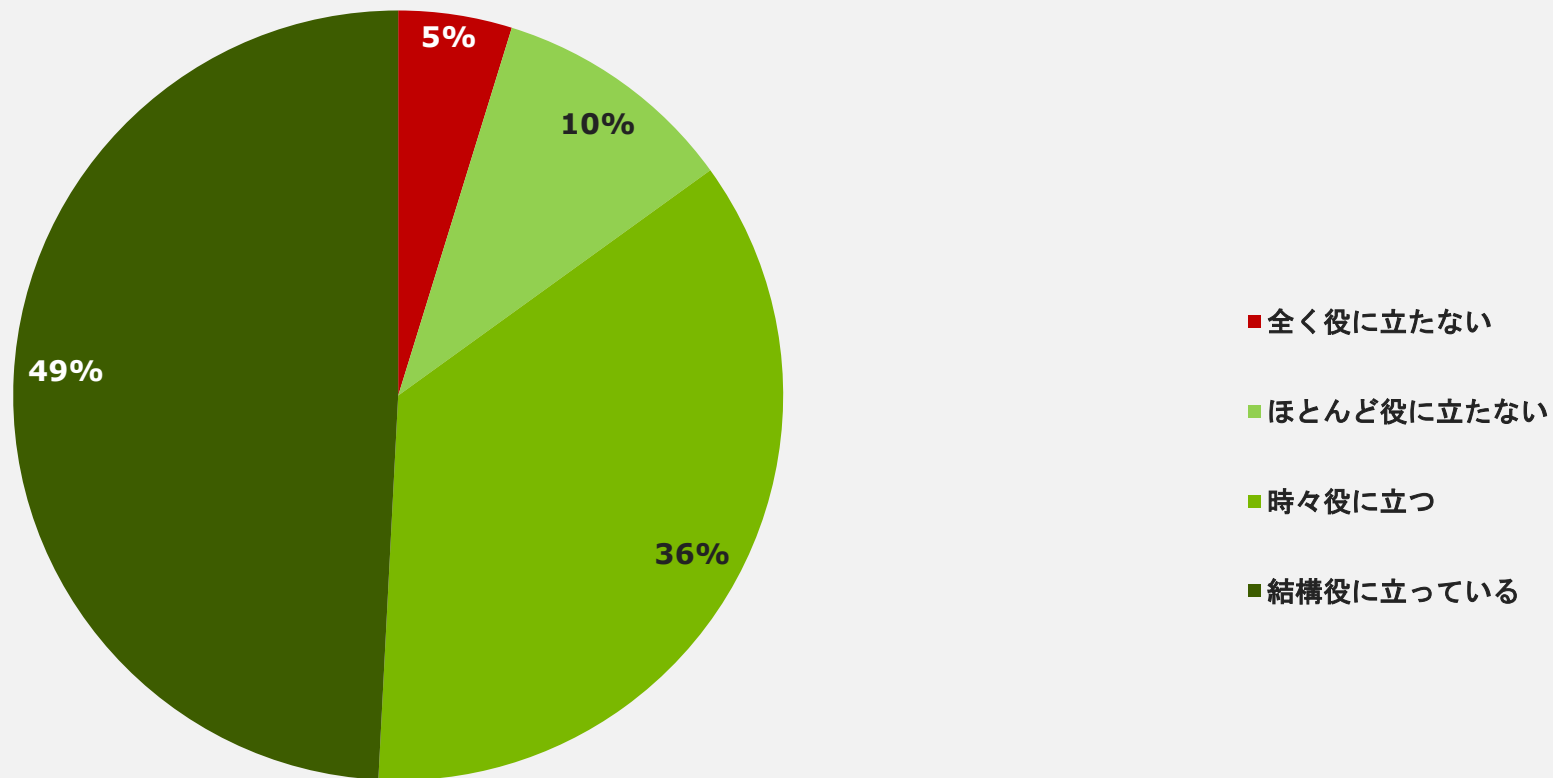
あなたの知っている方の補聴器の効果はそれぞれ以下の状況に対していかがでしょうか？





補聴器所有者の95%が補聴器の使用により生活の質(QOL)が何がしか改善したと答えている

補聴器はあなたの生活にどのくらい役立っていますか？



補聴器所有者 n=448



4.補聴器非所有難聴者に関する分析





難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者グループと補聴器所有者グループの個々の難聴の程度がほぼ同じなので、上位50%のグループから補聴器を使用しない理由を分析した

難聴の程度の特徴：補聴器所有者と補聴器非所有者の比較

	補聴器所有者 n=448	補聴器非所有者 難聴度の低い下位50%の難聴者 n=349	補聴器非所有者 難聴度の高い上位50%の難聴者 n=254
聴覚障害			
片耳難聴	24%	42%	25%
両耳難聴	76%	58%	75%
難聴程度		それぞれの難聴の程度が近似している	
軽度	31%	66%	34%
中等度	55%	33%	57%
高度	11%	1%	5%
重度	3%	0%	4%



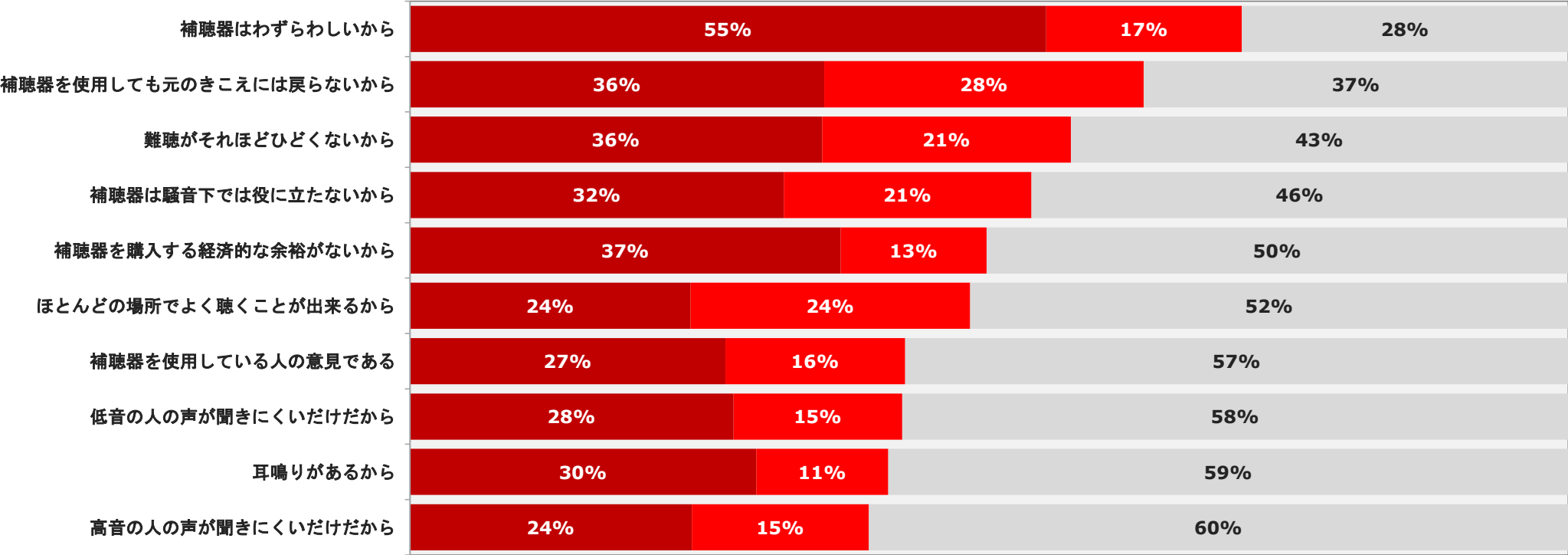


補聴器を使わない理由





補聴器を所有しない理由のトップ10

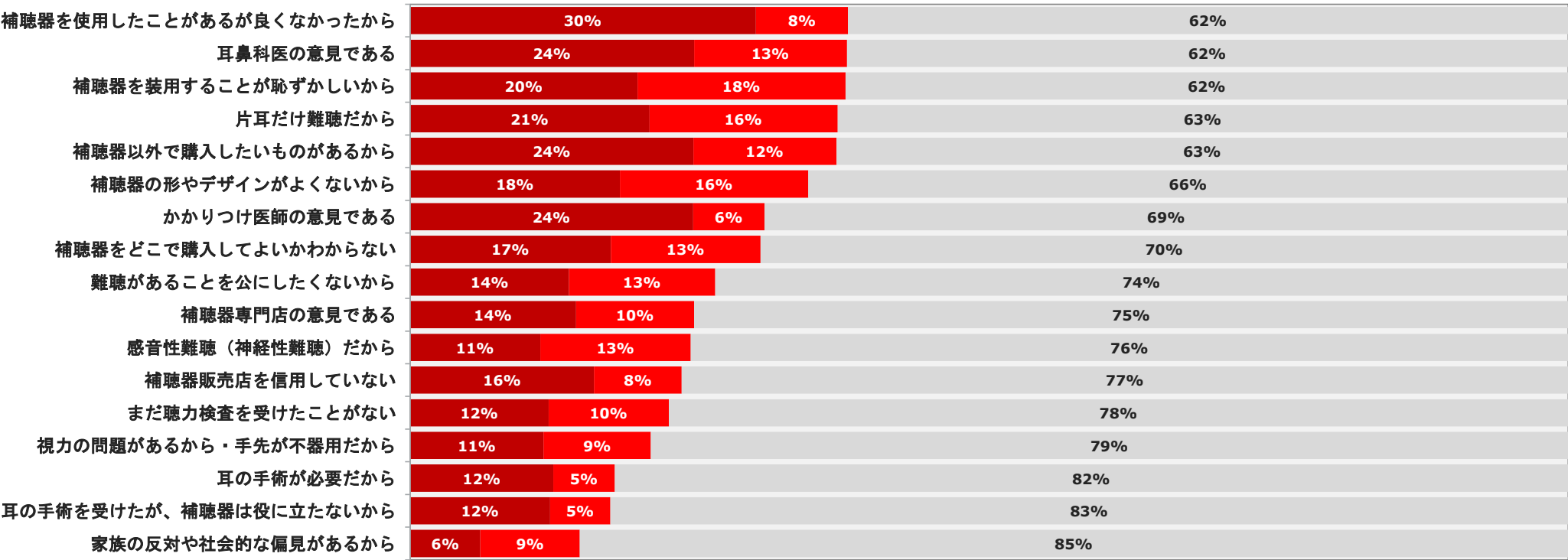


難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者 n=254

■ 理由である ■ それほどの理由ではない ■ 理由ではない



補聴器を所有しないトップ10以外の理由



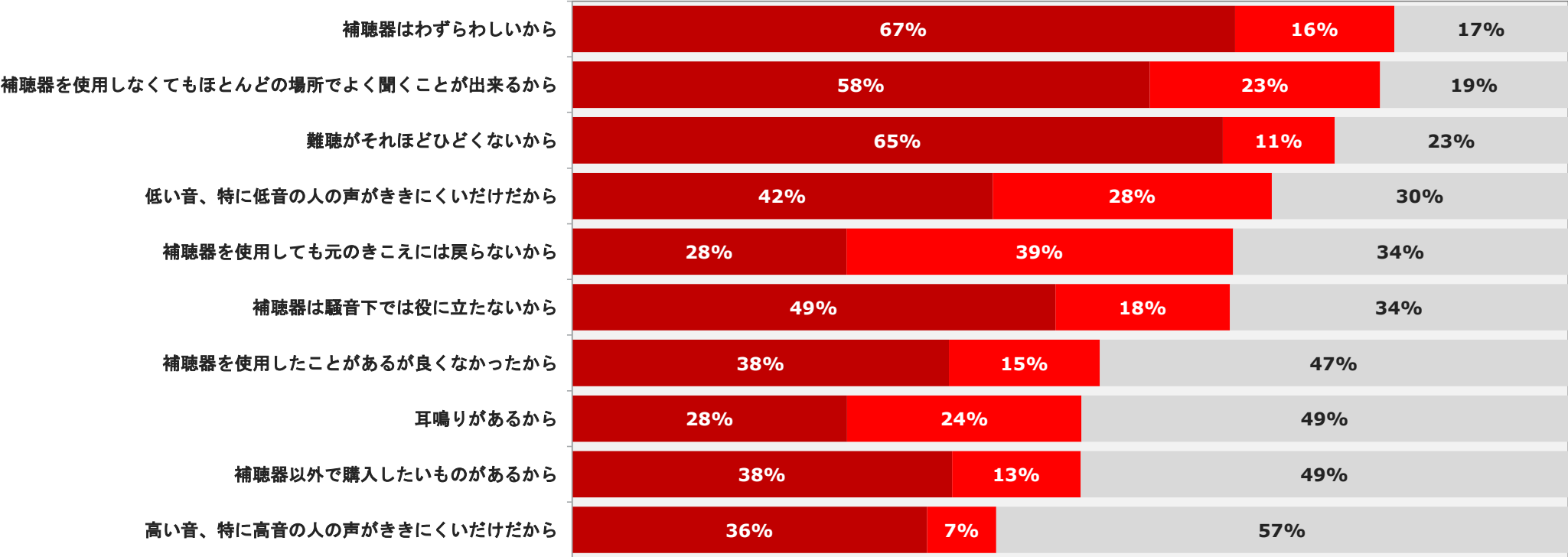
難聴度の高い上位50%の補聴器非所有者 n=254

■理由である ■それほど理由ではない ■理由ではない





補聴器を所有していても使わない理由のトップ10



補聴器を所有しているが使用していないn=40

■理由である ■それほど理由ではない ■理由ではない



難聴が原因の社会的拒絶と、補聴器の受容との比較

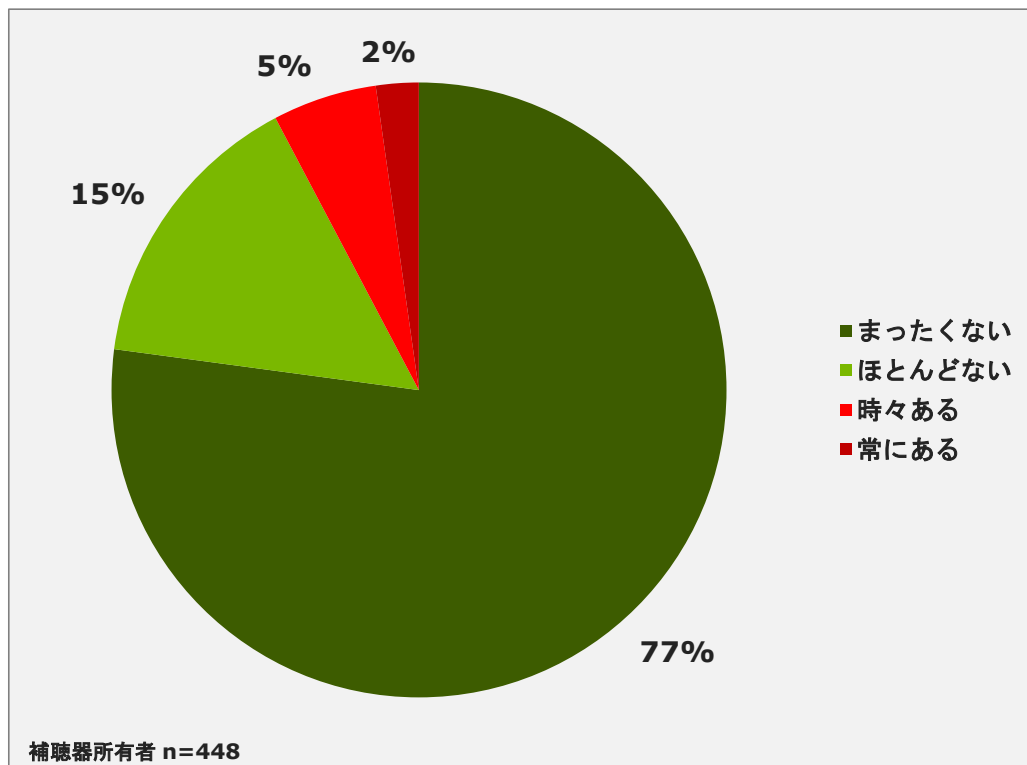




補聴器所有者の77%は補聴器を使用していることをからかわれたり、仲間はずれにされたことが無いと考えている。補聴器非所有者の方が難聴であることをからかわれたり、仲間はずれにされたと考える人が多い。

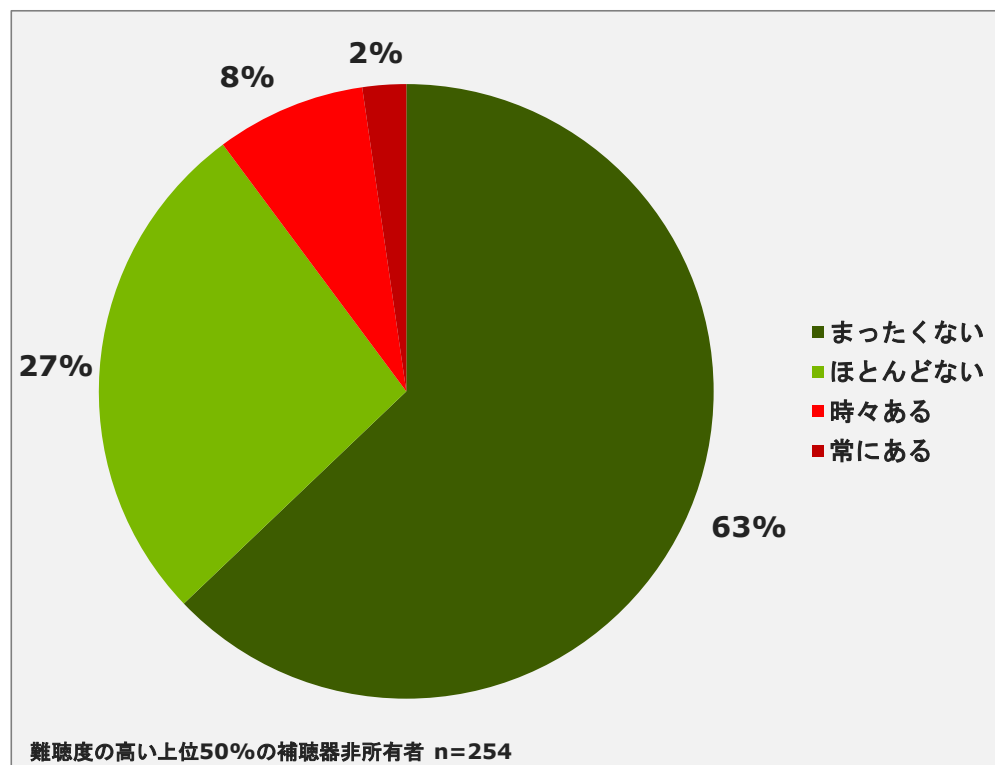
補聴器所有者:

あなたは補聴器を使用していることをからかわれたり仲間に入ることを拒否されたことがありますか？



補聴器非所有者:

あなたは難聴であることを理由にからかわれたり仲間に入ることを拒否されたことがありますか？





補聴器購入の意向と購入に至るきっかけ

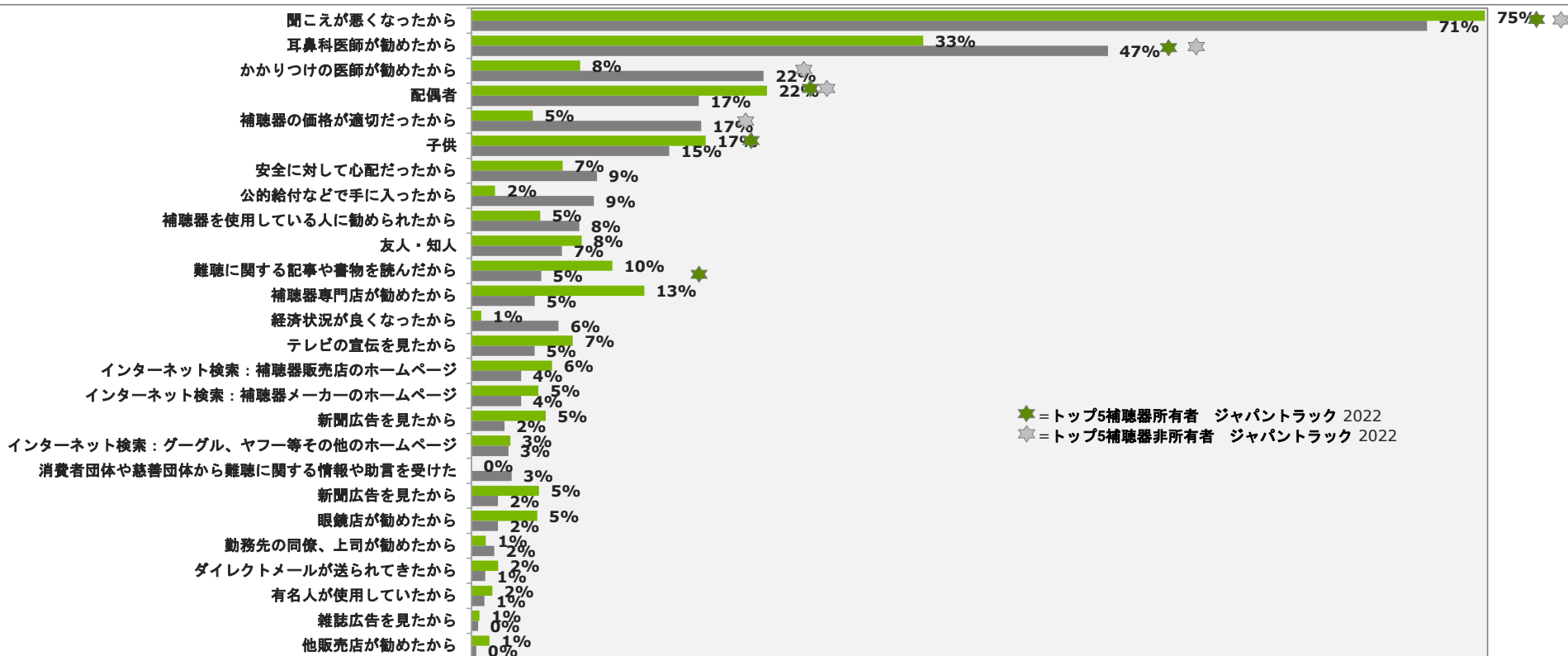




補聴器所有者・非所有者が補聴器の使用を考え始める強い動機は、聞こえが悪くなる、耳鼻科医師の薦め、配偶者からの薦め等（補聴器非所有者にとってはプラスかかりつけ医師と価格）

補聴器所有者：あなたが初めて補聴器を購入した時のことを思い出してください。購入の動機は何でしたか？

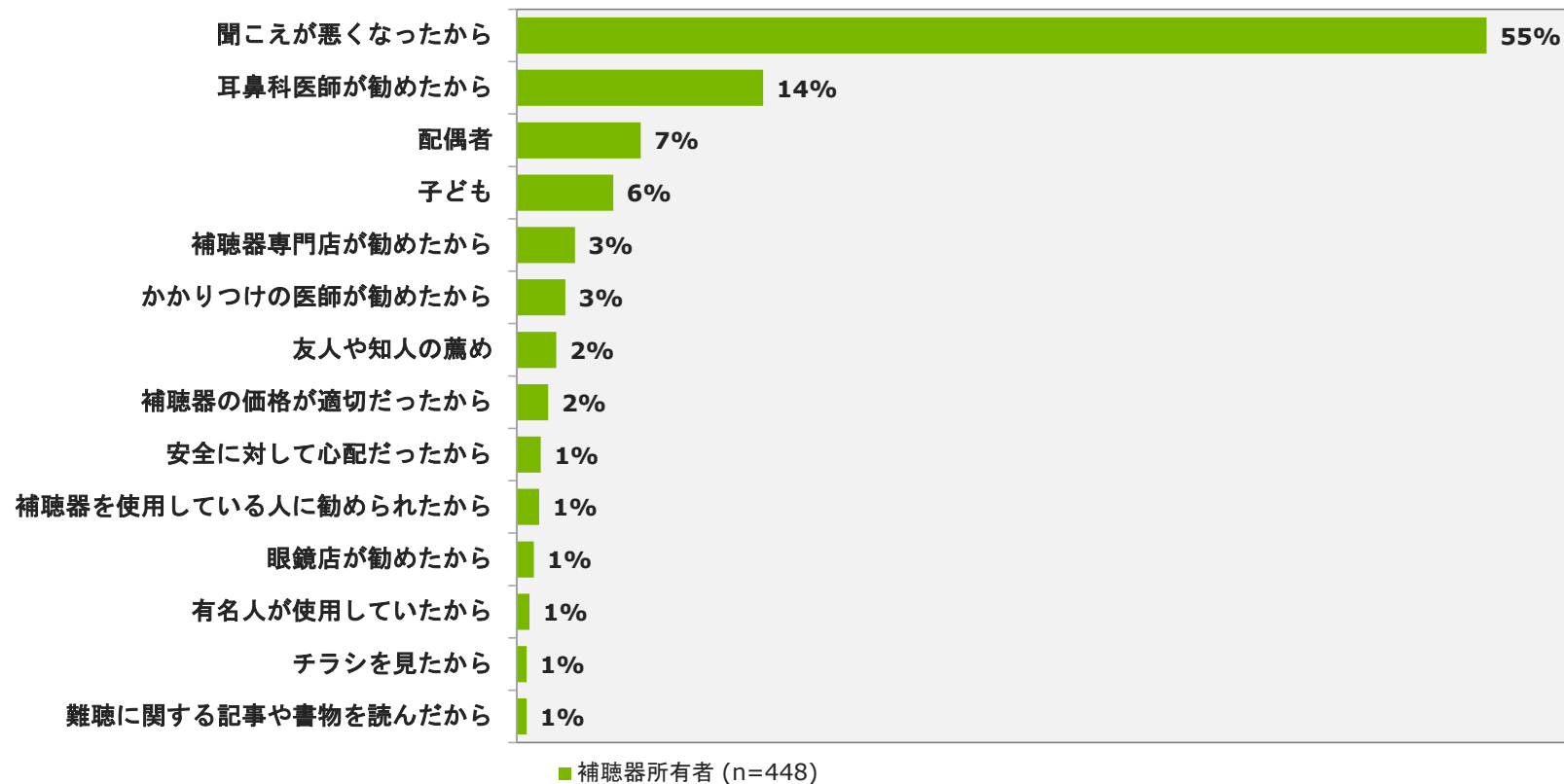
補聴器非所有者：補聴器を購入することを想像してください。その時の購入動機は何でしょうか？





補聴器を購入する最も強い動機は、聞こえがより悪くなること、耳鼻科医師の薦め

補聴器購入を最終的に決断した動機は何ですか？





提供者



Stefan Ruf lic. rer. pol.

Anovum GmbH
Chalenstrasse 8a
CH-8123 Ebmatingen

Telefon +41 (0)44 576 76 77
Mobil +41 (0)78 717 88 01
Email stefan.ruf@anovum.com

www.anovum.com



Dr. Stefan Zimmer ▪ Secretary General
European Hearing Instrument Manufacturers Association
Herriotstrasse 1 ▪ 60528 Frankfurt am Main ▪ Germany
sz@ehima.com ▪ +49-69-664 26 34 10 ▪ www.ehima.com



Peter Heil

Anovum GmbH
Chalenstrasse 8a
CH-8123 Ebmatingen

Telefon +41 (0)44 576 76 76
Mobil +41 (0)79 757 57 46
Email peter.heil@anovum.com

www.anovum.com





付属データ





人口動態 (1): 補聴器使用率と人口

総数			聴取困難	補聴器所有者 % (基数=難聴者)	健聴者	難聴であるが補聴器はしていない (補聴器非所有者)	補聴器所有者
性別							
男			6'983	9.6%	15.6%	49.4%	42.6%
女			7'385	12.3%	15.6%	50.6%	57.4%
年齢							
1歳 - 14歳			1'719	0.8%	50.0%	13.3%	0.5%
15歳 - 24歳			1'329	3.1%	23.4%	10.1%	2.4%
25歳 - 34歳			1'444	2.3%	15.0%	11.0%	2.1%
35歳 - 44歳			1'670	4.0%	9.4%	12.5%	4.5%
45歳 - 54歳			2'079	7.2%	7.7%	15.1%	10.3%
55歳 - 64歳			1'865	8.3%	6.3%	13.4%	10.8%
65歳 - 74歳			1'761	16.0%	12.4%	11.6%	18.4%
75歳以上			2'500	33.6%	19.6%	13.0%	51.0%
家族構成							
一人で暮らしている			1'723	12.5%	19.0%	11.8%	13.2%
夫婦だけで暮らしている			2'700	14.5%	15.0%	18.1%	24.9%
夫婦と子供で暮らしている			5'620	7.2%	14.5%	40.8%	25.8%
母親・父親と子供で暮らしている			1'228	14.5%	13.3%	8.2%	11.6%
老人ホーム、介護施設、病院などで暮らしている			189	38.0%	23.9%	0.9%	4.2%
夫婦と子供と孫で暮らしている			798	7.4%	17.2%	5.8%	3.6%
祖父・祖母と子供・孫と暮らしている			323	13.9%	28.7%	2.2%	2.4%
その他			1'786	12.0%	11.5%	12.3%	14.3%





人口動態 (2): 補聴器使用率と人口

		総数	聴取困難	補聴器所有者 % (基数=聴聴者)	健聴者	難聴であるが補聴器はして いない (補聴器非所有者)	補聴器所有者
身分							
	世帯主	6'018	15.3%	16.3%	39.9%	57.8%	60.0%
	世帯主の配偶者	3'139	12.4%	13.5%	21.5%	25.1%	21.7%
	世帯主の子供	4'049	2.4%	9.7%	30.9%	6.6%	3.9%
	世帯主の親	357	25.8%	25.4%	2.1%	5.1%	9.7%
	その他	805	10.3%	14.6%	5.6%	5.4%	4.7%
仕事							
	常勤者 (正社員)	4'681	5.9%	11.1%	40.1%	18.5%	13.1%
	パートタイマー	1'941	8.9%	11.1%	16.1%	11.6%	8.3%
	無職	2'329	15.4%	15.9%	18.0%	22.9%	23.6%
	年金受給者	1'854	28.6%	16.7%	12.1%	33.3%	38.0%
	早期退職者	127	16.5%	28.5%	1.0%	1.1%	2.5%
	定年退職者	735	23.8%	17.8%	5.1%	10.9%	13.0%
	学生	868	2.9%	15.1%	7.7%	1.6%	1.5%
最終学歴							
	中学校卒業	947	25.0%	18.8%	6.5%	14.5%	18.5%
	高等学校卒業	3'984	13.8%	14.1%	31.2%	35.5%	32.7%
	専門学校卒業	1'201	11.0%	17.7%	9.7%	8.2%	9.8%
	短期大学卒業	1'001	12.6%	17.2%	8.0%	7.9%	9.1%
	大学卒業	3'842	9.5%	14.1%	31.6%	23.7%	21.7%
	大学院卒業	365	9.7%	11.2%	3.0%	2.4%	1.6%
	その他	170	14.9%	24.2%	1.3%	1.5%	2.4%
	回答を希望しない	1'050	8.9%	11.0%	8.7%	6.3%	4.1%





サンプル規模と抽出誤差：一般的な目安

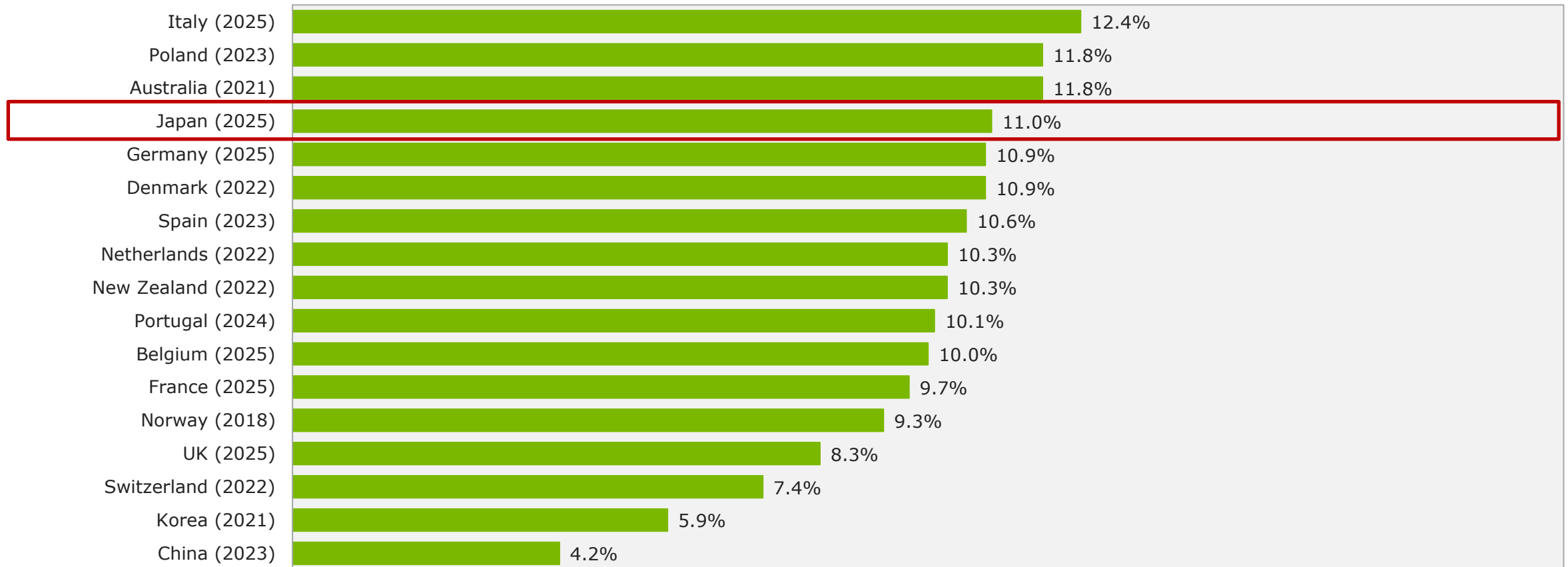
表の読み方の例：サンプル数が500で、結果が15%の場合、実際の値は15%を中心に±3.1%の範囲、つまり11.9%から18.1%の間にあると考えられます（保守的な仮定：95%の信頼水準）。

サンプル数	Random sample error	
	真の値は区間（範囲）内にある	
	割合水準: 50%/50%	割合水準: 15%/85%
50	+ - 13.9	+ - 9.9
100	+ - 9.8	+ - 7.0
250	+ - 6.2	+ - 4.4
500	+ - 4.4	+ - 3.1
1,000	+ - 3.1	+ - 2.2
5,000	+ - 1.4	+ - 1.0
10,000	+ - 1.0	+ - 0.7

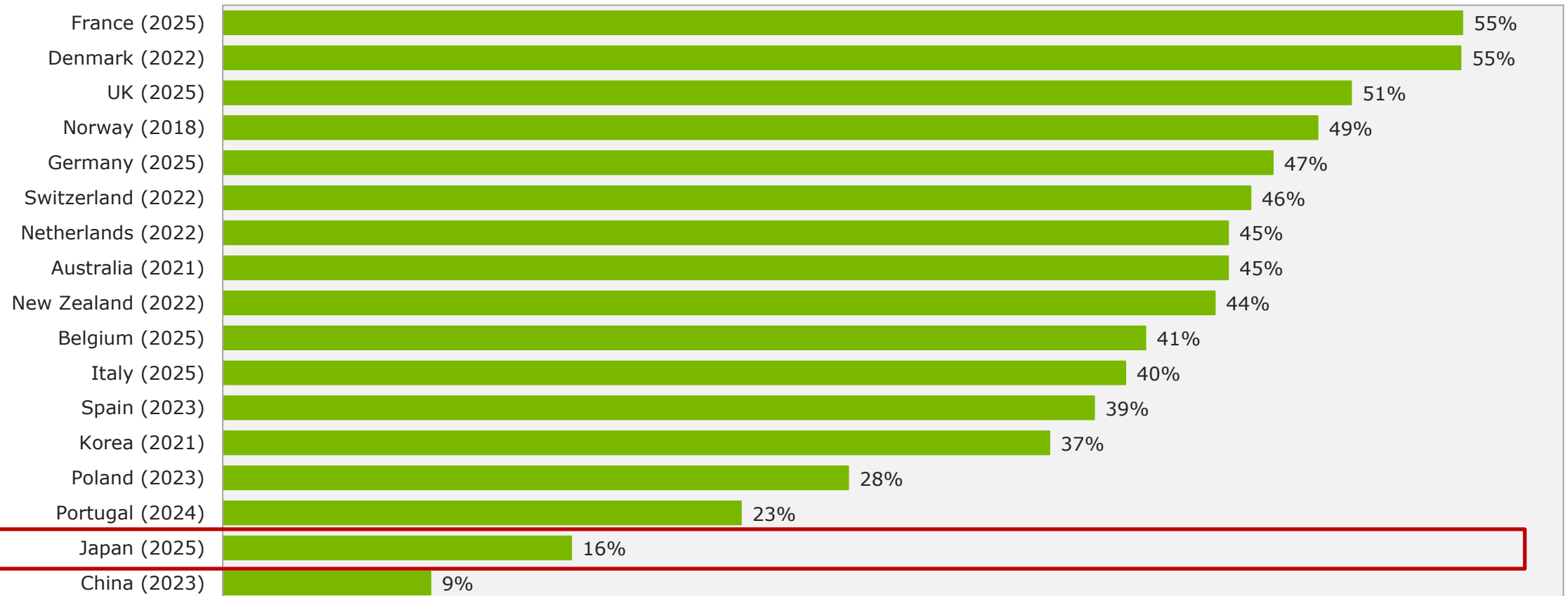


Hearing loss prevalence Overall

Country comparison

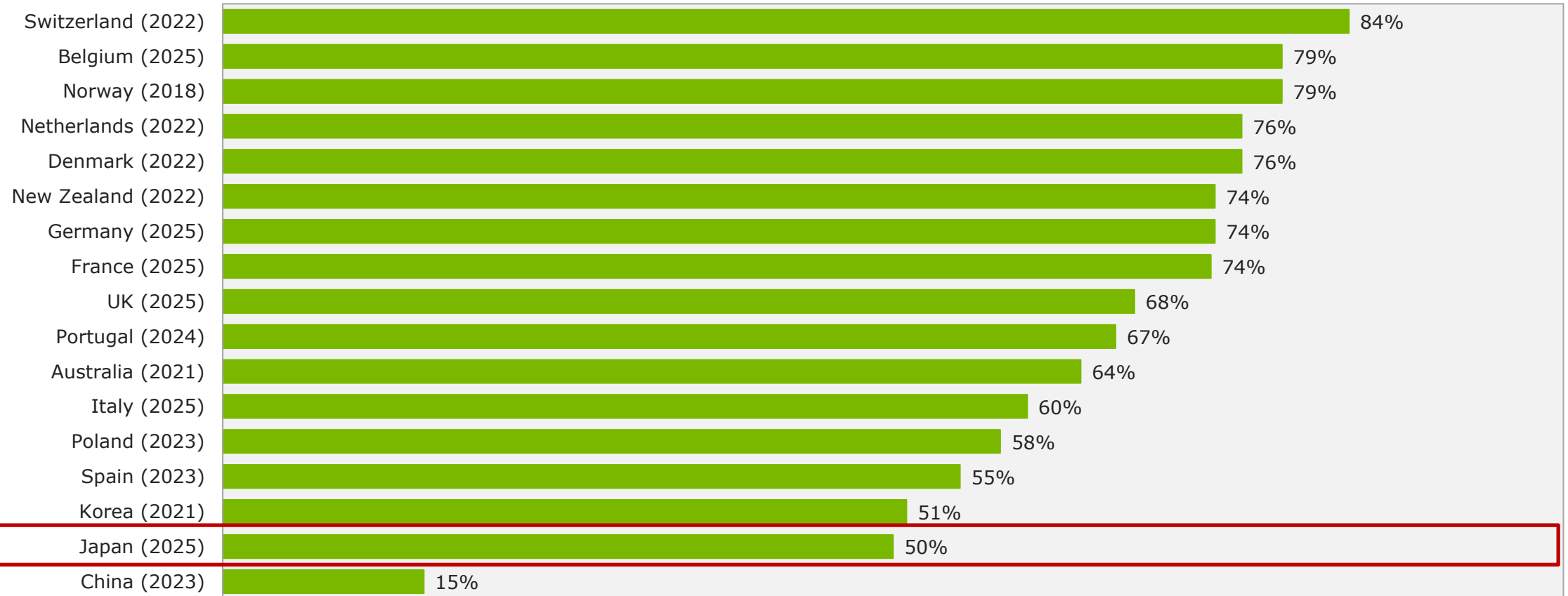


Adoption rate (% of stated impaired) Country comparison



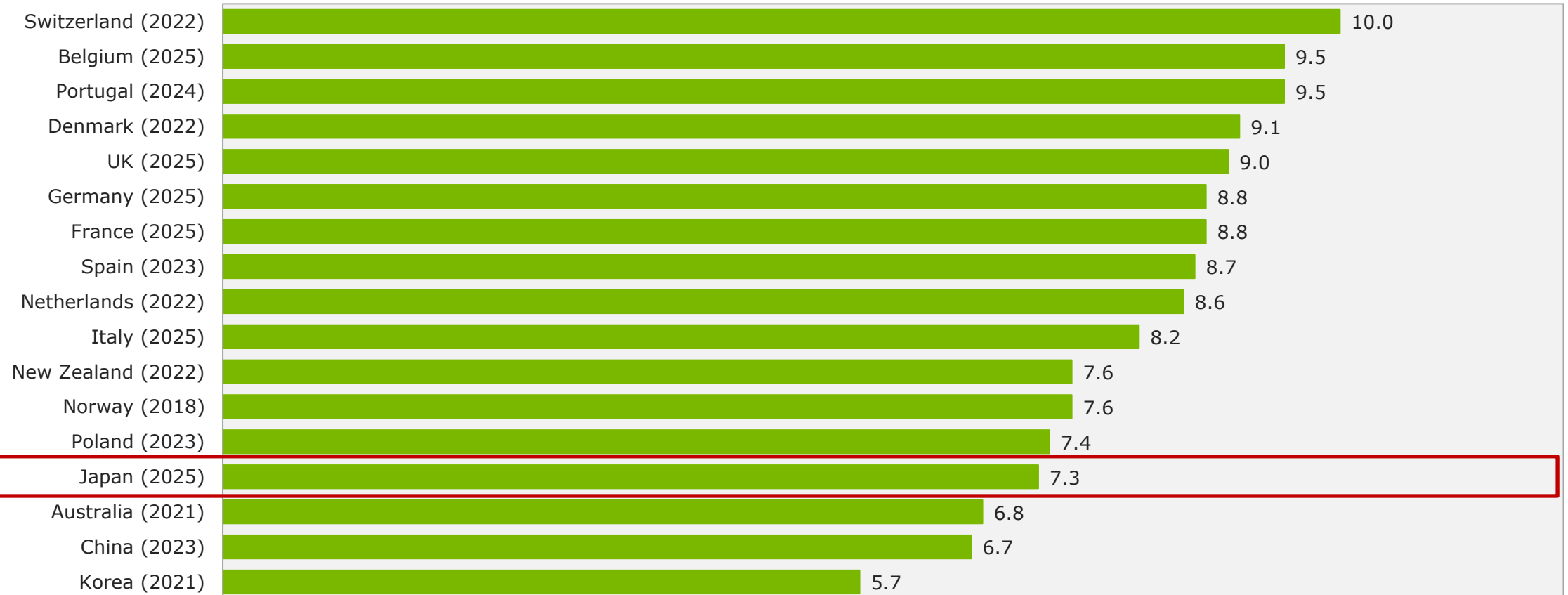
Binaural treatment

Country comparison



Hearing aids: hours worn per day (average)

Country comparison



Overall Satisfaction with HA: Country comparison

% of hearing aid owners satisfied

